

令和8年度

沖縄県立やえせ高等支援学校

年間指導計画



令和8年度 「 国語科 」 年間指導計画					
配当 時数	対象生徒	教科書			
70	1学年 生徒10名	くらしに役立つ国語 / 東洋館出版社			
年間 目標		<p>(知及技) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しむことができるようにする。</p> <p>(思判表力) 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようにする。</p> <p>(学・人) 言葉がもつよさを認識するとともに、幅広く読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。</p>			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間 を通して		<p>(知及技) 漢字と仮名を用いた表記や送り仮名の付け方を理解することができる。【高1段階ア(ウ)】</p> <p>(思判表力) 学習した漢字を読んだり書いたりするなど、表現の幅を広げ、活用することができる。【高1段階Bエ】</p> <p>(学・人) 言葉がもつよさを認識するとともに、幅広く読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。【高1段階】</p>	<p>(知・技) 漢字と仮名を用いた表記や送り仮名の付け方を理解しようとしている。</p> <p>(思・判・表) 学習した漢字を読んだり書いたりするなど、表現の幅を広げ、活用しようとしている。</p> <p>(主学) 言葉がもつよさを認識するとともに、幅広く読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとしている。</p>	・漢字の読み書き	漢字の読み書き 小学校中学年から中学校までの漢字の読み書きに取り組む。
		<p>(知及技) 考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など、情報と情報との関係について理解することができる。【高1段階イ(ア)】</p> <p>(思判表力) 社会の中で関わる人の話などを、話し手が伝えたいことの内容に注意して聞き、話の内容を捉えることが</p>	<p>(知・技) 考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など、情報と情報との関係について理解しようとしている。</p> <p>(思・判・表) 社会の中で関わる人の話などを、話し手が伝えたいことの内容に注意して聞き、話の内容を捉えようとしている。</p>	・情報の聞き取り	情報の聞き取り 聞き取り問題を活用し、必要な情報を聞き取る学習に取り組む。

		<p>できる。【高1段階 Aア】</p> <p>(学・人)</p> <p>言葉がもつよさを認識するとともに、幅広く読書をし、国語を大切ににして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。【高1段階】</p>	<p>(主学)</p> <p>言葉がもつよさを認識するとともに、幅広く読書をし、国語を大切ににして、思いや考えを伝え合おうとしている。</p>		
1 学 期	25	<p>(知及技)</p> <p>社会生活に係る人とのやり取りを通して、言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付くことができる。</p> <p>【高1段階ア(ア)】</p> <p>(思判表力)</p> <p>社会の中で関わる人の話などを、話し手が伝えたいことの中心に注意して聞き、話の内容を捉えることができる。【高1段階 Aア】</p> <p>(学・人)</p> <p>相手に伝わるように話したり、相手の話をしっかり聞いたりしようとする態度を養う。【高1段階】</p>	<p>(知・技)</p> <p>社会生活に係る人とのやり取りを通して、言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。</p> <p>(思・判・表)</p> <p>社会の中で関わる人の話などを、話し手が伝えたいことの中心に注意して聞き、話の内容を捉えている。</p> <p>(主学)</p> <p>他者に伝わるように話したり、相手の話をしっかり聞いたりしようとしている。</p>	・自己紹介をしよう	<p>自己紹介をする</p> <p>① 自己紹介の素材集め</p> <p>② 自己紹介の発表</p>
		<p>(知及技)</p> <p>文章の構成や内容の大体を意識しながら音読することができる。【高1段階ア(キ)】</p> <p>(思判表力)</p> <p>文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。【高1段階 Cオ】</p> <p>(学・人)</p> <p>詩を読み味わい、感想を書いたり音読したりしようとする態度を養う。【高1段階】</p>	<p>(知・技)</p> <p>文章の構成や内容の大体を意識しながら音読している。</p> <p>(思・判・表)</p> <p>文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。</p> <p>(主学)</p> <p>詩を読み味わい、感想を書いたり音読したりしようとしている。</p>	・詩「一個の間」	<p>詩の読み取り・音読</p> <p>① 詩の内容を読み取る</p> <p>② 読み取った内容を基に工夫して音読する</p>
		<p>(知及技)</p>	<p>(知・技)</p>	・表現力を高	常体と敬体、丁寧な言葉遣

	<p>敬体と常体があることを理解し、その違いに注意しながら書くことができる。【高1段階ア(カ)】 (思判表力) 間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、文や文章を整えることができる。【高1段階Bエ】 (学・人) 常体と敬体を使い分けたり、丁寧な言葉遣いを意識しようとする態度を養う。【高1段階】</p> <p>(知及技) 漢字と仮名を用いた表記や送り仮名の付け方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点の使い方を意識して打つことができる。【高1段階ア(ウ)】 (思判表力) 書く内容の中心を決め、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができる。【高1段階Bイ】 (学・人) 手紙の書き方を踏まえ、丁寧に暑中見舞い作成に取り組もうとする態度を養う。【高1段階】</p>	<p>敬体と常体があることを理解し、その違いに注意しながら書こうとしている。 (思・判・表) 間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、文や文章を整えようとしている。 (主学) 常体と敬体を使い分けたり、丁寧な言葉遣いを意識しようとしている。</p> <p>(知・技) 漢字と仮名を用いた表記や送り仮名の付け方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点の使い方を意識して打っている。 (思・判・表) 書く内容の中心を決め、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。 (主学) 手紙の書き方を踏まえ、丁寧に暑中見舞い作成に取り組もうとしている。</p>	<p>めよう</p> <p>・手紙を書こう①</p>	<p>いの学習</p> <p>① 常体と敬体について ②敬体に直す学習 ② 丁寧な言葉遣いについて 丁寧な言葉による会話のロールプレイング</p> <p>暑中見舞いを書く</p>
--	---	--	----------------------------	---

2 学 期	30	<p>(知及技) 幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くことができる。【高1段階ウ(ウ)】</p> <p>(思判表力) 登場人物の行動や心情などについて、叙述を基に捉えることができる。【高1段階Cア】</p> <p>(学・人) 読書に親しみ、図書のもつ良さを感じようとする態度を養う。【高1段階】</p>	<p>(知・技) 幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付いている。</p> <p>(思・判・表) 登場人物の行動や心情などについて、叙述を基に捉えている。</p> <p>(主学) 読書に親しみ、図書のもつ良さを感じようとしている。</p>	<p>・本に親しもう</p>	<p>物語を読んでブックレビューを紹介する</p>
		<p>(知及技) 生活に身近なことば(しまくとうば)を知り、使うことができる。【高1段階ウ(ア)】</p> <p>(思判表力) しまくとうばの知識をもとに、どのように言葉が変化するか考えることができる。【高1段階】</p> <p>(学・人) 言葉を口に出すことで響きを感じるなど、しまくとうばに親しもうとする態度を養う。【高1段階】</p>	<p>(知・技) 生活に身近なことば(しまくとうば)を知り、使おうとしている。</p> <p>(思・判・表) しまくとうばの知識をもとに、どのように言葉が変化するか考えている。</p> <p>(主学) 言葉を口に出すことで響きを感じるなど、しまくとうばに親しもうとしている。</p>	<p>・しまくとうばの学習</p>	<p>『しまくとうば読本』を活用する。 しまくとうばの基礎知識やことばについての学習</p>
		<p>(知及技) 相手を見て話したり聞いたりするとともに、間の取り方などに注意して話すことができる。【高1段階ア(イ)】</p> <p>(思判表力) 目的に応じて、話題を決め、集めた材料を比較するなど伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。【高1段階】</p>	<p>(知・技) 相手を見て話したり聞いたりするとともに、間の取り方などに注意して話そうとしている。</p> <p>(思・判・表) 目的に応じて、話題を決め、集めた材料を比較するなど伝え合うために必要な事柄を選ぼうとしている。</p> <p>(主学) インタビューする相手</p>	<p>・インタビューをしよう</p>	<p>テーマを決めてインタビューする</p> <p>①テーマを決め、インタビュー内容を考える</p> <p>②メモの取り方について</p> <p>③インタビュー(実践)</p> <p>④インタビューの内容をまとめる</p> <p>⑤報告</p>

	<p>(学・人) インタビューする相手や内容について考え、インタビューしようとする態度を養う。【高1段階】</p> <p>(知及技) 表現したり理解したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には、性質や役割による語句のまとまりがあることを理解することができる。【高1段階ア(エ)】</p> <p>(思判表力) 登場人物の心情や情景について、場面と結び付けて具体的に想像することができる。【高1段階Cウ】</p> <p>(学・人) 詠まれた心情や情景を想像したり、感じたことを表現したりしようとする態度を養う。【高1段階】</p> <p>(知及技) 接続する語句の役割、段落の役割について理解することができる。【高1段階ア(オ)】</p> <p>(思判表力) 書く内容の中心を決め、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができる。【高1段階Bイ】</p> <p>(学・人) 手紙の書き方を踏まえ、丁寧に年賀状作成に取り組もうとする態度を養う。【高1段階】</p>	<p>や内容について考え、インタビューしようとしている。</p> <p>(知・技) 表現したり理解したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には、性質や役割による語句のまとまりがあることを理解しようとしている。</p> <p>(思・判・表) 登場人物の心情や情景について、場面と結び付けて具体的に想像している。</p> <p>(主学) 詠まれた心情や情景を想像したり、感じたことを表現したりしようとしている。</p> <p>(知・技) 接続する語句の役割、段落の役割について理解しようとしている。</p> <p>(思・判・表) 書く内容の中心を決め、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。</p> <p>(主学) 手紙の書き方を踏まえ、丁寧に年賀状作成に取り組もうとしている。</p>	<p>・俳句を作ろう</p> <p>・手紙を書こう②</p>	<p>俳句の鑑賞・創作 ①俳句とは ②俳句の鑑賞 ③俳句の創作</p> <p>年賀状を書く</p>
--	---	--	--------------------------------	---

3 学 期	15	<p>(知及技) 文字の組み立て方を理解し、形を整えて書くことができる。【高1段階ウ(イ)㊦】 (思判表力) 毛筆の特性を意識し、バランスを考えながら書くことができる。【高1段階Bウ】 (学・人) 毛筆の特性に慣れるよう繰り返し書こうとする態度を養う。 【高1段階】</p>	<p>(知・技) 文字の組み立て方を理解し、形を整えて書こうとしている。 (思・判・表) 毛筆の特性を意識し、バランスを考えながら書いている。 (主学) 毛筆の特性に慣れるよう繰り返し書こうとしている。</p>	<p>・書き初め</p>	<p>毛筆による運筆</p>
		<p>(知及技) 生活に身近なことわざや慣用句などを知り、使うことができる。【高1段階ウ(ア)】 (思判表力) 文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えを持つことができる。【高1段階Cオ】 (学・人) かるた遊びに積極的に参加しようとする態度を養う。【高1段階】</p>	<p>(知・技) 生活に身近なことわざや慣用句などを知り、使おうとしている。 (思・判・表) 登場人物の心情や情景について、場面と結び付けて具体的に想像している。 (主学) かるた遊びに積極的に参加しようとしている。</p>	<p>・ことわざと慣用句</p>	<p>ことわざや慣用句について知る。かるた遊びに取り組む。</p>
		<p>(知及技) 考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など、情報と情報との関係について理解することができる。 【高1段階イ(ア)】 (思判表力) 段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えることができる。【高1段階Cイ】 (学・人) さまざまな文章を読み、必要な情報を読み</p>	<p>(知・技) 考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など、情報と情報との関係について理解しようとしている。 (思・判・表) 段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えている。 (主学) さまざまな文章を読み、必要な情報を読み取ろうとしている。</p>	<p>・文章の読み取り</p>	<p>様々な文章を読み、必要な情報を読み取る。</p>

	<p>取ろうとする態度を養う。【高1段階】</p> <p>(知及技) 相手を見て話したり聞いたりするとともに、間の取り方などに注意して話すことができる。【高1段階ア(イ)】</p> <p>(思判表力) 相手に伝わるように、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫することができる。</p> <p>【高1段階Aエ】</p> <p>(学・人) 会話で気をつけることや場に合った態度について考え、実践しようとする態度を養う。【高1段階】</p>	<p>(知・技) 相手を見て話したり聞いたりするとともに、間の取り方などに注意して話している。</p> <p>(思・判・表) 相手に伝わるように、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫している。</p> <p>(主学) 会話で気をつけることや場に合った態度について考え、実践しようとしている。</p>	<p>・あいさつや会話をする力を高めよう</p>	<p>会話で気をつけることや場に合った態度の練習</p>
--	--	--	--------------------------	------------------------------

令和8年度 「 国語科 」 年間指導計画					
配当 時数	対象生徒	教科書			
70	2学年 生徒10名	くらしに役立つ国語 / 東洋館出版社			
年間 目標		<p>(知及技)社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。</p> <p>(思判表力) 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げることができるようにする。</p> <p>(学・人) 言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。</p>			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
通 年		<p>(知及技) 文や文章の中で漢字と仮名を使い分けて書くことができる。 【高2段階ア(ウ)】 (思判表力) 学習した漢字を読んだり書いたりするなど、表現の幅を広げ、活用することができる。【高1段階Bエ】 (学・人) 言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。【高2段階】</p>	<p>(知・技) 文や文章の中で漢字と仮名を使い分けて書こうとしている。 (思・判・表) 学習した漢字を読んだり書いたりするなど、表現の幅を広げ、活用しようとしている。 (主学) 言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとしている。</p>	・漢字の読み書き	漢字の読み書き 小学校高学年から中学校までの漢字の読み書きに取り組む。
		<p>(知及技) 原因と結果など、情報と情報との関係について理解することができる。【高2段階イ(ア)】 (思判表力) 社会の中で関わる人の話などを、話し手が伝えたいことの内容に注意して聞き、話の内容を捉えることができる。【高1段階Aア】</p>	<p>(知・技) 原因と結果など、情報と情報との関係について理解しようとしている。 (思・判・表) 社会の中で関わる人の話などを、話し手が伝えたいことの内容に注意して聞き、話の内容を捉えようとしている。 (主学) 言葉がもつよさを認識</p>	・情報の聞き取り	情報の聞き取り 聞き取り問題を活用し、必要な情報を聞き取る学習に取り組む。

	<p>(知及技) 日常よく使われる敬語を理解し使い慣れることができる。【高2段階】(高2ア(カ)) (思判表力) 話の中心が明確になるよう話の構成を考えることができる。 【高2段階】(高1Aウ) (学・人) 電話による連絡方法やマナーを理解して、電話の練習をしようとする態度を養う。 【高2段階】(高2)</p> <p>(知及技) 考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など、情報と情報との関係について理解することができる。 【高1段階イ(ア)】 (思判表力) 目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめることができる。【高2段階Aオ】 (学・人) 調べたことを根拠に自分の考えを伝えようとする態度を養う。【高2段階】</p> <p>(知及技) 話し言葉と書き言葉に違いがあることに気付くことができる。【高2段階ア(イ)】 (思判表力) 書く内容の中心を決め、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構</p>	<p>(知・技) 日常よく使われる敬語を理解し使い慣れようとしている。 (思・判・表) 話の中心が明確になるよう話の構成を考えている。 (主学) 電話による連絡方法やマナーを理解して、電話の練習をしようとしている。</p> <p>(知・技) 考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など、情報と情報との関係について理解しようとしている。 (思・判・表) 目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめている。 (主学) 調べたことを根拠に自分の考えを伝えようとしている。</p> <p>(知・技) 話し言葉と書き言葉に違いがあることに気付いている。 (思・判・表) 書く内容の中心を決め、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意し</p>	<p>・電話を利用しよう</p> <p>・話し合いをしよう (調べて発表しよう)</p> <p>・手紙を書こう①</p>	<p>電話による連絡方法や電話のマナーについての学習 ①電話による連絡方法やマナーについて知る ②ロールプレイングで電話の実践練習</p> <p>ディベート ①テーマを決める ②テーマについて調べ、意見をまとめる ③ディベート ④ふり返り</p> <p>お礼状と暑中見舞い ①実習先へのお礼状作成 ②暑中見舞いを書く</p>
--	--	--	--	--

		成を考えることができる。【高1段階Bイ】 (学・人) 手紙の書き方を理解し、送り相手に応じて、内容を工夫しようとする態度を養う。 【高2段階】	たりして、文章の構成を考えている。 (主学) 手紙の書き方を理解し、送り相手に応じて、内容を工夫しようとしている。		
2 学 期	30	(知及技) 日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与することに気付くことができる。【高2段階ウ(エ)】 (思判表力) 書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けることができる。【高1段階Bオ】 (学・人) 日常的に読書に親しみ、図書のもつ良さを感じようとする態度を養う。【高2段階】	(知・技) 日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与している。 (思・判・表) 書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている。 (主学) 日常的に読書に親しみ、図書のもつ良さを感じようとしている。	・本に親しもう	物語を読んでブックレビューを紹介する。
		(知及技) 生活に身近なことば(しまくとうば)を知り、使うことができる。【高1段階ウ(ア)】 (思判表力) しまくとうばの知識をもとに、どのように言葉が変化するか考えることができる。 【高1段階】 (学・人) 言葉を口に出すことで響きを感じるなど、しまくとうばに親しもうとする態度を養う。【高1段階】	(知・技) 生活に身近なことば(しまくとうば)を知り、使おうとしている。 (思・判・表) しまくとうばの知識をもとに、どのように言葉が変化するか考えている。 (主学) 言葉を口に出すことで響きを感じるなど、しまくとうばに親しもうとしている。	・しまくとうばの学習	しまくとうばの基礎知識やことばについての学習 『しまくとうば読本』を活用する。
		(知及技) 日常よく使われる敬	(知・技) 日常よく使われる敬語	・表現力を高めよう②	敬語の種類や日常よく使われる敬語の学習

	<p>語を理解し使い慣れることができる。【高2段階ア(カ)】 (思判表力) 間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、文や文章を整えることができる。【高1段階Bエ】 (学・人) 敬語の種類について知り、身近な敬語を理解して使おうとする態度を養う。【高2段階】</p> <p>(知及技) 考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など、情報と情報との関係について理解することができる。 【高1段階イ(ア)】 (思判表力) 相手や目的を意識して、書くことを決め、集めた材料を比較するなど、伝えたいことを明確にすることができる。【高1段階Bア】 (学・人) すすんで情報を調べたりまとめたりして、構成を考えて書こうとする態度を養う。 【高2段階】</p> <p>(知及技) 文や文章の中で漢字と仮名を使い分けて書くことができる。 【高2段階ア(ウ)】 (思判表力) 間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、文や文章を整えること</p>	<p>を理解し使い慣れようとしている。 (思・判・表) 間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、文や文章を整えている。 (主学) 敬語の種類について知り、身近な敬語を理解して使おうとしている</p> <p>(知・技) 考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など、情報と情報との関係について理解しようとしている。 (思・判・表) 相手や目的を意識して、書くことを決め、集めた材料を比較するなど、伝えたいことを明確にしている。 (主学) すすんで情報を調べたりまとめたりして、構成を考えて書こうとしている。</p> <p>(知・技) 文や文章の中で漢字と仮名を使い分けて書いている。 (思・判・表) 間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、文や文章を整えている。 (主学)</p>	<p>・新聞を作る う。 (調べて発表しよう)</p> <p>手紙を書こう ③</p>	<p>①敬語の種類について ②身近な敬語について ③会話の中で敬語を使うロールプレイング</p> <p>修学旅行の旅行地等を調べ、新聞を作る ①テーマを決め、調べる ②新聞の構成を考える ③新聞作成 ④発表 ⑤ふり返り</p> <p>年賀状を書く</p>
--	--	---	---	---

		<p>ができる。【高1段階Bエ】 (学・人) 手紙の書き方を理解し、送り相手に応じて、内容を工夫しようとする態度を養う。 【高2段階】</p>	<p>手紙の書き方を理解し、送り相手に応じて、内容を工夫しようとしている。</p>		
3 学 期	15	<p>(知及技) 用紙全体との関係に注意して、文字の大きさや配列などを決めて書くことができる。【高2段階ウ(ウ)㊦】 (思判表力) 毛筆の特性を理解し、全体のバランスを考えながら書くことができる。【高1段階】 (学・人) 毛筆の特性が理解できるように繰り返し書こうとする態度を養う。【高2段階】</p> <p>(知及技) 比較や分類の仕方、辞書や事典の使い方などを理解し使うことができる。【高1段階イ(イ)】 生活に身近なことわざや慣用句などを知り、使うことができる。【高1段階ウ(ア)】 (思判表力) 辞書の用途を知り、どの辞書や辞典を用いて調べるか考え、適した辞書を用いて調べることができる。【高1段階】 (学・人) 辞書の用途を理解し、様々な語句を自ら調べようとする態度を養う。【高2段階】</p> <p>(知及技)</p>	<p>(知・技) 用紙全体との関係に注意して、文字の大きさや配列などを決めて書くことができる。 (思・判・表) 毛筆の特性を理解し、全体のバランスを考えながら書いている。 (主学) 毛筆の特性が理解できるように繰り返し書こうとしている。</p> <p>(知・技) 比較や分類の仕方、辞書や事典の使い方などを理解し使っている。 生活に身近なことわざや慣用句などを知り、使おうとしている。 (思・判・表) 辞書の用途を知り、どの辞書や辞典を用いて調べるか考え、適した辞書を用いて調べている。 (主学) 辞書の用途を理解し、様々な語句を自ら調べようとしている。</p> <p>(知・技)</p>	<p>・書き初め</p> <p>・辞書を活用しよう</p> <p>・表現力を高</p>	<p>字形を意識して毛筆で書く。</p> <p>国語辞典や漢字辞典を活用する。</p> <p>感想と事実、結果と原因な</p>

	<p>表現したり理解したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語彙を豊かにすることができる。【高1段階ア(エ)】 (思判表力) 段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えることができる。【高1段階Cイ】 (学・人) 言葉の関係性を理解し、自分の表現に生かそうとする態度を養う。【高2段階】</p> <p>(知及技) 表現したり理解したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には、性質や役割による語句のまとまりがあることを理解することができる。【高1段階ア(エ)】 (思判表力) 社会の中で関わる人の話などについて、話し手の目的や自分が聞きたいことの中心を捉え、その内容を捉えることができる。【高1段階Aア】 (学・人) 会話で気をつけることや場に合った態度について考え、実践しようとする態度を養う。【高2段階】</p>	<p>表現したり理解したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語彙を豊かにしようとしている。 (思・判・表) 段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えている。 (主学) 言葉の関係性を理解し、自分の表現に生かそうとしている。</p> <p>(知・技) 表現したり理解したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には、性質や役割による語句のまとまりがあることを理解している。 (思・判・表) 社会の中で関わる人の話などについて、話し手の目的や自分が聞きたいことの中心を捉え、その内容を捉えている。 (主学) 会話で気をつけることや場に合った態度について考え、実践しようとしている。</p>	<p>めよう③</p> <p>・あいさつや会話をする力を高めよう</p>	<p>どを区別する。</p> <p>会話で気をつけることや場に合った態度の練習</p>
--	---	---	--------------------------------------	---

令和8年度 「 国語科 」 年間指導計画					
配 当 時 数	対象生徒		教科書		
70	3学年 生徒10名		くらしに役立つ国語 / 東洋館出版社		
年間目標					
<p>(知及技) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に親しむことができるようにする。</p> <p>(思判表力) 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようにする。</p> <p>(学・人) 言葉が持つよさを認識するとともに、幅広く読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。</p>					
学 期	時 数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
通 年		<p>(知及技) 文や文章の中で漢字と仮名を使い分けて書くことができる。 【高2段階ア(ウ)】 (思判表力) 学習した漢字を読んだり書いたりするなど、表現の幅を広げ、活用することができる。【高2段階Bエ】 (学・人) 言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。【高2段階】</p>	<p>(知・技) 文や文章の中で漢字と仮名を使い分けて書こうとしている。 (思・判・表) 学習した漢字を読んだり書いたりするなど、表現の幅を広げ、活用しようとしている。 (主学) 言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとしている。</p>	<p>・漢字の読み書き</p>	<p>漢字の読み書き 小学校中学年から小学校高学年までの漢字の読み書きに取り組む。</p>
		<p>(知及技) 情報と情報との関係付けの仕方を理解し使うことができる。 【高2段階イ(ア)】 (思判表力) 社会の中で関わる人の話などについて、話し手の目的や自分が聞きたいことの中心を捉え、その内容を捉えることができる。 【高2段階Aア】 (学・人)</p>	<p>(知・技) 情報と情報との関係付けの仕方を理解し使おうとしている。 (思・判・表) 社会の中で関わる人の話などについて、話し手の目的や自分が聞きたいことの中心を捉え、その内容を捉えようとしている。 (主学) 言葉がもつよさを認識するとともに、進んで</p>	<p>・情報の聞き取り</p>	<p>情報の聞き取り 聞き取り問題を活用し、必要な情報を聞き取る学習に取り組む。</p>

		言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語を大切にしたい、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。【高2段階】	読書をし、国語を大切にしたい、思いや考えを伝え合おうとしている。		
1 学期	25	<p>(知及技) 社会生活に係る人とのやり取りを通して、言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付くことができる。【高2段階ア(ア)】</p> <p>(思判表力) 話の内容が明確になるように、話の構成を考えることができる。【高2段階Aウ】</p> <p>(学・人) 相手に正確に伝わるように話したり、相手の話の中心を捉えて聞いたりしようとする態度を養う。【高2段階】</p> <p>(知及技) 文章を音読したり、朗読したりすることができる。【高2段階ア(キ)】</p> <p>親しみやすい文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。【高2段階ウ(ア)】</p> <p>(思判表力) 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。【高2段階Cオ】</p> <p>(学・人) 詩を読み味わい、感想を書いたり、リズムを感じながら音読したりしようとする態度を養う。【高2段階】</p>	<p>(知・技) 社会生活に係る人とのやり取りを通して、言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付いている。</p> <p>(思・判・表) 話の内容が明確になるように、話の構成を考えている。</p> <p>(主学) 相手に正確に伝わるように話したり、相手の話の中心を捉えて聞いたりしようとしている。</p> <p>(知・技) 文章を音読したり、朗読したりしている。</p> <p>親しみやすい文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。</p> <p>(思・判・表) 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。</p> <p>(主学) 詩を読み味わい、感想を書いたり、リズムを感じながら音読したりしようとしている。</p>	<p>・自己紹介をしよう</p> <p>・詩「雨ニモマケズ」</p>	<p>自己紹介をしよう</p> <p>①自己紹介の素材集め</p> <p>②自己紹介の発表</p> <p>詩の読み取り・音読</p> <p>①詩の内容を読み取る</p> <p>②読み取った内容を基に工夫して音読する</p>

		<p>(知及技) 日常よく使われる敬語を理解し使い慣れることができる。【高2段階ア(カ)】 (思判表力) 社会の中で関わる人の話などについて、話し手の目的や自分が聞きたいことの中心を捉え、その内容を捉えることができる。【高2段階Aア】 (学・人) 身近な敬語を理解して意識的に使い、使い慣れようとする態度を養う。【高2段階】</p> <p>(知及技) 文や文章の中で漢字と仮名を使い分けて書くことができる。【高2段階ア(ウ)】 (思判表力) 筋道の通った文章となるように、文章全体の構成を考えることができる。【高2段階Bイ】 (学・人) 手紙の書き方を理解し、送り相手に応じて、内容や書き方を工夫しようとする態度を養う。【高2段階】</p>	<p>(知・技) 日常よく使われる敬語を理解し使い慣れようとしている。 (思・判・表) 社会の中で関わる人の話などについて、話し手の目的や自分が聞きたいことの中心を捉え、その内容を捉えている。 (主学) 身近な敬語を理解して意識的に使い、使い慣れようとしている。</p> <p>(知・技) 文や文章の中で漢字と仮名を使い分けて書いている。 (思・判・表) 筋道の通った文章となるように、文章全体の構成を考えている。 (主学) 手紙の書き方を理解し、送り相手に応じて、内容や書き方を工夫しようとしている。</p>	<p>・表現力を高めよう①</p> <p>・手紙を書こう①</p>	<p>敬語の種類や日常よく使われる敬語の学習 ①敬語の種類について ②身近な敬語について ③面接時の対応 ④面接のロールプレイング</p> <p>お礼状と暑中見舞い ①実習先へのお礼状作成 ②暑中見舞いを書く</p>
2 学期	30	<p>(知及技) 日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気付くことができる。【高2段階ウ(エ)】 (思判表力) 登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えることができる。【高2段階Cア】 人物像を具体的に想像したり、表現の効果</p>	<p>(知・技) 日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気付いている。 (思・判・表) 登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えている。人物像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。 (主学) 日常的に読書に親しみ、図書のもつ良さを</p>	<p>・小説に親しもう 「走れメロス」 ・ブックレビュー</p>	<p>物語を読んでブックレビューを紹介する</p>

<p>を考へたりすることができ。【高2段階Cウ】 (学・人) 日常的に読書に親しみ、図書のもつ良さを感ぜようとする態度を養う。【高2段階】</p> <p>(知及技) 親しみやすい文章やことば(しまくとうば)を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。【高2段階ウ(ア)】 (思判表力) 資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるよう工夫することができる。【高2段階Aエ】 (学・人) 言葉を口に出すことで響きを感じるなど、しまくとうばに親しもうとする態度を養う。【高2段階】</p> <p>(知及技) 目的に応じて使用する筆記具を選び、その特徴を生かして書くことができる。【高2段階ウ(ウ)①】 (思判表力) 目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。【高2段階Bア】 (学・人) 履歴書を正しく書こうとする態度を養う。</p> <p>(知及技) 情報と情報との関係付けの仕方を理解し</p>	<p>感ぜようとしている。</p> <p>(知・技) 生活に身近なことば(しまくとうば)を知り、言葉の響きやリズムに親しもうとしている。 (思・判・表) しまくとうばの知識をもとに、自分の考えを工夫して伝えようとしている。 (主学) 言葉を口に出すことで響きを感じるなど、しまくとうばに親しもうとしている。</p> <p>(知及技) 目的に応じて使用する筆記具を選び、その特徴を生かして書こうとしている。 (思・判・表) 目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。 (主学) 履歴書を正しく書こうとしている。</p> <p>(知・技) 情報と情報との関係付けの仕方を理解し使っ</p>	<p>・しまくとうばの学習</p> <p>・履歴書を書こう</p> <p>・ポスターを作ろう</p>	<p>しまくとうばの基礎知識やことばについての学習組踊りや琉歌などの郷土の文芸</p> <p>志望動機や履歴書を書く</p> <p>テーマを決めてポスターを作成する ①テーマを決める</p>
---	---	--	---

	<p>使うことができる。 【高2段階イ(イ)】 (思判表力) 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。【高2段階Bウ】 引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。【高2段階Bエ】 (学・人) 調べた内容をもとに構成を考え、書き方を工夫してポスターを作成しようとする態度を養う。【高2段階】</p> <p>(知及技) 文と文との接続の関係、話や文章の構成や種類について理解することができる。【高2段階ア(オ)】 (思判表力) 事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができる。【高2段階Cイ】 (学・人) さまざまな文章を読み、文章の全体を捉えて、必要な情報を読み取ろうとする態度を養う。【高2段階】</p> <p>(知及技) 話し言葉と書き言葉に違いがあることに気付くことができ</p>	<p>ている。 (思・判・表) 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。 引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫しようとしている。 (主学) 調べた内容をもとに構成を考え、書き方を工夫してポスターを作成しようとしている。</p> <p>(知・技) 文と文との接続の関係、話や文章の構成や種類について理解している。 (思・判・表) 事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。 (主学) さまざまな文章を読み、文章の全体を捉えて、必要な情報を読み取ろうとしている。</p> <p>(知・技) 話し言葉と書き言葉に違いがあることに気付いている。</p>	<p>・文章の読み取り</p> <p>・手紙を書こう②</p>	<p>②構成を考える ③内容を調べ、まとめる ④発表 ⑤ふり返り</p> <p>様々な文章を読み、必要な情報を読み取る</p> <p>年賀状を書く</p>
--	--	---	---------------------------------	--

		<p>る。【高2段階ア(イ)】 (思判表力) 目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。【高2段階Aイ】 (学・人) 手紙の書き方を理解し、送り相手に応じて、内容や書き方を工夫しようとする態度を養う。【高2段階】</p>	<p>(思・判・表) 目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。 (主学) 手紙の書き方を理解し、送り相手に応じて、内容や書き方を工夫しようとしている。</p>		
3 学 期	15	<p>(知及技) 生活の中で使われる慣用句、故事成語などの意味を知り、使うことができる。【高2段階ウ(イ)】 (思判表力) 辞書の用途を知り、どの辞書や辞典を用いて調べるか考え、適した辞書を用いて調べることができる。【高2段階Cエ】 (学・人) 辞書の用途を理解し、様々な語句を自ら調べようとする態度を養う。【高2段階】</p> <p>(知及技) 表現したり理解したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語彙を豊かにすることができる。【高2段階ア(エ)】 (思判表力) 資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができる。【高2段階Bエ】 文章全体の構成が明確になっているかなど、文章に対する感想</p>	<p>(知・技) 生活の中で使われる慣用句、故事成語などの意味を知り、使おうとしている。 (思・判・表) 辞書の用途を知り、どの辞書や辞典を用いて調べるか考え、適した辞書を用いて調べている。(主学) 辞書の用途を理解し、様々な語句を自ら調べようとしている。</p> <p>(知・技) 表現したり理解したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語彙を豊かにしている。 (思・判・表) 資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫している。 文章全体の構成が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見</p>	<p>・辞書を活用しよう</p> <p>・わたしの物語を書こう</p>	<p>国語辞典や漢字辞典を活用する</p> <p>自分史の作成</p>

	<p>や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けることができる。【高2段階 Bカ】 (学・人) テーマ毎にこれまでの自分をふり返り、書き方を工夫しながら、自分のことについて書こうとする態度を養う。【高2段階】</p> <p>(知及技) 表現したり理解したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語彙を豊かにすることができる。【高2段階ア(エ)】 (思判表力) 文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができる。【高2段階 Bオ】 (学・人) 相手に応じて、文章を整え、自分の気持ちが伝わるように手紙を書こうとする態度を養う。【高2段階】</p>	<p>付けている。 (主学) テーマ毎にこれまでの自分をふり返り、書き方を工夫しながら、自分のことについて書こうとしている。</p> <p>(知・技) 表現したり理解したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語彙を豊かにしている。 (思・判・表) 文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。 (主学) 相手に応じて、文章を整え、自分の気持ちが伝わるように手紙を書こうとしている。</p>	<p>・手紙を書こう③</p>	<p>お世話になった方へ感謝の手紙を書く</p>
--	---	--	-----------------	--------------------------

令和8年度 「社会」 年間指導計画

配当 時数	対象生徒	教科書			
35	1学年 生徒10名	くらしに役立つ社会（東洋館出版社）			
年間 目標	<p>(知及技)社会参加するためのきまり等について、様々な資料や具体的な活動を通して理解するとともに、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けることができる。(高2段階)</p> <p>(思判表力)社会的事象の特色について、自分の生活と結び付けて考える力、社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを適切に表現する力を養うことができる。(高2段階)</p> <p>(学・人)社会に主体的に関わろうとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、我が国の歴史や伝統を大切にして国を愛する心情を養うことができる。(高2段階)</p>				
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価基準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	13	<p>(知及技)</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会の中で互いに協力しながら、社会生活に必要な知識や技能を身に付けることができる。 社会の慣習、生活に関係の深い法やきまりを理解することができる。【高2段階(2)ア②②】 <p>(思判表力)</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会の中で状況を的確に判断し、国民としての権利及び義務、責任について考え、表現することができる。 社会の慣習、生活に関係の深い法やきまりの意義と自分とのかかわりについて考え、表現することができる。【高2段階(2)ア①①】 <p>(学・人)</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会参加する上で日常生活においてどのようなことに気をつけたら良いか考えることができる。【高2段階(2)(イ)②①】 	<p>(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会の中で互いに協力しながら、社会生活に必要な知識や技能を身に付けることの大切さを理解している。 社会の慣習、生活に関係の深い法やきまりについて理解している。 <p>(思・判・表)</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会の中で状況を的確に判断し、国民としての権利及び義務、責任について考え、表現することができる。 社会の慣習、生活に関係の深い法やきまりの意義と自分とのかかわりについて考え、表現することができる。 <p>(主学)</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会参加する上で日常生活においてどのようなことに気をつけたら良いか考えることができる。 	社会参加ときまり	<ul style="list-style-type: none"> 教科書を基に作成したワークシートに教科書をみながら取り組む。その際、わからない箇所はグループで教えあえるようにする。 ※教師による解説の際には、視聴覚機器、iPadを使い、視覚的に理解できるように促す。 授業の最初に「最近の気になるニュース」を紹介し、社会で起こっていることに興味・関心が持てるようにする。 iPadとアプリを活用し、5分間自学自習の取り組みを行う 身近にあるきまりについて自ら調べ、発表することを通して、表現する力を身に付けられるようにする。 必要に応じて、校外へ移動し、地域に関連した取り組みを行う。

2 学 期	15	<p>(知及技) ・地域における公共施設や公共物の役割とその必要性を理解することができる。【高2段階(2)イ㊦】</p> <p>(思判表力) ・地域における公共施設や公共物の利用の仕方を調べ、適切な活用を考え、表現することができる。【高2段階(2)イ㊧】</p> <p>(学・人) ・地域で暮らすために、公共施設や公共物の適切な利用について考えることができる。【高2段階(2)イ㊨㊩】</p>	<p>(知・技) ・地域における公共施設や公共物の役割とその必要性を理解している。</p> <p>(思・判・表) ・地域における公共施設や公共物の利用の仕方を調べ、適切な活用を考え、表現することができている。</p> <p>(主学) ・地域で暮らすために、公共施設や公共物の適切な利用について考えることができている。</p>	公共施設の役割	<p>・教科書を基に作成したワークシートに教科書をみながら取り組む。その際、わからない箇所はグループで教えあえるようにする。 ※教師による解説の際には、視聴覚機器、ipadを使い、視覚的に理解できるように促す。</p> <p>・授業の最初に「最近の気になるニュース」を紹介し、社会で起こっていることに興味・関心が持てるようにする。</p> <p>・iPadとアプリを活用し、5分間自学自習の取り組みを行う</p> <p>・必要に応じて、校外へ移動し、地域に関連した取り組みを行う。</p>
3 学 期	7	<p>(知及技) ・生活に関係の深い制度について理解することができる。【高2段階(2)イ(イ)㊦】</p> <p>(思判表力) ・生活に関係の深い制度について調べ、その活用を考え、表現することができる。【高2段階(2)イ(イ)㊧】</p> <p>(学・人) ・社会で暮らすために、制度について考えることができる。【高2段階(2)イ(イ)㊨㊩】</p>	<p>(知・技) ・生活に関係の深い制度について理解している。</p> <p>(思・判・表) 生活に関係の深い制度について調べ、その活用を考え、表現することができている。</p> <p>(主学) ・社会で暮らすために、制度について考えることができている。</p>	さまざまな制度	<p>・教科書を基に作成したワークシートに教科書をみながら取り組む。その際、わからない箇所はグループで教えあえるようにする。 ※教師による解説の際には、視聴覚機器、ipadを使い、視覚的に理解できるように促す。</p> <p>・授業の最初に「最近の気になるニュース」を紹介し、社会で起こっていることに興味・関心が持てるようにする。</p> <p>・iPadとアプリを活用し、5分間自学自習の取り組みを行う</p> <p>・必要に応じて、校外へ移動し、地域に関連した取り組みを行う。</p>

※評価は、各学期とも授業プリント・リフレクションシート・期末テスト・調べ学習等の提出物で行う。
※年間を通して、沖縄の市町村とその特色について学習する。

令和8年度 「社会」 年間指導計画

配当 時数	対象生徒	教科書			
35	2学年 生徒10名	くらしに役立つ社会（東洋館出版社）			
年間 目標	<p>(知及技)社会参加するためのきまり等について、様々な資料や具体的な活動を通して理解するとともに、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けることができる。(高2段階)</p> <p>(思判表力)社会的事象の特色について、自分の生活と結び付けて考える力、社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを適切に表現する力を養うことができる。(高2段階)</p> <p>(学・人)社会に主体的に関わろうとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、我が国の歴史や伝統を大切に国を愛する心情を養うことができる。(高2段階)</p>				
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価基準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	13	<p>(知及技)</p> <ul style="list-style-type: none"> 自然災害から国土を保全し、国民生活を守るために国や県などが様々な対策や事業を進めていることを理解することができる。【高2段階(2)ウ(ア)㉞】 <p>(思判表力)</p> <ul style="list-style-type: none"> 国土の環境保全について、自分たちにできることなどを考え、表現することができる。【高2段階(2)ウ(ア)㉟】 <p>(学・人)</p> <ul style="list-style-type: none"> 全然に暮らすため、日常生活で気を付けることについて考えることができる。【高2段階(2)ウ(ア)㉟㉠】 	<p>(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none"> 自然災害から国土を保全し、国民生活を守るために国や県などが様々な対策や事業を進めていることを理解している <p>(思・判・表)</p> <ul style="list-style-type: none"> 国土の環境保全について、自分たちにできることなどを考え、表現することができる。 <p>(主学)</p> <ul style="list-style-type: none"> 全然に暮らすため、日常生活で気を付けることについて考えることができる。 	我が国の国土の自然環境と国民生活	<ul style="list-style-type: none"> 教科書を基に作成したワークシートに教科書をみながら取り組む。その際、わからない箇所はグループで教えあえるようにする。 ※教師による解説の際には、視聴覚機器、ipadを使い、視覚的に理解できるように促す。 授業の最初に「最近の気になるニュース」を紹介し、社会で起こっていることに興味・関心が持てるようにする。 iPadとアプリを活用し、5分間自学自習の取り組みを行う 身近にある災害について自ら調べ、発表することを通して、表現する力を身に付けられるようにする。 必要に応じて、校外へ移動し、地域に関連した取り組みを行う。

2 学 期	15	<p>(知及技) ・我が国の工業地域の盛んな地域及び工業製品の重要な役割について理解することができる。【高2段階(2)エ(ア)㉞】</p> <p>(思判表力) ・工業の種類、盛んな地域等工業生産の概要を捉え、国民生活に果たす役割を考え、表現することができる。【高2段階(2)エ(ア)㉟】</p> <p>(学・人) ・工業に携わる人々の工夫や努力について考えることができる。【高2段階(2)エ(ア)㊱】</p>	<p>(知・技) ・我が国の工業地域の盛んな地域及び工業製品の重要な役割について理解している。</p> <p>(思・判・表) ・工業の種類、盛んな地域等工業生産の概要を捉え、国民生活に果たす役割を考え、表現することができる。</p> <p>(主学) ・工業に携わる人々の工夫や努力について考えることができる。</p>	産業と生活	<p>・教科書を基に作成したワークシートに教科書をみながら取り組む。その際、わからない箇所はグループで教えあえるようにする。 ※教師による解説の際には、視聴覚機器、ipadを使い、視覚的に理解できるように促す。</p> <p>・授業の最初に「最近の気になるニュース」を紹介し、社会で起こっていることに興味・関心が持てるようにする。</p> <p>・iPadとアプリを活用し、5分間自学自習の取り組みを行う</p> <p>・必要に応じて、校外へ移動し、地域に関連した取り組みを行う。</p>
3 学 期	7	<p>(知及技) ・世界における我が国の国土の位置、国土の構成、領土の範囲、歴史などを大まかに理解することができる。【高2段階(2)オ(ア)㉞】</p> <p>(思判表力) ・我が国の国土の様子や歴史を捉え、その特色を考え、表現することができる。【高2段階(2)オ(ア)㉟】</p> <p>(学・人) ・我が国が健全に発展するために、一人一人ができることについて考えることができる。【高2段階(2)オ(イ)㊱㊲】</p>	<p>(知・技) ・世界における我が国の国土の位置、国土の構成、領土の範囲、歴史などを大まかに理解している。</p> <p>(思・判・表) ・我が国の国土の様子や歴史を捉え、その特色を考え、表現することができる。</p> <p>(主学) ・我が国が健全に発展するために、一人一人ができることについて考えることができる。</p>	我が国の国土の様子と国民生活、歴史	<p>・教科書を基に作成したワークシートに教科書をみながら取り組む。その際、わからない箇所はグループで教えあえるようにする。 ※教師による解説の際には、視聴覚機器、ipadを使い、視覚的に理解できるように促す。</p> <p>・iPadとアプリを活用し、5分間自学自習の取り組みを行う</p> <p>・授業の最初に「最近の気になるニュース」を紹介し、社会で起こっていることに興味・関心が持てるようにする。</p> <p>・必要に応じて、校外へ移動し、地域に関連した取り組みを行う。</p>

※評価は、各学期とも授業プリント・リフレクションシート・期末テスト・調べ学習等の提出物で行う。

※年間を通して、沖縄の市町村とその特色について学習する。

令和8年度 「社会」 年間指導計画

配当 時数	対象生徒	教科書			
35	3学年 生徒 10名	くらしに役立つ社会（東洋館出版社）			
年間 目標	<p>(知及技)社会参加するためのきまり等について、様々な資料や具体的な活動を通して理解するとともに、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けることができる。(高1段階)</p> <p>(思判表力)社会的事象の特色について、自分の生活と結び付けて考える力、社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを適切に表現する力を養うことができる。(高1段階)</p> <p>(学・人)社会に主体的に関わろうとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、我が国の歴史や伝統を大切に国を愛する心情を養うことができる。(高1段階)</p>				
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価基準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	13	<p>(知及技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の人々と互いに協力することの大切さを理解し、自分の役割や責任を果たすための知識や技能を身につけることができる。【高1段階(2)ア(7)㉞】 <p>(思判表力)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会生活の中で状況を的確に判断し、自分の役割と責任について考え、表現することができる。【高1段階(2)ア(7)㉟】 <p>(学・人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会参加する上で日常生活においてどのようなことに気をつけたら良いか考えることができる。【高1段階(2)ア(7)㉟㉞】 	<p>(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の人々と互いに協力することの大切さを理解し、自分の役割や責任を果たすための知識や技能を身につけることができる。 <p>(思・判・表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会生活の中で状況を的確に判断し、自分の役割と責任について考え、表現することができる。 <p>(主学)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会参加する上で日常生活においてどのようなことに気をつけたら良いか考えることができる。 	社会参加ときまり	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書を基に作成したワークシートに教科書をみながら取り組む。その際、わからない箇所はグループで教えあえるようにする。 ※教師による解説の際には、視聴覚機器、ipadを使い、視覚的に理解できるように促す ・授業の最初に「最近の気になるニュース」を紹介し、社会で起こっていることに興味・関心が持てるようにする。 ・iPadとアプリを活用し、5分間自学自習の取り組みを行う ・身近にあるきまりについて自ら調べ、発表することを通して、表現する力を身に付けられるようにする。 ・必要に応じて、校外へ移動し、地域に関連した取り組みを行う。

令和8年度 「数学 1年」 年間指導計画

配当 時数	対象生徒	教科書			
70	1学年 生徒10名	東洋館出版社 改訂新版 くらしに役立つ数学			
年間 目標	<p>(知及技) 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに、日常の事象を数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(思判表力) 日常の事象を数理的に捉えて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形などの性質を見いだし統合的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を表現する力を養う。</p> <p>(学・人) 数学的活動の楽しさやよさを実感し、数学を生活や学習に活用しようとする態度を養う。</p>				
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	25	<p>(知及技) ・自然数の性質や分数及び小数の意味、法則を理解し、計算する技能を身に付ける。</p> <p>(思判表力) ・目的に合った表現方法を用いて計算の仕方を考察したりするとともに、数量の関係を簡潔に表現することができる。</p> <p>(学・人) ・数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、生活や学習に活用しようとする態度を養う。</p>	<p>(知・技) ・自然数の性質や分数及び小数の意味、法則を理解し、計算する技能を身に付けている。</p> <p>(思・判・表) ・目的に合った表現方法を用いて計算の仕方を考察したりするとともに、数量の関係を簡潔に表現することができる。</p> <p>(主学) ・数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、生活や学習に活用しようとしている。</p>	<p>・なぜ数学を学ぶのか。</p> <p>・自分の身の回りのこと</p> <p>四則演算</p> <p>・自然数の性質</p> <p>・小数及び分数の性質</p> <p>・割合</p>	<p>・身の回りにある数字に触れる。</p> <p>・時計について</p> <p>・時刻・時間、前後の時刻</p> <p>・一日の日課</p> <p>・身体測定の結果</p> <p>・スポーツテスト</p> <p>加減乗除</p> <p>・小数、分数の表し方と大小比較</p> <p>・加法と減法</p> <p>・歩合、百分率</p> <p>・教科書を基に作成したワークシートに取り組む。その際、わからない箇所はグループで教えあるようにする。</p> <p>※教師による解説の際には、視聴覚機器、iPad を使い、視覚的に理解できるように促す。</p>
		<p>(知及技) ・平面図形の構成要素を知り、作図したり、面積や体積を求めることができる。</p> <p>(思判表力)</p>	<p>(知・技) ・平面図形や立体図形の構成要素を知り、作図したり、面積や体積を求めることができる。</p>	<p>図形と面積</p> <p>・平面図形の名称と特徴</p>	<p>・円</p> <p>・三角形の種類、特徴</p> <p>・四角形の種類、特徴</p> <p>・作図</p>

2 学 期	30	<p>・図形の構成要素に着目し、面積や体積の求め方について考察できる。 (学・人)</p> <p>・図形や数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、生活や学習に活用しようとする態度を養う。</p> <p>(知及技)</p> <p>・比について理解するとともに、目的に応じて比で処理する技能を身に付けることができる。 (思判表力)</p> <p>・伴って変わる二つの数量について表やグラフを用いて表現したり、考察することができる。 (学・人)</p> <p>・数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、生活や学習に活用しようとする態度を養う。</p>	<p>(思・判・表)</p> <p>・図形の構成要素に着目し、面積や体積の求め方について考察できている。 (主学)</p> <p>・図形や数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、生活や学習に活用しようとしている。</p> <p>(知・技)</p> <p>・比について理解するとともに、目的に応じて比で処理する技能を身に付けることができる。 (思・判・表)</p> <p>・伴って変わる二つの数量について表やグラフを用いて表現したり、考察することができる。 (主学)</p> <p>・数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、生活や学習に活用しようとしている。</p>	<p>・面積</p> <p>比例・反比例</p> <p>・数量の関係</p> <p>・変化量</p>	<p>・面積の求め方・図形の形・単位の読み方の確認</p> <p>・面積を計測</p> <p>・比の値、比の計算</p> <p>・表の作成</p> <p>・教科書を基に作成したワークシートに取り組み。その際、わからない箇所はグループで教えあるようにする。 ※教師による解説の際には、視聴覚機器、iPad を使い、視覚的に理解できるよう促す。</p>
3 学 期	15	<p>(知及技)</p> <p>・データをグラフで表す方法やグラフの読み取り方を知り、問題解決に生かすことができる。 (思判表力)</p> <p>・グラフで表したデータの特徴や違いに気付くなど、考察することができる。 (学・人)</p> <p>・データの活用について数学的に表現・処理したことを振り返り、生活や学習に活用しようとする態度を養う。</p>	<p>(知及技)</p> <p>・データをグラフで表す方法やグラフの読み取り方を知り、問題解決に生かすことができる。 (思判表力)</p> <p>・グラフで表したデータの特徴や違いに気付くなど、考察することができる。 (主学)</p> <p>・データの活用について数学的に表現・処理したことを振り返り、生活や学習に活用しようとしている。</p>	<p>表とグラフ</p> <p>・表の読み取り</p> <p>・グラフの読み取り</p> <p>・グラフの作成</p>	<p>・時刻表(バス、モノレール)</p> <p>・新聞、ニュースの表やグラフ</p> <p>・グラフの種類、特徴</p> <p>・アンケート集約(グラフ作成)</p> <p>・教科書を基に作成したワークシートに取り組み。その際、わからない箇所はグループで教えあるようにする。 ※教師による解説の際には、視聴覚機器、iPad を使い、視覚的に理解できるよう促す。</p>

令和8年度 「数学 2年」 年間指導計画

配当 時数	対象生徒	教科書			
70	2学年 生徒10名	東洋館出版社 改訂新版 くらしに役立つ数学			
年間 目標	<p>(知及技) 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに、日常の事象を数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(思判表力) 日常の事象を数理的に捉えて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形などの性質を見いだし統合的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を表現する力を養う。</p> <p>(学・人) 数学的活動の楽しさやよさを実感し、数学を生活や学習に活用しようとする態度を養う。</p>				
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	25	<p>(知及技) ・自然数の性質や分数及び小数の意味、法則を理解し、計算する技能を身に付ける。 (思判表力) ・目的に合った表現方法を用いて計算の仕方を考察したりするとともに、数量の関係を簡潔に表現することができる。 (学・人) ・数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、生活や学習に活用しようとする態度を養う。</p>	<p>(知・技) ・自然数の性質や分数及び小数の意味、法則を理解し、計算する技能を身に付けている。 (思・判・表) ・目的に合った表現方法を用いて計算の仕方を考察したりするとともに、数量の関係を簡潔に表現することができる。 (主学) ・数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、生活や学習に活用しようとしている。</p>	<p>・なぜ数学を学ぶのか。 ・自分の身の回りのこと 四則演算 ・自然数の性質 ・小数及び分数の性質 ・割合</p>	<p>・身の回りにある数字に触れる。 ・時計について ・時刻・時間、前後の時刻 ・一日の日課 ・身体測定の結果 ・スポーツテスト 加減乗除 ・小数、分数の表し方と大小比較 ・加法と減法 ・歩合、百分率 ・教科書を基に作成したワークシートに取り組む。その際、わからない箇所はグループで教えあるようにする。 ※教師による解説の際には、視聴覚機器、iPad を使い、視覚的に理解できるように促す。</p>
		<p>(知及技) ・平面図形の構成要素を知り、作図したり、面積や体積を求めることができる。 (思判表力)</p>	<p>(知・技) ・平面図形や立体図形の構成要素を知り、作図したり、面積や体積を求めることができる。</p>	<p>図形と面積 ・平面図形の名称と特徴</p>	<p>・円 ・三角形の種類、特徴 ・四角形の種類、特徴 ・作図</p>

2 学 期	30	<p>・図形の構成要素に着目し、面積や体積の求め方について考察できる。 (学・人)</p> <p>・図形や数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、生活や学習に活用しようとする態度を養う。</p> <p>(知及技)</p> <p>・比について理解するとともに、目的に応じて比で処理する技能を身に付けることができる。 (思判表力)</p> <p>・伴って変わる二つの数量について表やグラフを用いて表現したり、考察することができる。 (学・人)</p> <p>・数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、生活や学習に活用しようとする態度を養う。</p>	<p>(思・判・表)</p> <p>・図形の構成要素に着目し、面積や体積の求め方について考察できている。 (主学)</p> <p>・図形や数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、生活や学習に活用しようとしている。</p> <p>(知・技)</p> <p>・比について理解するとともに、目的に応じて比で処理する技能を身に付けることができる。 (思・判・表)</p> <p>・伴って変わる二つの数量について表やグラフを用いて表現したり、考察することができる。 (主学)</p> <p>・数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、生活や学習に活用しようとしている。</p>	<p>・面積</p> <p>比例・反比例</p> <p>・数量の関係</p> <p>・変化量</p>	<p>・面積の求め方・図形の形・単位の読み方の確認</p> <p>・面積を計測</p> <p>・比の値、比の計算</p> <p>・表の作成</p> <p>・教科書を基に作成したワークシートに取り組み。その際、わからない箇所はグループで教えあるようにする。 ※教師による解説の際には、視聴覚機器、iPad を使い、視覚的に理解できるよう促す。</p>
3 学 期	15	<p>(知及技)</p> <p>・データをグラフで表す方法やグラフの読み取り方を知り、問題解決に生かすことができる。 (思判表力)</p> <p>・グラフで表したデータの特徴や違いに気付くなど、考察することができる。 (学・人)</p> <p>・データの活用について数学的に表現・処理したことを振り返り、生活や学習に活用しようとする態度を養う。</p>	<p>(知及技)</p> <p>・データをグラフで表す方法やグラフの読み取り方を知り、問題解決に生かすことができる。 (思判表力)</p> <p>・グラフで表したデータの特徴や違いに気付くなど、考察することができる。 (主学)</p> <p>・データの活用について数学的に表現・処理したことを振り返り、生活や学習に活用しようとしている。</p>	<p>表とグラフ</p> <p>・表の読み取り</p> <p>・グラフの読み取り</p> <p>・グラフの作成</p>	<p>・時刻表(バス、モノレール)</p> <p>・新聞、ニュースの表やグラフ</p> <p>・グラフの種類、特徴</p> <p>・アンケート集約(グラフ作成)</p> <p>・教科書を基に作成したワークシートに取り組み。その際、わからない箇所はグループで教えあるようにする。 ※教師による解説の際には、視聴覚機器、iPad を使い、視覚的に理解できるよう促す。</p>

令和8年度 「数学 3年」 年間指導計画

配当 時数	対象生徒	教科書			
70	3学年 生徒 10名	東洋館出版社 くらしに役立つ数学			
年間 目標	<p>(知及技) 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに、日常の事象を数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(思判表力) 日常の事象を数理的に捉えて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形などの性質を見いだし統合的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を表現する力を養う。</p> <p>(学・人) 数学的活動の楽しさやよさを実感し、数学を生活や学習に活用しようとする態度を養う。</p>				
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	25	<p>(知及技) ・自然数の性質や分数及び小数の意味、法則を理解し、計算する技能を身に付ける。 (思判表力) ・目的に合った表現方法を用いて計算の仕方を考察したりするとともに、数量の関係を簡潔に表現することができる。 (学・人) ・数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、生活や学習に活用しようとする態度を養う。</p>	<p>(知・技) ・自然数の性質や分数及び小数の意味、法則を理解し、計算する技能を身に付けている。 (思・判・表) ・目的に合った表現方法を用いて計算の仕方を考察したりするとともに、数量の関係を簡潔に表現することができる。 (主学) ・数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、生活や学習に活用しようとしている。</p>	<p>・なぜ数学を学ぶのか。 ・自分の身の回りのこと 四則演算 ・自然数の性質 ・小数及び分数の性質 ・割合</p>	<p>・身の回りにある数字に触れる。 ・時計について ・時刻・時間、前後の時刻 ・一日の日課 ・身体測定の結果 ・スポーツテスト 加減乗除 ・小数、分数の表し方と大小比較 ・加法と減法 ・歩合、百分率 ・教科書を基に作成したワークシートに取り組む。その際、わからない箇所はグループで教えあるようにする。 ※教師による解説の際には、視聴覚機器、iPad を使い、視覚的に理解できるように促す。</p>
		<p>(知及技) ・平面図形の構成要素を知り、作図したり、面積や体積を求めることができる。 (思判表力)</p>	<p>(知・技) ・平面図形や立体図形の構成要素を知り、作図したり、面積や体積を求めることができる。</p>	<p>図形と面積 ・平面図形の名称と特徴</p>	<p>・円 ・三角形の種類、特徴 ・四角形の種類、特徴 ・作図</p>

2 学 期	30	<p>・図形の構成要素に着目し、面積や体積の求め方について考察できる。 (学・人)</p> <p>・図形や数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、生活や学習に活用しようとする態度を養う。</p> <p>(知及技)</p> <p>・比について理解するとともに、目的に応じて比で処理する技能を身に付けることができる。 (思判表力)</p> <p>・伴って変わる二つの数量について表やグラフを用いて表現したり、考察することができる。 (学・人)</p> <p>・数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、生活や学習に活用しようとする態度を養う。</p>	<p>(思・判・表)</p> <p>・図形の構成要素に着目し、面積や体積の求め方について考察できている。 (主学)</p> <p>・図形や数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、生活や学習に活用しようとしている。</p> <p>(知・技)</p> <p>・比について理解するとともに、目的に応じて比で処理する技能を身に付けることができる。 (思・判・表)</p> <p>・伴って変わる二つの数量について表やグラフを用いて表現したり、考察することができる。 (主学)</p> <p>・数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、生活や学習に活用しようとしている。</p>	<p>・面積</p> <p>比例・反比例</p> <p>・数量の関係</p> <p>・変化量</p>	<p>・面積の求め方・図形の形・単位の読み方の確認</p> <p>・面積を計測</p> <p>・比の値、比の計算</p> <p>・表の作成</p> <p>・教科書を基に作成したワークシートに取り組み。その際、わからない箇所はグループで教えあるようにする。 ※教師による解説の際には、視聴覚機器、iPad を使い、視覚的に理解できるよう促す。</p>
3 学 期	15	<p>(知及技)</p> <p>・データをグラフで表す方法やグラフの読み取り方を知り、問題解決に生かすことができる。 (思判表力)</p> <p>・グラフで表したデータの特徴や違いに気付くなど、考察することができる。 (学・人)</p> <p>・データの活用について数学的に表現・処理したことを振り返り、生活や学習に活用しようとする態度を養う。</p>	<p>(知及技)</p> <p>・データをグラフで表す方法やグラフの読み取り方を知り、問題解決に生かすことができる。 (思判表力)</p> <p>・グラフで表したデータの特徴や違いに気付くなど、考察することができる。 (主学)</p> <p>・データの活用について数学的に表現・処理したことを振り返り、生活や学習に活用しようとしている。</p>	<p>表とグラフ</p> <p>・表の読み取り</p> <p>・グラフの読み取り</p> <p>・グラフの作成</p>	<p>・時刻表(バス、モノレール)</p> <p>・新聞、ニュースの表やグラフ</p> <p>・グラフの種類、特徴</p> <p>・アンケート集約(グラフ作成)</p> <p>・教科書を基に作成したワークシートに取り組み。その際、わからない箇所はグループで教えあるようにする。 ※教師による解説の際には、視聴覚機器、iPad を使い、視覚的に理解できるよう促す。</p>

令和8年度 「理科」 年間指導計画

配当 時数	対象生徒	教科書			
35	1学年 生徒10名	くらしに役立つ理科 (東洋館出版社)			
年間 目標	<p>(知及技)自然の事物・現象についての基本的な理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。</p> <p>(思判表力)観察、実験などを行い、解決の方法を考える力とより妥当な考えをつくりだす力を身に付けることができる。</p> <p>(学・人)自然を愛する心情を身に付けるとともに、学んだことを主体的に生活に生かそうとする態度を身に付けることができる。</p>				
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	13	<p>(知及技) 植物は種子の中の養分をもとにして発芽すること、発芽には水、空気及び温度が関係していることが分かる。【高1段階】</p> <p>(思判表力) 植物の育ち方について調べる中で、植物の発芽、成長及び結実とそれらに関わる条件についての予想や仮設を基に、解決の方法を考え、表現することができる。【高1段階】</p> <p>(学・人) 植物の成長と環境の関わりについて見いだした疑問を調べ、日常生活に活かすことができる。【高1段階】</p>	<p>(知・技) 植物は種子の中の養分を基にして発芽すること、発芽には水、空気及び温度が関係していることを理解している。</p> <p>(思・判・表) 植物の育ち方について調べる中で、植物の発芽、成長及び結実とそれらに関わる条件についての予想や仮設をもとに、解決の方法を考え、表現しようとしている。</p> <p>(主学) 植物の成長と環境との関わりについて見いだした疑問を調べ、日常生活に活かそうとしている。</p> <p>(評価資料) 活動の姿、提出物、自己評価</p>	植物の発芽、成長、結実	<p>植物の発芽、成長、結実についての動画を視聴する。</p> <p>iPadを用いて、植物の発芽、成長、結実の条件やその条件が植物の成長の種類によって違いがあるかを調べる。</p> <p>植物の発芽、成長、結実について、クイズなどを通して</p>
2 学期	14	<p>(知及技) 私たちの体にある、生きていくために必要なつくりや働きについて学ぶ。(高2段階 Aア(ア))</p>	<p>(知・技) 私たちの体にある、生きていくために必要なつくりや働きについて理解している。</p>	<p>人体とけが病気の予防</p> <p>・人の体の主なつくりや働き</p>	<p>教科書を基に作成したワークシートに教科書を見ながら、取り組み、黒板の解答欄に自身の解答を記入する。</p> <p>教師の解説を聞きなが</p>

		<p>(思判表力) 病気になるったり、けがをした時にどうすればよいかを考えることができる。(高2段階Aア(イ))</p> <p>(学・人) 病気やけがを予防するために、どのようなことに気をつければよいかを考えることができる。(高2段階Aア(イ))</p>	<p>(思・判・表) 病気になるったり、けがをした時の対応方法について考えることができる。</p> <p>(主学) 病気やけがの予防のために、日常生活でどのようなことに気をつければよいかを考えることができる。</p> <p>授業プリント(振り返りシート)、活動の様子、期末テストで評価する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・体を守るしくみ ・様々な病気 ・病気の予防 ・けがとその処置 	<p>ら、答え合わせを行う。間違えた箇所や無記入の箇所は再記入する。</p> <p>※解説の際には視聴覚機器・iPadを使い、視覚的に理解できるように促す。</p> <p>※適宜、実験を行い体験的に理解できるように促す。</p> <p>様々な病気やけがを挙げ、それらの対応方法について考える。</p> <p>病気やけがを防ぐために、日常生活でどのようなことに気をつければよいかを考えてグループ内で発表し、グループの意見をまとめ、全体で発表する。</p>
3 学 期	8	<p>(知及技) 各栄養素の体内での働きと各栄養素が多く含まれる食品について学ぶ。(高2段階Aア(ア))</p> <p>(思判表力) 自身の食生活を振り返り、栄養バランスについて考えることができる。(高2段階Aア(イ))</p> <p>(学・人) 健康に暮らすために、どのように食事を工夫したら良いかを考えることができる。(高2段階Aア(イ))</p>	<p>(知・技) 各栄養素の体内での働きと各栄養素が多く含まれる食品について理解している。</p> <p>(思・判・表) 自身の食生活を振り返り、栄養バランスについて考えることができる。</p> <p>(主学) 健康に暮らすために、どのように食事を工夫したら良いかを考えることができる。</p> <p>授業プリント(振り返りシート)、活動の様子、期末テストで評価する。</p>	<p>食事と健康</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食品の栄養素(炭水化物・脂質・タンパク質・無機質・ビタミン) ・食品の腐敗 	<p>教科書を基に作成したワークシートに教科書を見ながら、取り組み、黒板の解答欄に自身の解答を記入する。</p> <p>教師の解説を聞きながら、答え合わせを行う。間違えた箇所や無記入の箇所は再記入する。</p> <p>※解説の際には視聴覚機器・iPadを使い、視覚的に理解できるように促す。</p> <p>※適宜、実験を行い体験的に理解できるように促す。</p> <p>私たちが使用している様々な物質を挙げ、それらの物質の環境に優しい使い方について考える。</p> <p>健康のためにできる食事での工夫について考えてグループ内で発表し、グループの意見をまとめ、全体で発表する。</p>

令和8年度 「理科」 年間指導計画

配当 時数		対象生徒	教科書		
35		2学年 生徒10名	くらしに役立つ理科 (東洋館出版社)		
年間 目標		(知及技)自然の事物・現象についての基本的な理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。 (思判表力)観察、実験などを行い、解決の方法を考える力とより妥当な考えをつくり出す力を身に付けることができる。 (学・人)自然を愛する心情を身に付けるとともに、学んだことを主体的に生活に生かそうとする態度を身に付けることができる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	13	(知及技) 私たちは自然の中で暮らし、自然の中にはたくさんの生物がおり、その生物と共生していることを学ぶ。 (高1段階Aア(ア)、高2段階Aウ(ア)) (思判表力) 生物と共生するためにどのようなことが必要であるかを考えることができる。(高2段階Aウ(ア)) (学・人) 生物と共生するためにどのようなことを工夫したりすればよいかを考えることができる。(高2段階Aウ(ア)(イ))	(知・技) 私たちは自然の中で多くの生物と共生することにより生きていることを理解している。 (思・判・表) 生物と共生するために必要なことを考えることができている。 (主学) 生物と共生するために日常生活でどのような工夫をすればよいかを考えることができている。 授業プリント(振り返りシート)、活動の様子、期末テストで評価する。	生物との共生 ・植物の種類とその特徴 ・動物の種類とその特徴 ・微生物の暮らしへの利用や活用 ・生物と食物連鎖	教科書を基に作成したワークシートに教科書を見ながら、取り組み、黒板の解答欄に自身の解答を記入する。 教師の解説を聞きながら、答え合わせを行う。間違えた箇所や無記入の箇所は再記入する。 ※解説の際には視聴覚機器・iPadを使い、視覚的に理解できるように促す。 ※適宜、実験を行い体験的に理解できるように促す。 生物と共生するために必要なことや日常生活でできることを考えてグループ内で発表し、グループの意見をまとめ、全体で発表する。
2 学期	14	(知及技) 地球の様子や気象現象、地球から見える天体の見え方や動きについて学ぶ。(高1段階Bイ(ア)、高2段階Bイ(ア)) (思判表力) 自然について学び、自然環境を守るためにどのようなことが必	(知・技) 気象現象には太陽が大きく関わり、雲ができるには水蒸気を含んだ空気の上昇気流が必要であることを理解している。また、太陽の公転により昼夜や季節の変化が起きていることを理解している。	地球と自然 ・地球の様子 ・気象の変化とその特徴 ・大気と海 ・月の見え方と動き	教科書を基に作成したワークシートに教科書を見ながら、取り組み、黒板の解答欄に自身の解答を記入する。 教師の解説を聞きながら、答え合わせを行う。間違えた箇所や無記入の箇所は再記入する。 ※解説の際には視聴覚機器・iPadを使い、視覚的に

		<p>要であるかを考えることができる。(高2段階Aウ(ア))</p> <p>(学・人) 自然環境を守るためにどのようなことを工夫したりすればよいかを考えることができる。(高2段階Aウ(ア)(イ))</p>	<p>(思・判・表) 自然環境を守るために必要なことを考えることができている。</p> <p>(主学) 自然環境を守るために日常生活でどのような工夫をすればよいかを考えることができている。</p> <p>授業プリント(振り返りシート)、活動の様子、期末テストで評価する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽や星の動き ・様々な環境問題 ・環境保全について考える 	<p>理解できるように促す。 ※適宜、実験を行い体験的に理解できるように促す。</p> <p>自然環境を守るために必要なことや日常生活でできることを考えてグループ内で発表し、グループの意見をまとめ、全体で発表する。</p>
3 学 期	8	<p>(知及技) 地震や津波、台風のメカニズムについて学ぶ。(高1段階Bイ(ア))</p> <p>(思判表力) 台風の特徴について学び、何が台風の進路に影響を与えているかを考えることができる。(高1段階Bイ(イ))</p> <p>(学・人) 地震や津波、台風などの災害時の対応方法について考えることができる。(高1段階Bイ(イ))</p>	<p>(知・技) 地震はプレートの動きにより起こることを理解している。津波は海底を震源とする地震により起こることを理解している。台風は熱帯低気圧が発達してでき、暖かい海で発生した水蒸気がエネルギー源であることを理解している。</p> <p>(思・判・表) 台風の進路を示した図を見て、貿易風、太平洋高気圧、偏西風が進路に影響を与えていることを考えることができている。</p> <p>(主学) 地震や津波、台風など各災害の特徴を踏まえて対応方法について考えることができている。</p> <p>授業プリント(振り返りシート)、活動の様子、期末テストで評価する。</p>	<p>自然災害とその対応方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地震について ・津波について ・台風について ・災害時の対応方法 	<p>教科書を基に作成したワークシートに教科書を見ながら、取り組み、黒板の解答欄に自身の解答を記入する。</p> <p>教師の解説を聞きながら、答え合わせを行う。間違えた箇所や無記入の箇所は再記入する。 ※解説の際には視聴覚機器・iPadを使い、視覚的に理解できるように促す。 ※適宜、実験を行い体験的に理解できるように促す。</p> <p>台風の進路を示した図を見て、台風の進路に影響を与えているものについて考える。</p> <p>地震や津波、台風など各災害の対応方法について考えてグループ内で発表し、グループの意見をまとめ、全体で発表する。</p>

令和8年度 「理科」 年間指導計画

配当 時数	対象生徒	教科書			
35	3学年 生徒9名	くらしに役立つ理科 (東洋館出版社)			
年間 目標	<p>(知及技)自然の事物・現象についての基本的な理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。</p> <p>(思判表力)観察、実験などを行い、解決の方法を考える力とより妥当な考えをつくり出す力を身に付けることができる。</p> <p>(学・人)自然を愛する心情を身に付けるとともに、学んだことを主体的に生活に生かそうとする態度を身に付けることができる。</p>				
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	13	<p>(知及技) 私たちの生活を快適にするために利用されている物質の特徴について学ぶ。(高1段階Cイ(ア))</p> <p>(思判表力) 私たちが利用している物質を資源として無駄遣いしないためにどのようなことが必要であるかを考えることができる。(高2段階Aウ(ア))</p> <p>(学・人) 私たちが利用している物質を資源として無駄遣いしないためにどのようなことを工夫したりすればよいかを考えることができる。(高2段階Aウ(ア)(イ))</p>	<p>(知・技) 私たちが生活に利用している様々な物質の特徴を理解している。</p> <p>(思・判・表) 資源を無駄遣いしないために必要なことを考えることができる。</p> <p>(主学) 資源を無駄遣いしないために日常生活でどのような工夫をすればよいかを考えることができる。</p> <p>授業プリント(振り返りシート)、活動の様子、期末テストで評価する。</p>	<p>身のまわりにある物質</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プラスチックの特徴 ・金属の特徴 ・ガラスの特徴 ・セメントの特徴 ・その他(セラミックス、ガラス繊維等)の物質の特徴 	<p>教科書を基に作成したワークシートに教科書を見ながら、取り組み、黒板の解答欄に自身の解答を記入する。</p> <p>教師の解説を聞きながら、答え合わせを行う。間違えた箇所や無記入の箇所は再記入する。</p> <p>※解説の際には視聴覚機器・iPadを使い、視覚的に理解できるように促す。</p> <p>※適宜、実験を行い体験的に理解できるように促す。</p> <p>資源を守るために必要なことや日常生活でできることを考えてグループ内で発表し、グループの意見をまとめ、全体で発表する。</p>
2 学期	14	<p>(知及技) 私たちの生活に欠かせない様々なエネルギーや機械の特徴、安全性について学ぶ。(高2段階Cエ(ア))</p>	<p>(知・技) 私たちが生活に利用している様々なエネルギーや機械の特徴、安全性について理解している。</p>	<p>日常生活に係わるエネルギーと機械</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私たちが利用するエネルギー(電気、ガス、石油)について 	<p>教科書を基に作成したワークシートに教科書を見ながら、取り組み、黒板の解答欄に自身の解答を記入する。</p> <p>教師の解説を聞きながら、答え合わせを行う。間違えた箇所や無記入の箇所は再記入する。</p>

		<p>(思判表力) 持続可能な社会に向けたエネルギーの使い方において、どのようなことが必要であるかを考えることができる。(高2段階Aウ(ア)、高2段階Cエ(イ))</p> <p>(学・人) 持続可能な社会に向けたエネルギーの使い方において、どのようなことを工夫したりすればよいかを考えることができる。(高2段階Aウ(ア)(イ)、高2段階Cエ(イ))</p>	<p>(思・判・表) 持続可能な社会に向けたエネルギーの使用方法について必要なことを考えることができる。</p> <p>(主学) 持続可能な社会に向けたエネルギーの使い方において、日常生活でどのような工夫をすればよいかを考えることができる。</p> <p>授業プリント(振り返りシート)、活動の様子、期末テストで評価する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・電気製品やガス機器の安全な使い方 	<p>※解説の際には視聴覚機器・iPadを使い、視覚的に理解できるように促す。</p> <p>※適宜、実験を行い体験的に理解できるように促す。</p> <p>持続可能な社会に向けたエネルギーの使い方において、必要なことや日常生活でできることを考えてグループ内で発表し、グループの意見をまとめ、全体で発表する。</p>
3 学 期	8	<p>(知及技) 私たちが生活を快適にするために利用している生活用薬品や医薬品の性質及び正しい使用法や服用法を学ぶ。(高2段階Cイ(ア))</p> <p>(思判表力) 私たちが利用している生活用薬品を挙げ、どのような時に利用しているのかを考えることができる。(高2段階Cイ(イ))</p> <p>(学・人) 病気や体調が悪い時に、その症状に応じて使用する医薬品や服用方法について考えることができる。(高2段階Cイ(イ))</p>	<p>(知・技) 私たちが利用している生活用薬品や医薬品の性質及び正しい使用法や服用法を理解している。</p> <p>(思・判・表) 身の回りにある生活用薬品を挙げ、どのような時に利用しているのかを考えることができる。</p> <p>(主学) 日常生活において病気や体調が悪くなった時に、その症状に応じて使用する医薬品や服用方法について考えることができる。</p> <p>授業プリント(振り返りシート)、活動の様子、期末テストで評価する。</p>	<p>身の周りにある薬品と医薬品</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活を快適にする生活用薬品とその正しい使い方 ・医薬品の主作用と副作用 ・医薬品の飲み方 	<p>教科書を基に作成したワークシートに教科書を見ながら、取り組み、黒板の解答欄に自身の解答を記入する。</p> <p>教師の解説を聞きながら、答え合わせを行う。間違えた箇所や無記入の箇所は再記入する。</p> <p>※解説の際には視聴覚機器・iPadを使い、視覚的に理解できるように促す。</p> <p>※適宜、実験を行い体験的に理解できるように促す。</p> <p>身の回りにある生活用薬品を挙げ、どのような時に利用しているのかを考える。</p> <p>日常生活において病気や体調が悪くなった時に、その症状に応じて使用する医薬品や服用方法について考える。</p>

令和8年度 「 音楽 」 年間指導計画

配当 時数	対象生徒	教科書			
70	1学年 生徒5名	Tutti+ (教育出版) 音楽 I			
年間 目標	<p>(知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、相違工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けることができる。(高1段階)</p> <p>(思判表力) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。(高1段階)</p> <p>(学・人) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育むとともに、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培うことができる。(高1段階)</p>				
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	26	<p>(知及技) 言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり、曲想と和楽器の音色や奏法との関わりを理解するとともに、創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な曲にふさわしい発声、奏法、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けることができる。 (高1段階 A ア(ア)、イ(ア))</p> <p>(思判表力) 音色、リズム、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、歌唱表現や器楽表現を創意工夫することができる。(高1段階 A ア(イ)、イ(イ))</p> <p>(学・人) 旋律や歌詞、曲想のもつリズムとの関係に</p>	<p>(知・技) 言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり、曲想と和楽器の音色や奏法との関わりを理解するとともに、創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な曲にふさわしい発声、奏法、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けることができる。</p> <p>(思・判・表) 音色、リズム、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、歌唱表現や器楽表現を創意工夫することができる。</p> <p>(主学) 旋律や歌詞、曲想のもつリズムとの関係に関心をもち、主体的・協働的に歌唱や器楽の学習活動に取り組むとともに、音楽に対する感性</p>	<p>曲にふさわしい発声で表情豊かに歌おう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校歌 ・翼をください ・春 ・Caro mio ben ・O sole mio <p>三線に親しみ、演奏に挑戦しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安波節 ・安里屋ユンタ 	<p>・校歌の斉唱, 暗譜での歌唱をする。</p> <p>・姿勢や呼吸法, 発声法に気をつけて, 楽曲の特徴を感じ取り, イメージをもって歌う。</p> <p>・合唱で生まれる一体感を味わって歌う。</p> <p>※正しい発声法や姿勢についてイメージしやすい言葉がけを行う。</p> <p>・郷土の音楽, 琉球民謡, 琉球古典音楽を鑑賞し, 歴史や背景など理解を深める琉球音楽の楽しさ奥深さを味わう</p> <p>・三線のルーツや構造について学ぶ</p> <p>・三線の基本的な奏法や工工四の読み方を学び, 弾き歌いで演奏する。</p> <p>※適宜個別指導を行う。</p>

		関心をもち、主体的・協働的に歌唱や器楽の学習活動に取り組むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、主体的・協働的に歌唱や器楽の学習活動に取り組むことができる。(高1段階 A ア (ア) イ (ア))	を豊かにし、主体的・協働的に歌唱や器楽の学習活動に取り組むことができる。		
2 学 期	30	<p>(知及技) 曲想と音楽の構造や歌詞との関わりや音楽の特徴と他の芸術との関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした歌唱・器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けて演奏することができる。(高1段階 A ア (ア)、イ (ア))</p> <p>(思判表力) 音色、旋律、テクスチュアを知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもつとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴くことができる。(高1段階 A ア (イ) (ウ)、イ (イ) (ウ)、B ア (ア))</p> <p>(学・人) 曲想と音楽の構造や歌詞との関わりや音楽の特徴と他の芸術との関わりに関心をもち、主体的・協働的に歌唱、鑑賞の学習活</p>	<p>(知・技) 曲想と音楽の構造や歌詞との関わりや音楽の特徴と他の芸術との関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした歌唱・器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けて演奏することができる。</p> <p>(思・判・表) 音色、旋律、テクスチュアを知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもつとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴くことができる。</p> <p>(主学) 曲想と音楽の構造や歌詞との関わりや音楽の特徴と他の芸術との関わりに関心をもち、主体的・協働的に歌唱、鑑賞の学習活動に取り組むことができる。</p>	<p>ミュージカル映画を鑑賞しよう ・サウンドオブミュージック</p> <p>「楽器の世界」～ハンドベル演奏、キーボード演奏～ ・クリスマスソング ・海の声</p>	<p>・ミュージカルの歴史について学び、曲を味わいながら鑑賞する。 ※ミュージカル映画に登場する曲名が視覚的にわかるように表示する。</p> <p>・音楽の諸要素について学び、音楽の構成について考える。 ・運指法やキーボードの基礎的な知識を学ぶ。 ・五線、音階、音符と休符、楽語等を理解する。 ・ハンドベルの奏法について学び、それぞれの役割の重要性を認識しながら、合奏の面白さを感じる。 ※生徒同士で教え合うことができるよう、一音を2人以上が担当するよう配置する。</p>

		動に取り組むことができる。(高1段階 A ア (ア) イ (ア))			
3 学 期	14	<p>(知及技) ことばの響き、音型などの特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解し、創意工夫を生かした創作表現をするために必要な、反復、変化などの手法を活用して音楽をつくる技能を身に付け、創作で表すとともに、創意工夫を生かした歌唱・器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱や器楽で表すことができる。(高1段階 A ウ (ア))</p> <p>(思判表力) 音色、リズム、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくり、どのように演奏するかについて表現意図をもつことができる。(高1段階 A ウ (イ) (ウ))</p> <p>(学・人) ことばの響き、音型などの特徴に関心を持ち、主体的・協働的に創作の学習活動や歌唱・器楽の学習活動に取り組むことができる。(高1段階 A ウ (ア))</p>	<p>(知・技) ことばの響き、音型などの特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解し、創意工夫を生かした創作表現をするために必要な、反復、変化などの手法を活用して音楽をつくる技能を身に付け、創作で表すとともに、創意工夫を生かした歌唱・器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱や器楽で表すことができる。</p> <p>(思・判・表) 音色、リズム、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくり、どのように演奏するかについて表現意図をもつことができる。</p> <p>(主学) ことばの響き、音型などの特徴に関心を持ち、主体的・協働的に創作の学習活動や歌唱・器楽の学習活動に取り組むことができる。</p>	<p>発音や発声を工夫して声によるアンサンブルをつくろう</p> <p>さまざまな器楽アンサンブルを楽しもう ・クラスコンサート</p>	<p>・1・2学期で学習した音楽の知識や、歌唱、器楽の技術を生かして短い音楽の創作活動を行う。 ※創作活動の指針となるよう、例を提示する。</p> <p>・グループを作ってコンサートを行うことでアンサンブルの楽しさを味わう。 ・1・2学期で学習した音楽の知識や、歌唱、器楽の技術を生かして、創造的な表現や演奏を目指す ・コンサートで互いに鑑賞しあうことで音楽のよさやアンサンブルのよさを味わう。 ※生徒同士で教え合うことができるよう、一つのパートを2人以上が担当するよう配置する。</p>

令和8年度 「音楽」 年間指導計画

配当 時数	対象生徒	教科書			
70	2学年 生徒5名	Tutti+ (教育出版) 音楽I			
年間 目標	<p>(知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、相違工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けることができる。(高1段階)</p> <p>(思判表力) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。(高1段階)</p> <p>(学・人) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育むとともに、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培うことができる。(高1段階)</p>				
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	26	<p>(知及技) 言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり、曲想と和楽器の音色や奏法との関わりを理解するとともに、創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な曲にふさわしい発声、奏法、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けることができる。 (高1段階 A ア(ア)、イ(ア))</p> <p>(思判表力) 音色、リズム、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、歌唱表現や器楽表現を創意工夫することができる。(高1段階 A ア(イ)、イ(イ))</p> <p>(学・人) 旋律や歌詞、曲想のもつリズムとの関係に</p>	<p>(知・技) 言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり、曲想と和楽器の音色や奏法との関わりを理解するとともに、創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な曲にふさわしい発声、奏法、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けることができる。</p> <p>(思・判・表) 音色、リズム、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、歌唱表現や器楽表現を創意工夫することができる。</p> <p>(主学) 旋律や歌詞、曲想のもつリズムとの関係に関心をもち、主体的・協働的に歌唱や器楽の学習活動に取り組むとともに、音楽に対する感性</p>	<p>曲にふさわしい発声で表情豊かに歌おう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校歌 ・翼をください ・春 ・Caro mio ben ・O sole mio <p>三線に親しみ、演奏に挑戦しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安波節 ・安里屋ユンタ 	<p>・校歌の斉唱, 暗譜での歌唱をする。</p> <p>・姿勢や呼吸法, 発声法に気をつけて, 楽曲の特徴を感じ取り, イメージをもって歌う。</p> <p>・合唱で生まれる一体感を味わって歌う。</p> <p>※正しい発声法や姿勢についてイメージしやすい言葉がけを行う。</p> <p>・郷土の音楽, 琉球民謡, 琉球古典音楽を鑑賞し, 歴史や背景など理解を深める琉球音楽の楽しさ奥深さを味わう</p> <p>・三線のルーツや構造について学ぶ</p> <p>・三線の基本的な奏法や工工四の読み方を学び, 弾き歌いで演奏する。</p> <p>※適宜個別指導を行う。</p>

		関心をもち、主体的・協働的に歌唱や器楽の学習活動に取り組むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、主体的・協働的に歌唱や器楽の学習活動に取り組むことができる。(高1段階 A ア (ア) イ (ア))	を豊かにし、主体的・協働的に歌唱や器楽の学習活動に取り組むことができる。		
2 学 期	30	<p>(知及技) 曲想と音楽の構造や歌詞との関わりや音楽の特徴と他の芸術との関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした歌唱・器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けて演奏することができる。(高1段階 A ア (ア)、イ (ア))</p> <p>(思判表力) 音色、旋律、テクスチャを知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもつとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴くことができる。(高1段階 A ア (イ) (ウ)、イ (イ) (ウ)、B ア (ア))</p> <p>(学・人) 曲想と音楽の構造や歌詞との関わりや音楽の特徴と他の芸術との関わりに関心をもち、主体的・協働的に歌唱、鑑賞の学習活</p>	<p>(知・技) 曲想と音楽の構造や歌詞との関わりや音楽の特徴と他の芸術との関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした歌唱・器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けて演奏することができる。</p> <p>(思・判・表) 音色、旋律、テクスチャを知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもつとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴くことができる。</p> <p>(主学) 曲想と音楽の構造や歌詞との関わりや音楽の特徴と他の芸術との関わりに関心をもち、主体的・協働的に歌唱、鑑賞の学習活動に取り組むことができる。</p>	<p>ミュージカル映画を鑑賞しよう ・サウンドオブミュージック</p> <p>「楽器の世界」～ハンドベル演奏、キーボード演奏～ ・クリスマスソング ・海の声</p>	<p>・ミュージカルの歴史について学び、曲を味わいながら鑑賞する。 ※ミュージカル映画に登場する曲名が視覚的にわかるように表示する。</p> <p>・音楽の諸要素について学び、音楽の構成について考える。 ・運指法やキーボードの基礎的な知識を学ぶ。 ・五線、音階、音符と休符、楽語等を理解する。 ・ハンドベルの奏法について学び、それぞれの役割の重要性を認識しながら、合奏の面白さを感じる。 ※生徒同士で教え合うことができるよう、一音を2人以上が担当するよう配置する。</p>

		動に取り組むことができる。(高1段階 A ア (ア) イ (ア))			
3 学 期	14	<p>(知及技) ことばの響き、音型などの特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解し、創意工夫を生かした創作表現をするために必要な、反復、変化などの手法を活用して音楽をつくる技能を身に付け、創作で表すとともに、創意工夫を生かした歌唱・器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱や器楽で表すことができる。(高1段階 A ウ (ア))</p> <p>(思判表力) 音色、リズム、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくり、どのように演奏するかについて表現意図をもつことができる。(高1段階 A ウ (イ) (ウ))</p> <p>(学・人) ことばの響き、音型などの特徴に関心を持ち、主体的・協働的に創作の学習活動や歌唱・器楽の学習活動に取り組むことができる。(高1段階 A ウ (ア))</p>	<p>(知・技) ことばの響き、音型などの特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解し、創意工夫を生かした創作表現をするために必要な、反復、変化などの手法を活用して音楽をつくる技能を身に付け、創作で表すとともに、創意工夫を生かした歌唱・器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱や器楽で表すことができる。</p> <p>(思・判・表) 音色、リズム、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくり、どのように演奏するかについて表現意図をもつことができる。</p> <p>(主学) ことばの響き、音型などの特徴に関心を持ち、主体的・協働的に創作の学習活動や歌唱・器楽の学習活動に取り組むことができる。</p>	<p>発音や発声を工夫して声によるアンサンブルをつくろう</p> <p>さまざまな器楽アンサンブルを楽しもう ・クラスコンサート</p>	<p>・1・2学期で学習した音楽の知識や、歌唱、器楽の技術を生かして短い音楽の創作活動を行う。 ※創作活動の指針となるよう、例を提示する。</p> <p>・グループを作ってコンサートを行うことでアンサンブルの楽しさを味わう。 ・1・2学期で学習した音楽の知識や、歌唱、器楽の技術を生かして、創造的な表現や演奏を目指す ・コンサートで互いに鑑賞しあうことで音楽のよさやアンサンブルのよさを味わう。 ※生徒同士で教え合うことができるよう、一つのパートを2人以上が担当するよう配置する。</p>

令和8年度 「美術」 年間指導計画

配当 時数	対象生徒	教科書			
70	1学年 生徒5名	美術1 (光村図書出版)			
年間 目標	<p>(知及技) 造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。(1段階)</p> <p>(思判表力) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫などについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化などに対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。(1段階)</p> <p>(学・人) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。(1段階)</p>				
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価基準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	26	<p>(知及技) 安全に道具を扱う事を学ぶ。(高1段階 A イ (ア))</p> <p>(思判表力) 自由な発想で単純な形や線を繰り返し、変化とまとまりのある美しい模様をデザインすることができる。高1段階 A ア (イ))</p> <p>(学・人) ・計画的に作業を進めることができる。 ・誠実な態度で作品を仕上げることができる。(高1段階 B ア (ア))</p>	<p>(知・技) 用具を安全に扱う。</p> <p>(思・判・表) 自由な発想で単純な形や線を繰り返し、変化とまとまりのある美しい模様をデザインする。</p> <p>(主学) ・計画的に作業を進める。 ・誠実な態度で作品を仕上げる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介デッサン ・模様とは ・ゼンタンクル ・切り絵 ・島ぞうりカービグ ・撮影、鑑賞 	<p>技法にとらわれず自由に、目前の対象物をデッサンし自己アピールをする。</p> <p>5 cm角の小さなマス目に自由な発想で線や形を繰り返し表現する。</p> <p>用具の特性を理解するために様々な形や線をカットする。</p> <p>完成作品を鑑賞し合い意図や工夫を感じ取り話し合う。</p>

2 学 期	30	<p>(知及技) 材料や用具の特性の生かすことができる。(高1段階 A イ (ア))</p> <p>(思判表力) 物体に当たる光と影を見つけ、意図に応じた表現を工夫して描写することができる。(高1段階 A ア (イ))</p> <p>(学・人) お互いの作品を鑑賞しあうことで、表現や構成のおもしろさ、美しさに気づくことができる。(高1段階 B ア (ア))</p>	<p>(知・技) 材料や用具の特性の生かし方を身につける。</p> <p>(思・判・表) 物体に当たる光と影を見つけ、意図に応じた表現を工夫して描写する。</p> <p>(主学) お互いの作品を鑑賞し合い、表現や構成のおもしろさ、美しさに気づく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・測って描く ・木炭デッサン ・鑑賞 	<p>光と影の関係について対象物を見ながら多方面から観察する。</p> <p>紙の性質や特性を感じながら素材の扱い方や表現の幅を広げる。</p> <p>対象物のアウトラインを意識させる。</p> <p>完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う。</p>
3 学 期	14	<p>(知及技) 主題をもとに形や色構想を練り、構図を考えアイデアを出すことができる。(高1段階 A ア (ア))</p> <p>(思判表力) 好きな曲から感じ取ったひらめきや発想、イメージをアウトプットすることに挑戦できる。(高1段階 A ア (ア))</p> <p>(学・人) 主体的に感じ取ったことや考えたことなどを基に表現の創造活動に取り組むことができる。(高1段階 B ア (ア))</p>	<p>(知・技) 主題を基に形や色、構想を練り、構図を考えアイデアを出す。</p> <p>(思・判・表) 好きな曲から感じ取ったひらめきや発想、イメージをアウトプットする。</p> <p>(主学) 主体的に感じ取ったことや考えたことなどを基に表現の創造活動に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・見えないものを描く ・音を絵で表現 ・鑑賞 	<ul style="list-style-type: none"> ・好きな曲を基に描く題材を決める。 <p>主題を基に自由な発想でアイデアスケッチをイメージをアウトプットする。</p> <p>アイデアスケッチを基に形や色、構図などの構想を練り下描きをする。</p> <p>表したいイメージを基に、材料や表現方法を工夫して制作する。</p> <p>完成作品を鑑賞し合い意図や工夫を感じ取り話し合う。</p>

令和 8 年度 「美術」 年間指導計画					
配当 時数	対象生徒		教科書		
70	2 学年 生徒 5 名		美術 1 (光村図書出版)		
年間 目標					
<p>(知及技) 造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。(1 段階)</p> <p>(思判表力) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫などについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化などに対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。(1 段階)</p> <p>(学・人) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。(1 段階)</p>					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価基準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	26	<p>(知及技) 安全に道具を扱う事を学ぶ。(高 1 段階 A イ (ア))</p> <p>(思判表力) 自由な発想で単純な形や線を繰り返し、変化とまとまりのある美しい模様をデザインすることができる。高 1 段階 A ア (イ))</p> <p>(学・人) ・計画的に作業を進めることができる。 ・誠実な態度で作品を仕上げることができる。(高 1 段階 B ア (ア))</p>	<p>(知・技) 用具を安全に扱う。</p> <p>(思・判・表) 自由な発想で単純な形や線を繰り返し、変化とまとまりのある美しい模様をデザインする。</p> <p>(主学) ・計画的に作業を進める。 ・誠実な態度で作品を仕上げる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介デッサン ・模様とは ・ゼンタンクル ・切り絵 ・島ぞうりカービグ ・撮影、鑑賞 	<p>技法にとらわれず自由に、目の対象物をデッサンし自己アピールをする。</p> <p>5 cm角の小さなマス目に自由な発想で線や形を繰り返し表現する。</p> <p>用具の特性を理解するために様々な形や線をカットする。</p> <p>完成作品を鑑賞し合い意図や工夫を感じ取り話し合う。</p>

2 学 期	30	<p>(知及技) 材料や用具の特性の生かすことができる。(高1段階 A イ (ア))</p> <p>(思判表力) 物体に当たる光と影を見つけ、意図に応じた表現を工夫して描写することができる。(高1段階 A ア (イ))</p> <p>(学・人) お互いの作品を鑑賞しあうことで、表現や構成のおもしろさ、美しさに気づくことができる。(高1段階 B ア (ア))</p>	<p>(知・技) 材料や用具の特性の生かし方を身につける。</p> <p>(思・判・表) 物体に当たる光と影を見つけ、意図に応じた表現を工夫して描写する。</p> <p>(主学) お互いの作品を鑑賞し合い、表現や構成のおもしろさ、美しさに気づく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・測って描く ・木炭デッサン ・鑑賞 	<p>光と影の関係について対象物を見ながら多方面から観察する。</p> <p>紙の性質や特性を感じながら素材の扱い方や表現の幅を広げる。</p> <p>対象物のアウトラインを意識させる。</p> <p>完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う。</p>
3 学 期	14	<p>(知及技) 主題をもとに形や色構想を練り、構図を考えアイデアを出すことができる。(高1段階 A ア (ア))</p> <p>(思判表力) 好きな曲から感じ取ったひらめきや発想、イメージをアウトプットすることに挑戦できる。(高1段階 A ア (ア))</p> <p>(学・人) 主体的に感じ取ったことや考えたことなどを基に表現の創造活動に取り組むことができる。(高1段階 B ア (ア))</p>	<p>(知・技) 主題を基に形や色、構想を練り、構図を考えアイデアを出す。</p> <p>(思・判・表) 好きな曲から感じ取ったひらめきや発想、イメージをアウトプットする。</p> <p>(主学) 主体的に感じ取ったことや考えたことなどを基に表現の創造活動に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・見えないものを描く ・音を絵で表現 ・鑑賞 	<ul style="list-style-type: none"> ・好きな曲を基に描く題材を決める。 <p>主題を基に自由な発想でアイデアスケッチをしイメージをアウトプットする。</p> <p>アイデアスケッチを基に形や色、構図などの構想を練り下描きをする。</p> <p>表したいイメージを基に、材料や表現方法を工夫して制作する。</p> <p>完成作品を鑑賞し合い意図や工夫を感じ取り話し合う。</p>

令和8年度 「美術」 年間指導計画

配当 時数	対象生徒	教科書			
70	3学年 生徒 10名	なし			
年間 目標	<p>(知及技) 造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。(1段階)</p> <p>(思判表力) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫などについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化などに対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。(1段階)</p> <p>(学・人) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。(1段階)</p>				
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価 基準	単元・題材名	単元・題材の活動 内容
1 学期	26	<p>(知及技) 画材や用具、情報機器を扱う事を学ぶ。(1段階 A イ (ア))</p> <p>(思判表力) 自由な発想で構図や構成を考え作品にすることができる。(1段階 A ア (イ))</p> <p>(学・人) ・計画的に作業を進めることができる。 ・誠実な態度で作品を仕上げる事ができる。(1段階 B ア (ア))</p>	<p>(知・技) 用具や情報機器を安全に扱う。</p> <p>(思・判・表) 自由な発想で単純な形や線を繰り返し、変化とまとまりのある美しい模様をデザインする。</p> <p>(主学) ・計画的に作業を進める。 ・誠実な態度で作品を仕上げる。</p>	<p>・自由な発想で絵を描いてみよう</p> <p>・タブレット機器 校内外の風景を撮影</p> <p>・タブレット機器 で絵を描く。</p> <p>無料アプリ 「アイビスペイント」を使用</p> <p>・鑑賞、ディスカッション</p>	<p>自由な発想で線や形を繰り返し表現する。</p> <p>素材や用具の特性を理解し、様々な形や線をカットしたり、構成を考えて貼り付けたりする。</p> <p>完成作品を鑑賞し合い意図や工夫を感じ取り話し合う。</p>
2 学期	30	<p>(知及技) 情報機器の特性を理解し、作品を制作することができる。(高1段階 A イ (ア))</p> <p>(思判表力) 意図に応じた表現を工夫して具現化することができる。(高1段階 A ア (イ))</p>	<p>(知・技) 情報機器の特性の生かし方を身につける。</p> <p>(思・判・表) 意図に応じた表現を工夫して具現化する。</p>	<p>・タブレット機器 で写真を撮影し、組み写真にする。</p> <p>・タブレット機器 で無料アプリ 「iMovie」を使用。</p> <p>・鑑賞、ディスカッション</p>	<p>特性を生かして、イメージを具現化する。</p> <p>対象物を見ながら多方面から観察する。</p> <p>情報機器やアプリの操作、扱い方、表現の幅を広げる。</p>

		<p>(学・人) お互いの作品を鑑賞しあうことで、表現や構成のおもしろさ、美しさに気づくことができる。(高1段階Bア(ア))</p>	<p>(主学) お互いの作品を鑑賞し合い、表現や構成のおもしろさ、美しさに気づく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレット機器で無料アプリ「Stop Motion」を使用。 ・名画の鑑賞とディスカッション 	<p>完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う。</p>
3 学期	14	<p>(知及技) 主題をもとに形や色構想を練り、構図を考えアイデアを出すことができる。(高1段階Aア(ア))</p> <p>(思判表力) イメージをアウトプットすることに挑戦できる。 (高1段階Aア(ア))</p> <p>(学・人) 主体的に感じ取ったことや考えたことなどを基に表現の創造活動に取り組むことができる。(高1段階Bア(ア))</p>	<p>(知・技) 主題を基に形や色、構想を練り、構図を考えアイデアを出す。</p> <p>(思・判・表) 感じ取ったひらめきや発想、イメージをアウトプットする。</p> <p>(主学) 主体的に感じ取ったことや考えたことなどを基に表現の創造活動に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレット機器で無料アプリ「Cup Cut」を使用。 ・「Stop Motion」で作成した動画に音を挿入して編集。 ・タブレット機器で無料アプリ「Cup Cut」を使用して高校の思い出を作成する。 ・名画の鑑賞とディスカッション 	<p>主題を基に自由な発想でイメージをアウトプットする。</p> <p>アイデアを基に形や色、構図などの構想を練り制作をする。</p> <p>表したいイメージを基に、材料や表現方法を工夫して制作する。</p> <p>完成作品を鑑賞し合い意図や工夫を感じ取り話し合う。</p>

令和8年度 「保健体育」 年間指導計画					
配当 時数	対象生徒	教科書			
105	1 学年 生徒 10 名	くらしに役立つ「保健体育」(東洋館出版社)			
年間 目標	<p>(知及技) 各種の運動の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能等や心身の発育・発達、個人生活に必要な健康・安全に関する事柄などを理解するとともに、技能を身に付けるようにする。</p> <p>(思判表力) 各種の運動や健康・安全な生活を営むための自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを、他者に伝える力を養う</p> <p>(学・人) 各種の運動における多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自己の最善を尽くして自主的に運動をする態度を養う。また、健康・安全に留意し、健康の保持増進と回復に積極的に取り組む態度を養う</p>				
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して指導	4月～3月	<p>(知及技)</p> <ul style="list-style-type: none"> 心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等の理解を深めるとともに、健康で安全な個人生活及び社会生活を営むための目的に応じた技能を身に付けることができる。(高校2段階Iア) <p>(思判表力)</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康・安全に関わる自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。(高校2段階Iイ) <p>(学・人)</p> <ul style="list-style-type: none"> 生涯にわたって継続して健康の保持増進を目指す態度を養うことができる。(高校2段階(1)目標) 	<p>(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none"> 心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等の理解を深めるとともに、健康で安全な個人生活及び社会生活を営むための目的に応じた技能を身に付けることができている。 <p>(思・判・表)</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康・安全に関わる自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができている。 <p>(主学)</p> <ul style="list-style-type: none"> 生涯にわたって継続して健康の保持増進を目指す態度を養うことができている。 	<p>保健</p> <ul style="list-style-type: none"> 私たちの生活と健康 心身の発育発達と健康 <p>体育理論</p> <ul style="list-style-type: none"> 運動やスポーツの多様性 	<ul style="list-style-type: none"> 健康の考え方 健康と運動 食事と健康 休養と健康 喫煙飲酒薬物乱用と健康 体の発育と発達 心の発育と発達 心と体の関係とストレス 欲求と適応機制 性教育について(外部講師) 運動やスポーツの必要性と楽しさ 運動やスポーツの多様な関わり方 運動やスポーツの安全な行い方 新しいスポーツを体験しよう(外部講師)
		1学期	4～7月(36)	<p>(知及技)</p> <ul style="list-style-type: none"> 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、その行い方や方法を理解するとともに、仲間と積極的に関わったり、動きを持続する能力などを高める運動をしたりすることができる。(高校1段階Aア) <p>(思判表力)</p> <ul style="list-style-type: none"> 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者 	<p>(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none"> 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、その行い方や方法を理解するとともに、仲間と積極的に関わったり、動きを持続する能力などを高める運動をしようとしている。 <p>(思・判・表)</p> <ul style="list-style-type: none"> 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えようとして

	<p>に伝えることができる。 (高校1段階Aイ)</p> <p>(学・人) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動の多様な経験を通して、きまりを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。(高校1段階Aウ)</p>	<p>いる。</p> <p>(主学) ・体ほぐしの運動や体の動きを高める運動の多様な経験を通して、きまりを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をしようとしている。</p>		
	<p>(知及技) ・器械運動の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技を身に付けることができる。 (高校1段階Bア)</p> <p>(思判表力) ・器械運動についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えること。 (高校1段階Bイ)</p> <p>(学・人) ・器械運動の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や器械・器具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。 (高校1段階Bウ)</p>	<p>(知・技) ・器械運動の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技を身に付けている。</p> <p>(思・判・表) ・器械運動についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えようとしている。</p> <p>(主学) ・器械運動の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や器械・器具の安全を確保したりし、自主的に運動をしようとしている。</p>	<p>器械体操</p>	<p>マット運動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前転 ・後転 ・開脚前転 ・開脚後転 ・側転 ・ロンダード ・連続技
	<p>(知及技) ・水泳の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに泳法を身に付けることができる。 (高校1段階Dア)</p> <p>(思判表力) ・水泳についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (高校1段階Dイ)</p> <p>(学・人) ・水泳の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることが</p>	<p>(知・技) ・水泳の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに泳法を身に付けている。</p> <p>(思・判・表) ・水泳についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えようとしている。</p> <p>(主学) ・水泳の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をしようとしている。</p>	<p>水泳</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ビート板キック ・面クロール ・クロール ・救助法 ・泳力測定

		<p>できる。 (高校1段階Dウ)</p> <hr/> <p>(知及技) ・球技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付け、簡易化されたゲームを行うことができる。 (高校1段階Eア)</p> <p>(思判表力) ・球技についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (高校1段階Eイ)</p> <p>(学・人) ・球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。 (高校2段階Eウ)</p>			
		<p>(知及技) ・球技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付け、簡易化されたゲームを行うことができる。 (高校1段階Eア)</p> <p>(思判表力) ・球技についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (高校1段階Eイ)</p> <p>(学・人) ・球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。 (高校2段階Eウ)</p>	<p>(知・技) ・球技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付け、簡易化されたゲームを行おうとしている。</p> <p>(思・判・表) ・球技についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えようとしている。</p> <p>(主学) ・球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動しようとしている。</p>	球技 I	<ul style="list-style-type: none"> ・バドミントン ・卓球
2 学 期	9 ～ 12 (45)	<p>(知及技) ・陸上競技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付けることができる。 (高校1段階Cア)</p> <p>(思判表力) ・陸上競技についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (高校1段階Cイ)</p> <p>(学・人) ・陸上競技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。 (高校1段階Cウ)</p>	<p>(知・技) ・陸上競技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付けている。</p> <p>(思・判・表) ・陸上競技についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えようとしている。</p> <p>(主学) ・陸上競技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動しようとしている。</p>	陸上競技	<ul style="list-style-type: none"> ・短距離(50M、100m) ・跳躍(走幅跳) ・跳躍(走高跳) ・投擲(ソフトボール投げ) ・リレー ・フォーム確認と改善 ・試走会・記録会(校外学習)
		<p>(知及技) ・空手の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに、基本動作や基本となる技や型を身につけるこ</p>	<p>(知・技) ・空手の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに、基本動作や基本となる技や型を身につけている。</p>	<p>武道</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空手 	<ul style="list-style-type: none"> ・礼法 ・基本(突き、蹴り、受け) ・移動基本 ・型(普及型I)

	<p>とができる。 (高校1段階Fア)</p> <p>(思判表力) ・空手についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (高校1段階Fイ)</p> <p>(学・人) 空手の多様な経験を通して、きまりや伝統的な行動の仕方を守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。 (高校1段階Fイ)</p>	<p>(思・判・表) ・空手についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えようとしている。</p> <p>(主学) 空手の多様な経験を通して、きまりや伝統的な行動の仕方を守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をしようとしている。</p>		
	<p>(知及技) ・ダンスの楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解するとともに、技能を身に付けることができる。 (高校1段階Gア)</p> <p>(思判表力) ・ダンスについての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (高校1段階Gイ)</p> <p>(学・人) ・ダンスの多様な経験を通して、仲間の表現を認め助け合ったり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。 (高校1段階Gイ)</p>	<p>(知・技) ・ダンスの楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解するとともに、技能を身に付けようとしている。</p> <p>(思・判・表) ・ダンスについての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えようとしている。</p> <p>(主学) ・ダンスの多様な経験を通して、仲間の表現を認め助け合ったり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をしようとしている。</p>	ダンス	<ul style="list-style-type: none"> ・特体連ダンス ・創作ダンス
	<p>(知及技) ・球技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付け、簡易化されたゲームを行うことができる。 (高校1段階Eア) (思判表力) ・球技についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (高校1段階Eイ)</p>	<p>(知・技) ・球技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付け、簡易化されたゲームを行おうとしている。</p> <p>(思・判・表) ・球技についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えようとしている。</p>	球技Ⅱ	<ul style="list-style-type: none"> ・バレーボール ・バスケットボール

		<p>(学・人)</p> <ul style="list-style-type: none"> 球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。 <p>(高校2段階Eウ)</p>	<p>(主学)</p> <ul style="list-style-type: none"> 球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をしようとしている。 		
3 学 期	1	<p>(知及技)</p> <ul style="list-style-type: none"> 陸上競技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付けることができる。 <p>(高校1段階Cア)</p> <p>(思判表力)</p> <ul style="list-style-type: none"> 陸上競技についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 <p>(高校1段階Cイ)</p> <p>(学・人)</p> <ul style="list-style-type: none"> 陸上競技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。 <p>(高校1段階Cウ)</p>	<p>(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none"> 陸上競技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付けている。 <p>(思・判・表)</p> <ul style="list-style-type: none"> 陸上競技についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えようとしている。 <p>(主学)</p> <ul style="list-style-type: none"> 陸上競技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をしようとしている。 	陸上競技	<ul style="list-style-type: none"> 長距離 インターバル走 試走会・記録会 (校外学習)
	3 (24)	<p>(知及技)</p> <ul style="list-style-type: none"> 球技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付け、簡易化されたゲームを行うことができる。 <p>(高校1段階Eア)</p> <p>(思判表力)</p> <ul style="list-style-type: none"> 球技についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 <p>(高校1段階Eイ)</p> <p>(学・人)</p> <ul style="list-style-type: none"> 球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。 <p>(高校1段階Eウ)</p>	<p>(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none"> 球技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付け、簡易化されたゲームを行おうとしている。 <p>(思・判・表)</p> <ul style="list-style-type: none"> 球技についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えようとしている。 <p>(主学)</p> <ul style="list-style-type: none"> 球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をしようとしている。 	球技選択Ⅲ	<ul style="list-style-type: none"> ソフトボール バレーボール サッカー バスケットボール

令和8年度 「保健体育」 年間指導計画					
担当 時数	対象生徒		教科書		
105	2学年 生徒10名		くらしに役立つ「保健体育」(東洋館出版社)		
年間 目標	<p>(知及技) 各種の運動の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能等や心身の発育・発達、個人生活及び社会生活に必要な健康・安全に関する事柄などの理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付けるようにする。</p> <p>(思判表力) 各種の運動や健康・安全な生活を営むための自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。</p> <p>(学・人) 各種の運動における多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、生涯にわたって運動に親しむ態度を養う。また、健康・安全に留意し、健康の保持増進と回復に自主的に取り組む態度を養う。</p>				
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して指導	4月 3月	<p>(知及技)</p> <ul style="list-style-type: none"> 心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等の理解を深めるとともに、健康で安全な個人生活及び社会生活を営むための目的に応じた技能を身に付けることができる。(高校2段階Iア) <p>(思判表力)</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康・安全に関わる自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。(高校2段階Iイ) <p>(学・人)</p> <ul style="list-style-type: none"> 生涯にわたって継続して健康の保持増進を目指す態度を養うことができる。(高校2段階(1)目標) 	<p>(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none"> 心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等の理解を深めるとともに、健康で安全な個人生活及び社会生活を営むための目的に応じた技能を身に付けている。 <p>(思・判・表)</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康・安全に関わる自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。 <p>(主学)</p> <ul style="list-style-type: none"> 生涯にわたって継続して健康の保持増進を目指す態度を養うことができる。 	<p>保健</p> <ul style="list-style-type: none"> 怪我をしないために 病気になった時・けがをしたとき チームゲームでの役割と作戦 	<ul style="list-style-type: none"> 主なけがの種類と予防 作業前後 交通安全 自然災害(地震など) 診察を受ける 医薬品の正しいあつかい方 応急手当て 心肺蘇生法 交通事故にあったときの対応 器械や器具の扱い方 施設の利用の仕方 準備片付け ルールを知る 役割を決める 作戦を立てる 新しいスポーツを体験しよう(外部指導者)
		1学期	4 7 (36)	<p>(知及技)</p> <ul style="list-style-type: none"> 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを深く味わい、その行い方や方法の理解を深めるとともに、仲間と自主的に関わったり、動きを持続する能力などを高める運動をしたりするとともに、それらを組み合わせることができる。(高校2段階Aア) <p>(思判表力)</p> <ul style="list-style-type: none"> 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や 	<p>(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none"> 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを深く味わい、その行い方や方法の理解を深めるとともに、仲間と自主的に関わったり、動きを持続する能力などを高める運動をしたりするとともに、それらを組み合わせようとしている。 <p>(思・判・表)</p> <ul style="list-style-type: none"> 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や

	<p>を、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。 (高校2段階Aイ)</p> <p>(学・人) ・体ほぐしの運動や体の動きを高める運動の多様な経験を通して、きまりを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。 (高校2段階Aウ)</p>	<p>状況に応じて他者に伝えようとしている。</p> <p>(主学) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動の多様な経験を通して、きまりを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしようとしている。</p>		
	<p>(知及技) ・器械運動の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技を身に付け、演技することができる。 (高校2段階Bア)</p> <p>(思判表力) ・器械運動についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。 (高校2段階Bイ)</p> <p>(学・人) 器械運動の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や器械・器具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。 (高校2段階Bウ)</p>	<p>(知・技) ・器械運動の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技を身に付け、演技をしようとしている。</p> <p>(思・判・表) ・器械運動についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。</p> <p>(主学) ・器械運動の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や器械・器具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしようとしている。</p>	器械体操	<p>マット運動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伸膝前転 ・伸膝後転 ・側転 ・ロンダード ・連続技
	<p>(知及技) ・水泳の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた泳法を身に付けることができる。 (高校2段階Dア)</p> <p>(思判表力) ・水泳についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。 (高校2段階Dイ)</p>	<p>(知・技) ・水泳の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた泳法を身に付けようとしている。</p> <p>(思・判・表) ・水泳についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。</p>	水泳	<ul style="list-style-type: none"> ・クロール ・平泳ぎキック ・背泳ぎキック ・泳力測定

		<p>(学・人) 水泳の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。 (高校2段階Dウ)</p>	<p>(主学) 水泳の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動しようとしている。</p>		
		<p>(知及技) ・球技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、ゲームを行うことができる。 (高校2段階Eア)</p> <p>(思判表力) ・球技についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。 (高校2段階Eイ)</p> <p>(学・人) ・球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。 (高校2段階Eウ)</p>	<p>(知・技) ・球技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、ゲームを行おうとしている。</p> <p>(思・判・表) ・球技についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。</p> <p>(主学) ・球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動しようとしている。</p>	球技 I	<ul style="list-style-type: none"> ・バドミントン ・卓球
2 学 期	9 ~ 12 (45)	<p>(知及技) 陸上競技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付けることができる。 (高校2段階Cア)</p> <p>(思判表力) ・陸上競技についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。 (高校2段階Cイ)</p> <p>(学・人) ・陸上競技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の</p>	<p>(知・技) 陸上競技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付けようとしている。</p> <p>(思・判・表) ・陸上競技についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えるようとしている。</p> <p>(主学) ・陸上競技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保</p>	陸上競技	<ul style="list-style-type: none"> ・短距離(100m) ・跳躍(走幅跳) ・跳躍(走高跳) ・投擲(ソフトボール投げ) ・リレー ・フォーム確認と改善 ・試走会・記録会(校外学習)

	<p>安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。 (高校2段階Cウ)</p>	<p>したりし、見通しをもって自主的に運動をしようとしている。</p>		
	<p>(知及技) ダンスの楽しさや喜びを深く味わい、その行い方の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、表現や踊りを通じた交流や発表をすることができる。 (高校2段階Gア)</p> <p>(思判表力) ダンスについての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。 (高校2段階Gイ)</p> <p>(学・人) ・ダンスの多様な経験を通して、一人一人の表現や役割を認め助け合ったり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。 (高校2段階Gウ)</p>	<p>(知・技) ダンスの楽しさや喜びを深く味わい、その行い方の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、表現や踊りを通じた交流や発表をしようとしている。</p> <p>(思・判・表) ダンスについての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。</p> <p>(主学) ・ダンスの多様な経験を通して、一人一人の表現や役割を認め助け合ったり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしようとしている。</p>	<p>ダンス</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・特体連ダンス ・創作ダンス
	<p>(知及技) ・空手の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、基本動作や基本となる技や型を身につけることができる。 (高校2段階Fア)</p> <p>(思判表力) ・空手についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。 (高校2段階Fイ)</p> <p>(学・人) ・空手の多様な経験を通して、きまりや伝統的な行動の仕方を守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。 (高校2段階Fウ)</p>	<p>(知・技) ・空手の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、基本動作や基本となる技や型を身につけている。</p> <p>(思・判・表) ・空手についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。</p> <p>(主学) ・空手の多様な経験を通して、きまりや伝統的な行動の仕方を守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動しようとしている。</p>	<p>武道</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・礼法 ・基本（突き、蹴り、受け） ・移動基本 ・型（普及型I）

		<p>(知及技)</p> <ul style="list-style-type: none"> 球技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、ゲームを行うことができる。 <p>(高校2段階Eア)</p> <p>(思判表力)</p> <ul style="list-style-type: none"> 球技についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。 <p>(高校2段階Eイ)</p> <p>(学・人)</p> <ul style="list-style-type: none"> 球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。 <p>(高校2段階Eウ)</p>	<p>(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none"> 球技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、ゲームを行おうとしている。 <p>(思・判・表)</p> <ul style="list-style-type: none"> 球技についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 <p>(主学)</p> <ul style="list-style-type: none"> 球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしようとしている。 	球技Ⅱ	<ul style="list-style-type: none"> バレーボール スケートボール
3 学 期	1 ~ 3 (24)	<p>(知及技)</p> <ul style="list-style-type: none"> 陸上競技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付けることができる。 <p>(高校2段階Cア)</p> <p>(思判表力)</p> <ul style="list-style-type: none"> 陸上競技についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。 <p>(高校2段階Cイ)</p> <p>(学・人)</p> <ul style="list-style-type: none"> 陸上競技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。 <p>(高校2段階Cウ)</p>	<p>(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none"> 陸上競技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付けようとしている。 <p>(思・判・表)</p> <ul style="list-style-type: none"> 陸上競技についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えるようとしている。 <p>(主学)</p> <ul style="list-style-type: none"> 陸上競技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしようとしている。 	陸上競技	<ul style="list-style-type: none"> 長距離 インターバル走 試走会 (校外学習)
		<p>(知及技)</p> <ul style="list-style-type: none"> 球技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、ゲームを行うことができる。 	<p>(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none"> 球技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、ゲームを行おうとしている。 	球技選択Ⅲ	<ul style="list-style-type: none"> ソフトボール バレーボール サッカー バスケットボール

	<p>(高校2段階Eア) (思判表力) ・球技についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。 (高校2段階Eイ)</p> <p>(学・人) ・球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。 (高校2段階Eウ)</p>	<p>(思・判・表) ・球技についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。</p> <p>(主学) ・球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしようとしている。</p>		
--	---	---	--	--

令和8年度 「保健体育」 年間指導計画					
担当 時数	対象生徒		教科書		
105	3学年 生徒10名		くらしに役立つ「保健体育」(東洋館出版社)		
年間 目標	<p>(知及技) 各種の運動の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能等や心身の発育・発達、個人生活及び社会生活に必要な健康・安全に関する事柄などの理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付けるようにする。</p> <p>(思判表力) 各種の運動や健康・安全な生活を営むための自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。</p> <p>(学・人) 各種の運動における多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、生涯にわたって運動に親しむ態度を養う。また、健康・安全に留意し、健康の保持増進と回復に自主的に取り組む態度を養う。</p>				
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価基準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して指導	4月～3月	<p>(知及技) ・心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等の理解を深めるとともに、健康で安全な個人生活及び社会生活を営むための目的に応じた技能を身に付けることができる。(高校2段階Iア)</p> <p>(思判表力) ・健康・安全に関わる自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。(高校2段階Iイ)</p> <p>(学・人) ・生涯にわたって継続して健康の保持増進を目指す態度を養うことができる。(高校2段階(1)目標)</p>	<p>(知・技) ・心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等の理解を深めるとともに、健康で安全な個人生活及び社会生活を営むための目的に応じた技能を身に付けている。</p> <p>(思・判・表) ・健康・安全に関わる自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。</p> <p>(主学) ・生涯にわたって継続して健康の保持増進を目指す態度を養うことができる。</p>	<p>保健</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大切な体 ・健康に関わる機関、制度、サービス ・スポーツへの参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・性 ・性感染症、エイズの予防 ・喫煙・飲酒の害、薬物乱用 ・加齢と健康 ・保健制度と保健サービスの活用 ・医療制度と医療費 ・医療機関と医療サービスの活用 ・労働と健康 ・自分がやってみたいスポーツ ・スポーツ施設やプログラムの見つけ方 ・スポーツ大会に参加しよう ・新しいスポーツを体験しよう(外部指導者)
1学期	4月～7月(36)	<p>(知及技) ・体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを深く味わい、その行い方や方法の理解を深めるとともに、仲間と自主的に関わったり、動きを持続する能力などを高める運動をしたりするとともに、それらを組み合わせることができる。(高校2段階Aア)</p> <p>(思判表力) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間</p>	<p>(知・技) ・体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを深く味わい、その行い方や方法の理解を深めるとともに、仲間と自主的に関わったり、動きを持続する能力などを高める運動をしたりするとともに、それらを組み合わせようとしている。</p> <p>(思・判・表) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間</p>	<p>体づくり運動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・集団行動 ・体力テスト ・サーキットトレーニング ・エアロビクス

	<p>間と思考し判断したことを，目的や状況に応じて他者に伝えることができる。 (高校2段階Aイ)</p> <p>(学・人) ・体ほぐしの運動や体の動きを高める運動の多様な経験を通して，きまりを守り，自己の役割を果たし仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，見通しをもって自主的に運動をすることができる。 (高校2段階Aウ)</p>	<p>し判断したことを，目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。</p> <p>(主学) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動の多様な経験を通して，きまりを守り，自己の役割を果たし仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，見通しをもって自主的に運動をしようとしている。</p>		
	<p>(知及技) ・器械運動の楽しさや喜びを深く味わい，その特性に応じた技能の理解を深めるとともに，目的に応じた技を身に付け，演技することができる。 (高校2段階Bア)</p> <p>(思判表力) ・器械運動についての自他の課題を発見し，よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを，目的や状況に応じて他者に伝えることができる。 (高校2段階Bイ)</p> <p>(学・人) 器械運動の多様な経験を通して，きまりやルール，マナーなどを守り，自己の役割を果たし仲間と協力したり，場や器械・器具の安全を確保したりし，見通しをもって自主的に運動をすることができる。 (高校2段階Bウ)</p>	<p>(知・技) ・器械運動の楽しさや喜びを深く味わい，その特性に応じた技能の理解を深めるとともに，目的に応じた技を身に付け，演技をしようとしている。</p> <p>(思・判・表) ・器械運動についての自他の課題を発見し，よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを，目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。</p> <p>(主学) ・器械運動の多様な経験を通して，きまりやルール，マナーなどを守り，自己の役割を果たし仲間と協力したり，場や器械・器具の安全を確保したりし，見通しをもって自主的に運動をしようとしている。</p>	器械体操	<ul style="list-style-type: none"> ・マット運動 側転 ロンダート 倒立前転・後転倒立 連続技
	<p>(知及技) ・水泳の楽しさや喜びを深く味わい，その特性に応じた技能の理解を深めるとともに，目的に応じた泳法を身に付けることができる。 (高校2段階Dア)</p> <p>(思判表力) ・水泳についての自他の課題を発見し，よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを，目的</p>	<p>(知・技) ・水泳の楽しさや喜びを深く味わい，その特性に応じた技能の理解を深めるとともに，目的に応じた泳法を身に付けようとしている。</p> <p>(思・判・表) ・水泳についての自他の課題を発見し，よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを，目的や状況に</p>	水泳	<ul style="list-style-type: none"> ・クロール ・平泳ぎ ・背泳ぎ ・泳力測定

		<p>や状況に応じて他者に伝えることができる。 (高校2段階Dイ)</p> <p>(学・人) 水泳の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。 (高校2段階Dウ)</p>	<p>応じて他者に伝えようとしている。</p> <p>(主学) 水泳の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動しようとしている。</p>		
		<p>(知及技) ・球技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、ゲームを行うことができる。</p> <p>(高校2段階Eア) (思判表力) ・球技についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。 (高校2段階Eイ)</p> <p>(学・人) ・球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。 (高校2段階Eウ)</p>	<p>(知・技) ・球技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、ゲームを行おうとしている。</p> <p>(思・判・表) ・球技についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。</p> <p>(主学) ・球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしようとしている。</p>	球技 I	<ul style="list-style-type: none"> ・バドミントン ・卓球
2 学 期	9 ~ 12 (45)	<p>(知及技) 陸上競技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付けることができる。 (高校2段階Cア)</p> <p>(思判表力) ・陸上競技についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。 (高校2段階Cイ)</p> <p>(学・人) ・陸上競技の多様な経験を通して、きまりやル</p>	<p>(知・技) 陸上競技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付けようとしている。</p> <p>(思・判・表) ・陸上競技についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えるようとしている。</p> <p>(主学) ・陸上競技の多様な経験を通して、きまりやル</p>	陸上競技	<ul style="list-style-type: none"> ・短距離(100m) ・跳躍(走幅跳) ・跳躍(走高跳) ・投擲(ソフトボール投げ) ・リレー ・フォーム確認と改善 ・試走会・記録会(校外学習)

	<p>ル、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。 (高校2段階Cウ)</p>	<p>ナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしようとしている。</p>		
	<p>(知及技) ダンスの楽しさや喜びを深く味わい、その行い方の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、表現や踊りを通じた交流や発表をすることができる。 (高校2段階Gア)</p> <p>(思判表力) ダンスについての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。 (高校2段階Gイ)</p> <p>(学・人) ・ダンスの多様な経験を通して、一人一人の表現や役割を認め助け合ったり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。 (高校2段階Gイ)</p>	<p>(知・技) ダンスの楽しさや喜びを深く味わい、その行い方の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、表現や踊りを通じた交流や発表をしようとしている。</p> <p>(思・判・表) ダンスについての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。</p> <p>(主学) ・ダンスの多様な経験を通して、一人一人の表現や役割を認め助け合ったり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしようとしている。</p>	<p>ダンス</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・特体連ダンス ・創作ダンス
	<p>(知及技) ・空手の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、基本動作や基本となる技や型を身につけることができる。 (高校2段階Fア)</p> <p>(思判表力) ・空手についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。 (高校2段階Fイ)</p> <p>(学・人) ・空手の多様な経験を通して、きまりや伝統的な行動の仕方を守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。 (高校2段階Fウ)</p>	<p>(知・技) ・空手の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、基本動作や基本となる技や型を身につけている。</p> <p>(思・判・表) ・空手についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。</p> <p>(主学) ・空手の多様な経験を通して、きまりや伝統的な行動の仕方を守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動しようとしている。</p>	<p>武道 ・空手</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・礼法 ・基本（突き、蹴り、受け） ・移動基本 ・型（普及型Ⅰ・Ⅱ）

		<p>(知及技) ・球技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、ゲームを行うことができる。</p> <p>(高校2段階Eア) (思判表力) ・球技についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。 (高校2段階Eイ)</p> <p>(学・人) ・球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。 (高校2段階Eウ)</p>	<p>(知・技) ・球技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、ゲームを行おうとしている。</p> <p>(思・判・表) ・球技についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。</p> <p>(主学) ・球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしようとしている。</p>	球技Ⅱ	<ul style="list-style-type: none"> ・バレーボール ・バスケットボール
3 学 期	1 〜 3 (24)	<p>(知及技) 陸上競技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付けることができる。 (高校2段階Cア)</p> <p>(思判表力) ・陸上競技についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。 (高校2段階Cイ)</p> <p>(学・人) ・陸上競技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。 (高校2段階Cウ)</p>	<p>(知・技) 陸上競技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付けようとしている。</p> <p>(思・判・表) ・陸上競技についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えるようとしている。</p> <p>(主学) ・陸上競技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしようとしている。</p>	陸上競技	<ul style="list-style-type: none"> ・長距離 ・インターバル走 ・試走会（校外学習）
		<p>(知及技) ・球技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、ゲームを行うことができる。</p>	<p>(知・技) ・球技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、ゲームを行おうとしている。</p>	球技選択Ⅲ	<ul style="list-style-type: none"> ・ソフトボール ・バレーボール ・サッカー ・バスケットボール

	<p>(高校2段階Eア) (思判表力)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・球技についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。 <p>(高校2段階Eイ)</p> <p>(学・人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。 <p>(高校2段階Eウ)</p>	<p>(思・判・表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・球技についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 <p>(主学)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしようとしている。 		
--	---	---	--	--

令和 8 年度 「職業」 年間指導計画

配当 時数	対象生徒	教科書			
70	1 学年 生徒 10 名	ひとり立ちするための進路学習（日本教育研究出版）			
年間 目標	<p>(知及技) 職業に関する事柄について理解を深めるとともに、将来の職業生活に係る技能を身に付けることができる。</p> <p>(思判表力) 将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、表現する力を身に付けることができる。</p> <p>(学・人) よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への貢献に向けて、生活を改善しようとする実践的な態度を身に付けることができる。</p>				
学期	月	題材の目標	題材の評価規準	題材名	題材の活動内容
年間 を 通 し て 指 導	4 月 ― 3 月	<p>(知及技)</p> <ul style="list-style-type: none"> 一日の見通しをもって、学習に取り組む姿勢と心構えができる。 自己のスケジュールや持ち物(スケジュール帳、筆記用具、作業着、体育着、財布等)の管理を身につけることができる。 清掃活動を通して、成就感と勤労の喜びを体験し、奉仕の精神を身につけるとともに、役割分担の実践を通して、集団の一員としての自覚を深め、責任感を身につけることができる。 <p>(思判表力)</p> <ul style="list-style-type: none"> 気持ちの良い大きな声で元気な挨拶ができる。 ニュースに慣れ親しみ、興味や関心のあるニュースを選び、内容や感想を記録し、発表することができる。 	<p>(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none"> スケジュール帳を活用し、自己のスケジュールや持ち物の管理を行い、一日の見通しを持って学習に取り組むことができる。 清掃活動における、自身の役割分担を自覚し、責任感を身につけ、清掃活動に取り組むことができる。 <p>(思・判・表)</p> <ul style="list-style-type: none"> 相手に聞こえる声で挨拶ができています。 自身の興味や関心に基づき、ニュースを選び、要点をまとめて記録し、発表することができる。 自分の身の周りの事や、自分の考えや思 	<p>朝のあいさつ</p> <p>出席確認</p> <p>今日の連絡と日程確認</p> <p>手帳の記入</p> <p>清掃活動</p> <p>気になるニュース</p> <p>一日の振り返り</p>	<ul style="list-style-type: none"> 日直の進行で会を進める。 姿勢を正し、元気よく挨拶する。 身の周りの整理整頓をする。 連絡や日程確認を聞き、手帳への記入を習慣化する。 各清掃分担区のグループ分けをし、各清掃分担区での役割分担に取り組む。 ※きれいに清掃をするためには、誰が、どのような仕事をするのか、清掃の作業分担と手順を掲示するなどして明示する。 iPad で「NEWS WEB EASY」の HP を見て、興味や関心のあるニュースを選び、内容や感想を記録し、発表する。 ※適宜、新聞記事を取り上げて、取り組む。 一日を振り返って、学んだことや感じたことを発

		<ul style="list-style-type: none"> 自分の身の周りの事や、自分の考えや思いが相手に伝わるように発表することができる。 <p>(学・人)</p> <ul style="list-style-type: none"> 他者と共により良く、なおかつ自分らしく自立して生きていくにはどうしていけば良いかを考えることができる。 	<p>いを、整理して話すことができている。</p> <p>(主学)</p> <ul style="list-style-type: none"> 他者と共により良く、なおかつ自分らしく自立して生きていくにはどうしていけば良いかを考えることができている。 	<ul style="list-style-type: none"> 他者と共により良く自分らしく生きるには インターンシップに向けて、振り返って 	<p>表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「NHK for School」のHPより動画を視聴し、感想や自分自身だったらどうするかを考えて記録する。 インターンシップの取り組みを通して自分の力を確認し、その向上に向けて取り組む。
1 学期	4 月 7 月	<p>(知及技)</p> <ul style="list-style-type: none"> 友達との付き合い方について理解することができる。 <p>(思判表力)</p> <ul style="list-style-type: none"> 将来の夢や目標をもって学校生活を送ることができる。 <p>(学・人)</p> <ul style="list-style-type: none"> 実習を通して成長と課題を確認し今後の見通しを持つことができる。 	<p>(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none"> 友達との付き合い方について考えている。 <p>(思・判・表)</p> <ul style="list-style-type: none"> 将来の夢や目標をもって学校生活を送ることができる。 <p>(主学)</p> <ul style="list-style-type: none"> 実習を通して成長と課題を確認し今後の見通しを持つことができている。 <p>ひとり立ちするための進路学習の取り組み、活動の様子で評価する</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自分の成長と課題 勤労の意義 インターンシップの課題解決 	<ul style="list-style-type: none"> 学校での役割、友達(進1-⑥) 社会科や家庭科等の授業とも連携し、身近な職業から働く人に触れ、働く人の生活について理解できるようにする。(進1-③⑧⑨) 校内実習の前に、実習中の生活、実習日誌、実習を振り返る、実習後のまとめ(進2-⑥)
2 学期	9 月 12 月	<p>(思判表力)</p> <ul style="list-style-type: none"> 家族の一人としての役割について理解することができる。 <p>(学・人)</p> <ul style="list-style-type: none"> 実習を通して成長と課題を確認し今後の見通しを持つことができる。 	<p>(思・判・表)</p> <ul style="list-style-type: none"> 家族の一人としての役割について理解することができる。 <p>(主学)</p> <ul style="list-style-type: none"> 実習を通して成長と課題を確認し今後の見通しを持つことができる。 <p>ひとり立ちするための進路学習の取り組み、活動の様子で評価する</p>	<ul style="list-style-type: none"> 集団や社会との関わりに関すること インターンシップの課題解決 	<ul style="list-style-type: none"> 毎日の仕事や手伝い これからやってみたい仕事や手伝い(進1-③) 現場実習に行く前に、実習中の生活、実習日誌、履歴書の書き方、実習を振り返る、実習後のまとめ(進2-⑥)
3 学期	1 月 3 月	<p>(思判表力)</p> <ul style="list-style-type: none"> 将来の夢や目標をもって学校生活を送ることができる。 	<p>(思・判・表)</p> <ul style="list-style-type: none"> 将来の夢や目標について考えることができている。 <p>ひとり立ちするための進路学習の取り組み、活動の様子で評価する</p>	<ul style="list-style-type: none"> 勤労の意義 	<ul style="list-style-type: none"> 年度当初の夢を目標の振り返りを行い、2学年に向けて新たなスタートがきれるようにする(進1-③⑧⑨)

令和8年度 「職業」 年間指導計画

配当 時数	対象生徒	教科書			
105	2学年 生徒10名	ひとりだちするための進路学習（日本教育研究出版） 新・見て分かるビジネスマナー集（ジアース教育新社）			
年間 目標	<p>(知及技) 職業に関する事柄について理解を深めるとともに、将来の職業生活に係る技能を身に付けることができる。</p> <p>(思判表力) 将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、表現する力を身に付けることができる。</p> <p>(学・人) よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への貢献に向けて、生活を改善しようとする実践的な態度を身に付けることができる。</p>				
学期	月	題材の目標	題材の評価規準	題材名	題材の活動内容
年間 を通して 指導	4 月 ― 3 月	<p>(知及技)</p> <ul style="list-style-type: none"> 一日の見通しをもって、学習に取り組むことができる。 自己のスケジュールや持ち物の管理を身につけることができる。 清掃活動を通して、成就感と勤労の喜びを体験し、役割分担の実践を通して責任感を身につけることができる。 <p>(思判表力)</p> <ul style="list-style-type: none"> 気持ちの良い大きな声で元気な挨拶ができる。 興味・関心のある事柄について調べることができる。 一日を振り返り、相手に伝わるように発表することができる。 <p>(学・人)</p> <ul style="list-style-type: none"> 他者と共により良く、なおかつ自分らしく生きていくにはどうしていけば良いかを考えることができる。 	<p>(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none"> 手帳を活用し、自己のスケジュールや持ち物の管理を行い、一日の見通しを持って学習に取り組むことができている。 清掃活動における、自身の役割分担を自覚し、責任感を身につけ、清掃活動に取り組むことができている。 <p>(思・判・表)</p> <ul style="list-style-type: none"> 相手に聞こえる声で挨拶ができている。 自身の興味や関心のある事柄について要点をまとめて記録し、発表することができる。 一日の振り返りの発表の内容を順序立てて、整理して話すことができている。 <p>(主学)</p> <ul style="list-style-type: none"> 他者と共により良く、なおかつ自分らしく生きていくにはどうしていけば良いかを考えることができている。 	<p>朝のあいさつ 出席確認 今日の連絡と 日程確認 手帳の記入 清掃活動 気になるニュース 一日の振り返り 他者と共により良く自分らしく生きるには</p>	<ul style="list-style-type: none"> 日直の進行で会を進める。 姿勢を正し、元気よく挨拶する。 身の周りの整理整頓をする。 連絡や日程確認を聞き、手帳への記入を習慣化する。 各清掃分担区のグループ分けをし、各清掃分担区での役割分担に取り組む。 iPadで「NEWS WEB EASY」のHPを見て、興味や関心のあるニュースを選び、内容や感想を記録し、発表する。 一日を振り返って、学んだことや感じたことを発表する。 「NHK for School」のHPより動画を視聴し、感想や自分自身だったらどうするかを考えて記録する。

1 学期	4 月 7 月	<p>(知及技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習を通して成長と課題を確認し今後の見通しを持つことができる。 ・知っておきたいことを知ることができる。 <p>(思判表力)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活の場を具体的に考えることができる。 ・仕事の進め方を考えることができる。 ・経済生活や余暇の過ごし方を考えることができる。 	<p>(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習を通して成長と課題を確認し今後の見通しを持てている。 ・知っておきたいことを知ろうとしている。 <p>(思・判・表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活の場を具体的に考えようとしている。 ・仕事の進め方を考えようとしている。 ・経済生活や余暇の過ごし方を考えようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・インターシ ップの課題解 決 ・自分の成長 と課題 ・勤労の意義 ・自分の成長 と課題 ・勤労の意義 ・自分の成長 と課題 	<ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップ中の生 活、実習日誌、履歴書の書き 方、実習を振り返る、実習後 のまとめ(進5-<u>1</u>~<u>5</u>) ・給料と生活費、給料と貯金 (6-<u>3</u>.<u>4</u>.<u>7</u>) ・休日の計画(ビ-<u>41</u>~<u>44</u>) ・いろいろな生活の仕方(進-<u>5</u>.<u>7</u>) ・生活の中で知っておきたい 制度等(権利と責任等) ・仕事のスケジュールと優先 順位、作業標準(ビ-<u>21</u>) ・マナー違反
2 学期	9 月 12 月	<p>(知及技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・困った時の対処法を知ることができる。 ・職場での様々なマナーとマナー違反を知ることができる。 <p>(思判表力)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就業規則や勤務上のトラブルを知り、対応を考えることができる。 <p>(学・人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来のことを想像して人生設計をすることができる。 	<p>(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・困った時の対処法を知ろうとしている。 ・職場での様々なマナーとマナー違反を知ろうとしている。 <p>(思・判・表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就業規則や勤務上のトラブルを知り、対応を考えようとしている。 <p>(主学)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来のことを想像して人生設計をしようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の成長 と課題 ・集団や社会 との関わり に関するこ と ・職業生活を 支える社会 の仕組み ・自分の成長 と課題 	<ul style="list-style-type: none"> ・通勤途中と仕事上のけがや病 気(ビ-<u>34</u>~<u>37</u>、<u>39</u>) ・会社のルールは「就業規則」が 基本 ・セクシャルハラスメント、パ ワーハラスメント ・相談する人、相談にのってく れる機関(進-<u>6</u>) ・書類の渡し方、名刺交換、電話 の対応(ビ-<u>27</u>~<u>33</u>) ・情報管理の原則、パソコンを 使う時の原則 ・来客への対応、先輩になっ たら ・将来のこと、卒業後の人生(進-<u>8</u>)
3 学期	1 月 3 月	<p>(思判表力)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会人の生活様式を知り、卒業後の生活を考えることができる。 ・卒業後の健康管理を 考えることができる。 	<p>(思・判・表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会人の生活様式を知り、卒業後の生活を考えようとしている。 ・卒業後の健康管理を 考えようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職業生活を 支える社会 の仕組み 	<ul style="list-style-type: none"> ・一週間の生活、学生時代と 卒業後の生活の違い、家庭で の生活、進路先での生活、友 達とのつきあい、冠婚葬祭 (進-<u>1</u>) ・健康診断、病気やけがをし たら(進-<u>2</u>) ・生活習慣病とストレス、お 酒とたばこ

令和 8 年度 「職業」 年間指導計画

配当 時数	対象生徒	教科書			
105	3 学年 生徒 10 名	ひとりだちするための進路学習（日本教育研究出版） 新・見て分かるビジネスマナー集（ジアース教育新社）			
年間 目標	<p>(知及技) 職業に関する事柄について理解を深めるとともに、将来の職業生活に係る技能を身に付けることができる。</p> <p>(思判表力) 将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、表現する力を身に付けることができる。</p> <p>(学・人) よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への貢献に向けて、生活を改善しようとする実践的な態度を身に付けることができる。</p>				
学期	月	題材の目標	題材の評価規準	題材名	題材の活動内容
年間 を 通 し て 指 導	4 月 ― 3 月	<p>(知及技)</p> <ul style="list-style-type: none"> 一日の見通しをもって、学習に取り組む姿勢と心構えができる。 自己のスケジュールや持ち物(手帳、筆記用具、作業着、体育着、財布等)の管理を身につけることができる。 清掃活動を通して、成就感と勤労の喜びを体験し、奉仕の精神を身につけるとともに、役割分担の実践を通して、集団の一員としての自覚を深め、責任感を身につけることができる。 <p>(思判表力)</p> <ul style="list-style-type: none"> 気持ちの良い大きな声で元気な挨拶ができる。 ニュースに慣れ親しみ、興味や関心のあるニュースを選び、内容や感想を記録し、発表することができる。 一日を振り返り、相手に伝わるように発表することができる。 	<p>(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none"> 手帳を活用し、自己のスケジュールや持ち物の管理を行い、一日の見通しを持って学習に取り組むことができている。 清掃活動における、自身の役割分担を自覚し、責任感を身につけ、清掃活動に取り組むことができている。 <p>(思・判・表)</p> <ul style="list-style-type: none"> 相手に聞こえる声で挨拶ができている。 自身の興味や関心に基づき、ニュースを選び、要点をまとめて記録し、発表することができる。 一日の振り返りの発表の内容を順序立てて、整理して話すことができている。 	<p>朝のあいさつ</p> <p>出席確認</p> <p>今日の連絡と日程確認</p> <p>手帳の記入</p> <p>清掃活動</p> <p>気になるニュース</p> <p>一日の振り返り</p>	<ul style="list-style-type: none"> 日直の進行で会を進める。 姿勢を正し、元気よく挨拶する。 身の周りの整理整頓をする。 連絡や日程確認を聞き、手帳への記入を習慣化する。 各清掃分担区のグループ分けをし、各清掃分担区での役割分担に取り組む。 ※きれいに清掃をするためには、誰が、どのような仕事をするのか、清掃の作業分担と手順を掲示するなどして明示する。 iPad で「NEWS WEB EASY」の HP を見て、興味や関心のあるニュースを選び、内容や感想を記録し、発表する。 ※適宜、新聞記事を取り上げて、取り組む。 一日を振り返って、学んだことや感じたことを発表する。

		(学・人) ・他者と共により良く、なおかつ自分らしく生きていくにはどうしていけば良いかを考えることができる。	(主学) ・他者と共により良く、なおかつ自分らしく生きていくにはどうしていけば良いかを考えることができる。	他者と共により良く自分らしく生きるには	・「NHK for School」のHPより動画を視聴し、感想や自分自身だったらどうするかを考えて記録する。
1 学期	4 月 7 月	(知及技) ・実習を通して成長と課題を確認し今後の見通しを持つことができる。 ・知っておきたいことを知ることができる。 (思判表力) ・生活の場を具体的に考えることができる。 ・仕事の進め方を考えることができる。 ・経済生活や余暇の過ごし方を考えることができる。	(知・技) ・実習を通して成長と課題を確認し今後の見通しを持っていく。 ・知っておきたいことを知ろうとしている。 (思・判・表) ・生活の場を具体的に考えようとしている。 ・仕事の進め方を考えようとしている。 ・経済生活や余暇の過ごし方を考えようとしている。	・インターシ ップの課題解 決 ・自分の成長 と課題 ・勤労の意義 ・自分の成長 と課題 ・勤労の意義 ・自分の成長 と課題	・現場実習に行く前に、実習中の生活、実習日誌、履歴書の書き方、実習を振り返る、実習後のまとめ(進5- <u>1</u> ~ <u>5</u>) ・給料と生活費、給料と貯金(6- <u>3</u> 、 <u>4</u> 、 <u>7</u>) ・休日の計画(ビ- <u>41</u> ~ <u>44</u>) ・いろいろな生活の仕方(進- <u>5</u> 、 <u>7</u>) ・生活の中で知っておきたい制度等(権利と責任等) ・仕事のスケジュールと優先順位、作業標準(ビ- <u>21</u>) ・マナー違反
2 学期	9 月 12 月	(知及技) ・困った時の対処法を知ることができる。 ・職場での様々なマナーとマナー違反を知ることができる。 (思判表力) ・就業規則や勤務上のトラブルを知り、対応を考えることができる。 (学・人) ・将来のことを想像して人生設計をすることができる。	(知・技) ・困った時の対処法を知ろうとしている。 ・職場での様々なマナーとマナー違反を知ろうとしている。 (思・判・表) ・就業規則や勤務上のトラブルを知り、対応を考えようとしている。 (主学) ・将来のことを想像して人生設計をしようとしている。	・自分の成長 と課題 ・集団や社会との関わりに関すること ・職業生活を支える社会の仕組み ・自分の成長 と課題	・通勤途中と仕事中的けがや病気(ビ- <u>34</u> ~ <u>37</u> 、 <u>39</u>) ・会社のルールは「就業規則」が基本 ・セクシャルハラスメント、パワーハラスメント ・相談する人、相談にのってくれる機関(進- <u>6</u>) ・書類の渡し方、名刺交換、電話の対応(ビ- <u>27</u> ~ <u>33</u>) ・情報管理の原則、パソコンを使う時の原則 ・来客への対応、先輩になったら ・将来のこと、卒業後の人生(進- <u>8</u>)
3 学期	1 月 3 月	(思判表力) ・社会人の生活様式を知り、卒業後の生活を考えることができる。 ・卒業後の健康管理を考えることができる。	(思・判・表) ・社会人の生活様式を知り、卒業後の生活を考えようとしている。 ・卒業後の健康管理を考えようとしている。	・職業生活を支える社会の仕組み	・一週間の生活、学生時代と卒業後の生活の違い、家庭での生活、進路先での生活、友達とのつきあい、冠婚葬祭(進- <u>1</u>) ・健康診断、病気やけがをしたら(進- <u>2</u>) ・生活習慣病とストレス、お酒とたばこ

令和8年度 「 家庭科 」 年間指導計画

配当 時数	対象生徒	教科書			
70	1学年 生徒10名	くらしに役立つ 家庭科			
年間 目標	<p>(知及技) 家族・家庭の機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けることができるようにする。(高2段階)</p> <p>(思判表力) 家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養うことができるようにする。(高2段階)</p> <p>(学・人) 家庭や地域の人々との関わりを通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を身に付けることができる。(高2段階)</p>				
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	26	<p>(知及技) 自分の成長と家族や家庭生活の関わり、乳幼児の生活の特徴や関わり方について気付く。 (2段階Aア、イ、エ)</p> <p>(思判表力) 家族や地域とのよりよい過ごし方や、乳幼児とのよりよい関わり方について考える。(2段階Aア、イ、エ)</p> <p>(学・人) 家族や地域とのよりよい過ごし方や乳幼児とのよりよい関わり方について考え、表現する。(2段階Aア、イ、エ)</p>	<p>(知・技) 自分の成長と家族や家庭生活の関わり、乳幼児の生活の特徴や関わり方を理解しようとしている。</p> <p>(思・判・表) 家族や地域とのよりよい過ごし方や乳幼児とのよりよい関わり方について考えようとしている。</p> <p>(主学) 家族や地域とのよりよい過ごし方や、乳幼児とのよりよい関わり方について主体的に学ぼうとしている。 ※期末考査、ファイル提出、学習態度等を総合的に評価する。</p>	<p>・家族・家庭生活</p>	<p>・自分の成長と家族 ・家庭生活と役割 ・乳幼児の生活</p> <p>※ICT 機材や視覚的教材を活用する。 ※生徒の楽しみや自立への意欲を引き出せるよう、実生活と関連づけて指導するよう工夫する。</p>
2 学期	28	<p>(知及技) 自分に必要な栄養素の種類と働きが分かり、食品の栄養的な特質について理解できる。(2段階Bア)</p> <p>目的に応じた縫い方や用具の安全な取り扱い</p>	<p>(知・技) 自分に必要な栄養素の種類と働きが分かり、食品の栄養的な特質について理解している。</p> <p>目的に応じた縫い方や用具の安全な取り扱いについて理解してい</p>	<p>衣食住の生活</p>	<p>・必要な栄養を満たす食事 ・布を用いた製作</p> <p>※ICT 機材や視覚的教材を活用する。 ※生徒の楽しみや自立への意欲を引き出せるよう、実生活と関連づ</p>

		<p>ができる。(2段階 Bエ)</p> <p>(思判表力)</p> <p>自分に必要な栄養素の種類と働きが分かり、食品の栄養的な特質について考えることができる。(2段階 Bア)</p> <p>目的に応じた縫い方や用具の安全な取り扱いについて考えることができる。</p> <p>(2段階 Bエ)</p> <p>(学・人)</p> <p>自分に必要な栄養素の種類と働きが分かり、食品の栄養的な特質について考え、表現することができる。(2段階 Bア)</p> <p>目的に応じた縫い方や用具の安全な取り扱いについて考え、表現することができる。</p> <p>(2段階 Bエ)</p>	<p>る。</p> <p>(思・判・表)</p> <p>自分に必要な栄養素の種類と働きが分かり、食品の栄養的な特質について考えている。</p> <p>目的に応じた縫い方や用具の安全な取り扱いについて考えている。</p> <p>(主学)</p> <p>自分に必要な栄養素の種類と働きが分かり、食品の栄養的な特質について考え、表現することができる。</p> <p>目的に応じた縫い方や用具の安全な取り扱いについて主体的に学ぼうとしている。</p> <p>期末考査、ファイル提出、学習態度等を総合的に評価する。</p>		<p>けて指導するよう工夫する。</p> <p>※事前に実習の手順や注意点について説明し安全に留意して取り組ませる。</p>
3 学期	16	<p>(知及技)</p> <p>家庭生活における健康管理や余暇について知ることができる。(2段階 Aウ)</p> <p>購入方法や支払い方法の特徴や計画的な金銭管理の必要性がわかる。(2段階 Cア、イ)</p> <p>(思判表力)</p> <p>家庭生活における健康管理や余暇について考えることができる。(2段階 Aウ)</p> <p>購入方法や支払い方法の特徴や計画的な金銭管理の必要性について考えることができる。</p> <p>(2段階 Cア、イ)</p> <p>(学・人)</p> <p>よりよい生活の実現に向けて、家庭生活における健康管理や余暇について考え、表現する</p>	<p>(知・技)</p> <p>家庭生活における健康管理や余暇について理解している。</p> <p>購入方法や支払い方法の特徴や計画的な金銭管理の必要性を理解している。</p> <p>(思・判・表)</p> <p>家庭生活における健康管理や余暇について考えている。</p> <p>購入方法や支払い方法の特徴や計画的な金銭管理の必要性について考えることができる。</p> <p>(主学)</p> <p>よりよい生活の実現に向けて、家庭生活における健康管理や余暇について主体的に学ぼう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭生活 ・消費生活 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活リズム ・生活習慣 ・余暇の有効な過ごし方 ・小物製作 ・店舗販売、無店舗販売 ・クレジットカード ・家計の経済管理 <p>※ICT 機材や視覚的教材を活用する。</p> <p>※生徒の楽しみや自立への意欲を引き出せるよう、実生活と関連づけて指導するよう工夫する。</p> <p>※事前に実習の手順や注意点について説明し安全、衛生に留意して取り組ませる。</p> <p>※消費者教育については専門家の活用を検討する。</p>

		<p>ことができる。(2段階 A ウ)</p> <p>購入方法や支払い方法の特徴や計画的な金銭管理の必要性について工夫することができる。(2段階 C ア、イ)</p>	<p>としている。</p> <p>購入方法や支払い方法の特徴や計画的な金銭管理の必要性について工夫することができる。</p> <p>※期末考査、ファイル提出、学習態度等を総合的に評価する。</p>		
通年		<p>(知及技)</p> <p>食事の果たす役割を知り、基本的な日常食の調理ができる。(2段階 B ア、イ)</p> <p>(思判表力)</p> <p>健康に良い食習慣や基礎的な日常食の調理について、食品の選択や調理の仕方、調理計画を考える。(2段階 B ア、イ)</p> <p>(学・人)</p> <p>健康に良い食習慣や基礎的な日常食の調理について、食品の選択や調理の仕方、調理計画を表現する。(2段階 B ア、イ)</p>	<p>(知・技)</p> <p>食事の果たす役割を知り、基本的な日常食の調理ができています。</p> <p>(思・判・表)</p> <p>健康に良い食習慣や基礎的な日常食の調理について、食品の選択や調理の仕方、調理計画を考えようとしています。</p> <p>(主学)</p> <p>健康に良い食習慣や基礎的な日常食の調理について、食品の選択や調理の仕方、調理計画を表現することができています。</p> <p>期末考査、ファイル提出、学習態度等を総合的に評価する。</p>	食生活	<ul style="list-style-type: none"> ・健康的な食生活 ・日常食の調理 <p>※ICT 機材や視覚的教材を活用する。</p> <p>※生徒の楽しみや自立への意欲を引き出せるよう、実生活と関連づけて指導するよう工夫する。</p> <p>※事前に実習の手順や注意点について説明し安全、衛生に留意して取り組ませる。</p>

令和8年度 「 家庭科 」 年間指導計画

配当 時数	対象生徒	教科書			
70	2学年 生徒10名	くらしに役立つ 家庭科			
年間 目標	<p>(知及技) 家族・家庭の機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けることができるようにする。(高2段階)</p> <p>(思判表力) 家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養うことができるようにする。(高2段階)</p> <p>(学・人) 家庭や地域の人々との関わりを通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を身に付けることができる。(高2段階)</p>				
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規 準	単元・題材 名	単元・題材の活動内容
1 学期	26	<p>(知及技) 衣服のはじまりや役割がわかり、材料や状態に応じた手入れについて理解できる。 (2段階Bウ)</p> <p>(思判表力) 衣服の材料や状態に応じた手入れについて考えることができる。 (2段階Bウ)</p> <p>(学・人) 衣服の材料や状態に応じた手入れについて考え、工夫することができる。 (2段階Bウ)</p>	<p>(知・技) 衣服のはじまりや役割がわかり、衣服の材料や状態に応じた手入れについて理解できている。 (思・判・表) 衣服の材料や状態に応じた手入れについて考えようとしている。 (主学) 衣服の材料や状態に応じた手入れについて主体的に学ぼうとしている。 期末考査、ファイル提出、学習態度等を総合的に評価する。</p>	・衣生活	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服のはじまりと役割 ・目的に応じた着方 ・日常着の材質の特徴 ・洗剤の働き ・電気洗濯機 ・手洗い洗濯 <p>※ICT 機材や視覚的教材を活用する。 ※生徒の楽しみや自立への意欲を引き出せるよう、実生活と関連づけて指導するよう工夫する。</p>
2 学期	28	<p>(知及技) 目的に応じた縫い方や用具の安全な取り扱いができる。(2段階エ)</p> <p>購入方法や支払い方法の特徴や計画的な金銭管理の必要性がわかる。(2段階Cア、イ)</p> <p>(思判表力) 目的に応じた縫い方や用具の安全な取り扱いについて考えることができ</p>	<p>(知・技) 目的に応じた縫い方や用具の安全な取り扱いができる。(1段階エ)</p> <p>購入方法や支払い方法の特徴や計画的な金銭管理の必要性を理解している。 (思・判・表) 目的に応じた縫い方や用具の安全な取り</p>	衣生活 消費生活	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎縫い ・小物製作 ・店舗販売、無店舗販売 ・クレジットカード ・家計の経済管理 <p>※ICT 機材や視覚的教材を活用する。 ※生徒の楽しみや自立への意欲を引き出せるよう、実生活と関連づけて指導するよう工夫する。 ※事前に実習の手順や注</p>

		<p>る。(1段階エ) 購入方法や支払い方の特徴や計画的な金銭管理の必要性がわかる。(2段階Cア、イ) 購入方法や支払い方法の特徴や計画的な金銭管理の必要性について考えることができる。(2段階Cア、イ)</p> <p>(学・人) 目的に応じた縫い方や用具の安全な取り扱いについて主体的に考えることができる。(1段階エ) 購入方法や支払い方法の特徴や計画的な金銭管理の必要性について工夫することができる。(2段階Cア、イ)</p>	<p>扱いについて考えようとしている。 購入方法や支払い方法の特徴や計画的な金銭管理の必要性を考えようとしている。(主学) 目的に応じた縫い方や用具の安全な取り扱いについて主体的に考えている。 購入方法や支払い方法の特徴や計画的な金銭管理の必要性について工夫することができる。できている。 期末考査、ファイル提出、学習態度等を総合的に評価する。</p>		<p>意点について説明し安全、衛生に留意して取り組ませる。 ※消費者教育については専門家の活用を検討する。</p>
3 学 期	16	<p>(知及技) 家族の生活と住空間との関わり、住居の基本的な機能について知ることができる。 (2段階オ) (思判表力) 家族の生活と住空間との関わり、住居の基本的な機能について知る考えることができる。(2段階オ) (学・人) 家族の安全や快適さを考えた住空間について表現することができる。(2段階オ)</p>	<p>(知・技) 家族の生活と住空間との関わり、住居の基本的な機能について知ることができる。 (思・判・表) 家族の生活と住空間との関わり、住居の基本的な機能について知る考えることができる。 (主学) 家族の安全や快適さを考えた住空間について表現することができる。 できている。 期末考査、ファイル提出、学習態度等を総合的に評価する。</p>	住生活	<ul style="list-style-type: none"> ・家族の生活と住空間 ・和式と洋式 ・住居の機能
通 年		<p>(知及技) 食事の果たす役割を知り、基本的な日常食の調理ができる。(2段階Bア、イ) (思判表力) 健康に良い食習慣や基礎的な日常食の調理について、食品の選択や調理の仕方、調理計画を考える。</p>	<p>(知・技) 食事の果たす役割を知り、基本的な日常食の調理ができている。 (思・判・表) 健康に良い食習慣や基礎的な日常食の調理について、食品の選</p>	・食生活	<ul style="list-style-type: none"> ・健康的な食生活 ・日常食の調理 ※ICT 機材や視覚的教材を活用する。 ※生徒の楽しみや自立への意欲を引き出せるよう、実生活と関連づけて指導するよう工夫する。 ※事前に実習の手順や注

	<p>(2段階 B ア、イ) (学・人) 健康に良い食習慣や基礎的な日常食の調理について、食品の選択や調理の仕方、調理計画を表現する。 (2段階 B ア、イ)</p>	<p>択や調理の仕方、調理計画を考えようとしている。 (主学) 健康に良い食習慣や基礎的な日常食の調理について、食品の選択や調理の仕方、調理計画を表現することができている。</p> <p>期末考査、ファイル提出、学習態度等を総合的に評価する。</p>	<p>意点について説明し安全、衛生に留意して取り組ませる。</p>
--	---	---	-----------------------------------

令和8年度 「 家庭科 」 年間指導計画

配当 時数	対象生徒	教科書			
70	3学年 生徒10名	くらしに役立つ 家庭科			
年間 目標	<p>(知及技) 家族・家庭の機能に理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解をするとともに、それらに係る技能を身に付けることができるようにする。(高2段階)</p> <p>(思判表力) 家庭や地域における生活の中から課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を身に付けることができるようにする。(高2段階)</p> <p>(学・人) 地域や家族の一員として、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を身に付けることができる。(高2段階)</p>				
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	26	<p>(知及技) 自分の成長と生活の自立に必要な家族や家庭生活の関わり、乳幼児や高齢者の生活の特徴や関わり方について理解する。 (2段階 A ア、イ、エ) (思判表力) 家族や地域とのよりよい過ごし方や、高齢者や乳幼児とのよりよい関わり方について考える。(2段階 A ア、イ、エ) (学・人) 家族や地域とのよりよい過ごし方や、高齢者や乳幼児とのよりよい関わり方について考え、工夫し表現する。(2段階 A ア、イ、エ)</p>	<p>(知・技) 自分の成長と生活の自立に必要な家族や家庭生活の関わり、乳幼児や高齢者の生活の特徴や関わり方を理解しようとしている。 (思・判・表) 生活の自立に必要な家族や地域とのよりよい過ごし方や、高齢者や乳幼児とのよりよい関わり方について考えようとしている。 (主学) 生活の自立に必要な家族や地域とのよりよい過ごし方や、高齢者や乳幼児とのよりよい関わり方について主体的に学ぼうとしている。 ※期末考査、ファイル提出、学習態度等を総合的に評価する。</p>	<p>・家族・家庭生活 ・生活設計</p>	<p>・ライフステージとライフプラン ・自分の成長と家族 ・家庭生活と役割 ・乳幼児、高齢者の生活 ・幼児とのふれあい体験</p> <p>※幼児と実際にふれあう体験を持つことができるよう検討する。 ※ICT 機材や視覚的教材を活用する。 ※生徒の楽しみや自立への意欲を引き出せるよう、実生活と関連づけて指導するよう工夫する。</p>
2 学期	28	<p>(知及技) 自分に必要な栄養素の種類と働きがわかる。 (2段階ア) 用途に応じた食品の</p>	<p>(知・技) 自分に必要な栄養素の種類と働きがわかるか。 (思・判・表) 基礎的な日常食の調理について、計画的に調理</p>	<p>衣食住の生活</p>	<p>・健康で快適な衣生活 ・小物製作 ・健康的な食生活 ・日常食の調理 ・安全で快適な住生活 ※ICT 機材や視覚的教材</p>

		<p>選択や適切な調理についてわかる。 (2段階イ) 目的に応じた縫い方や用具の安全な取り扱いができる。(1段階エ) (思判表力) 1日の献立について考え、工夫することができる。 基本的な日常食の調理について考えることができる。 (2段階イ) (学・人) 基本的な日常食の調理について、計画を考え工夫することができる。 (2段階イ)</p>	<p>実習している。 布を用いた小物製作を表現している。 (主学) 安全で快適な住まいとは何かを理解している</p> <p>期末考査、ファイル提出、学習態度等を総合的に評価する。</p>		<p>を活用する。 ※生徒の楽しみや自立への意欲を引き出せるよう、実生活と関連づけて指導するよう工夫する。 ※事前に実習の手順や注意点について説明し安全、衛生に留意して取り組ませる。</p>
3 学期	16	<p>(知及技) 購入方法や支払い方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性に気付く。 (2段階ア) (思判表力) 身近な消費生活について、自立した消費者として責任ある消費行動を考え、表現する。 (2段階(イ)) (学・人) 自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について気付く(2段階イ)</p>	<p>(知・技) 購入方法や支払い方法の特徴が分かり、計画的な買い物(消費)をしている。 (思・判・表) 消費者問題について理解し、責任ある行動を自覚している。 (主学) 身近な消費生活が環境や社会に与える影響について学ぶ。</p> <p>期末考査、ファイル提出、学習態度等を総合的に評価する。</p>	消費生活 環境	<ul style="list-style-type: none"> ・消費生活について知る ・消費者問題について知る ・環境に配慮した生活 <p>※消費者教育のついでには専門家の活用を検討する。</p>
通 年		<p>(知及技) 食事の果たす役割を知り、基本的な日常食の調理ができる。(2段階Bア、イ) (思判表力) 健康に良い食習慣や基礎的な日常食の調理について、食品の選択や調理の仕方、調理計画を考える。</p>	<p>(知・技) 食事の果たす役割を知り、基本的な日常食の調理ができている。</p> <p>(思・判・表) 健康に良い食習慣や基礎的な日常食の調理について、食品の選択や調理の仕方、調理計画を考えようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・食事の役割 ・日常食の調理 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康的な食生活 ・日常食の調理 <p>※ICT 機材や視覚的教材を活用する。 ※生徒の楽しみや自立への意欲を引き出せるよう、実生活と関連づけて指導するよう工夫する。 ※事前に実習の手順や注意点について説明し安全、衛生に留意して取り組ま</p>

	<p>(2段階 B ア、イ) (学・人) 健康に良い食習慣や基礎的な日常食の調理について、食品の選択や調理の仕方、調理計画を表現する。(2段階 B ア、イ)</p>	<p>(主学) 健康に良い食習慣や基礎的な日常食の調理について、食品の選択や調理の仕方、調理計画を表現することができる。 期末考査、ファイル提出、学習態度等を総合的に評価する。</p>		<p>せる。</p>
--	--	---	--	------------

令和 8 年度 「外国語」 年間指導計画

配当 時数	対象生徒	教科書			
35	1 学年 生徒 10 名	子供のための英語で自己表現ワーク(mpi)			
年間 目標	(知及技)英語の音声を聞いて、日本語との違いに気付き、簡単な語句が何を表すのか理解するか理解することができる。(高1段階) (思判表力)簡単な語句などを用いて自分のことについて伝えることができる。(高1段階) (学・人)簡単な英語であいさつしたり、尋ねたりすることができる。(高1段階)				
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	13	(知及技) 英語の数字を理解する。(高1段階ア(ア)㊦) (思判表力) 英語の数字を使って自分のことについて伝える。(高1段階ア(ア)) (学・人) あいさつをしたり、英語で相手に聞いたり、伝えたりできる。 (高1段階ウ(ア)(イ)(ウ)(エ))	(知・技) 英語で数字を言ったり書いたりしている。 (思・判・表) 自分のことについて書いたり話したりしている。 (主学) 自分のことを伝えたり、相手に聞いたりしている。 ワークシートやパフォーマンステスト、振り返りシートを利用して評価する。	Unit 1: Grades Unit 2: Going to school Unit3: Birthday	ICTを利用して、英語の数字を練習する。 ワークシートを利用して自分のことについてまとめる。 ワークシートを利用して自分のことを伝えたり、尋ねたりする。
2 学期	14	(知及技) 月日・曜日、家族、動物について英語で理解する。(高1段階ア(ア)㊦) (思判表力) 英語で月日・曜日、家族、動物を使って自分のことについて伝えることができる。 (高1段階イ(ア)(イ)) (学・人) 英語で月日・曜日、家族、動物を使って自分のことについて伝えたり、相手に尋ねたり	(知・技) 英語で月日・曜日、家族、動物を言ったり書いたりしている。 (思・判・表) 英語で月日・曜日、家族、動物を使って自分のことについて伝えている。 (主学) ペアでワークシートを利用してお互いのことについて伝えたり、尋ねたりしている。 ワークシートやパフォ	Unit4: Present Unit5: Family Unit6: Pets	ICTを利用して、イラストを使って英単語の意味をリンクさせる。 ワークシートを利用して自分のことについてまとめる。 ワークシートを利用して自分のことを伝えたり、尋ねたりする。

		<p>することができる。 （高1段階ウ （ア）（イ）（ウ）（エ））</p>	<p>ーマンステスト、振り 返りシートを利用して 評価する。</p>		
3 学 期	8	<p>（知及技） 自分の好きな色、お菓 子について英語で理 解する。（高1段階ア （ア）㊦）</p> <p>（思判表力） 自分の好きな色やお 菓子、また自分の好き な他のことについて 伝えることができる。 （高1段階イ（ア） （イ））</p> <p>（学・人） 自分の好みについて 伝えたり、相手の好き なことについて尋ね たりすることができる。 （高1段階ウ （ア）（イ）（ウ）（エ））</p>	<p>（知・技） 英語で色やお菓子につ いて表現している。</p> <p>（思・判・表） 自分の好きな色やお菓 子、好きなことにつ いて伝えようとしてい る。</p> <p>（主学） 自分の好みについて伝 えたり、相手の好きな ことについて尋ねよう としている。</p>	<p>Unit7:Colors Unit8:Snacks</p>	<p>ICTを利用して、イラスト を使って英単語の意味を リンクさせる。</p> <p>ワークシートを利用して 自分のことについてまと める。</p> <p>ワークシートを利用して 自分のことを伝えたり、尋 ねたりする。</p>

令和 8 年度 「外国語」 年間指導計画

配当 時数	対象生徒	教科書			
35	2 学年 生徒 10 名	子供のための英語で自己表現ワーク(mpi)			
年間 目標	(知及技)英語の音声を聞いて、日本語との違いに気付き、簡単な語句が何を表すのか理解するか理解することができる。(高1段階) (思判表力)簡単な語句などを用いて自分のことについて伝えることができる。(高1段階) (学・人)簡単な英語であいさつしたり、尋ねたりすることができる。(高1段階)				
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	13	(知及技) 英語の数字を理解する。(高1段階ア(ア)㊦) (思判表力) 英語の数字を使って自分のことについて伝える。(高1段階ア(ア)) (学・人) あいさつをしたり、英語で相手に聞いたり、伝えたりできる。 (高1段階ウ(ア)(イ)(ウ)(エ))	(知・技) 英語で数字を言ったり書いたりしている。 (思・判・表) 自分のことについて書いたり話したりしている。 (主学) 自分のことを伝えたり、相手に聞いたりしている。 ワークシートやパフォーマンステスト、振り返りシートを利用して評価する。	Unit 1: Grades Unit 2: Going to school Unit3: Birthday	ICTを利用して、英語の数字を練習する。 ワークシートを利用して自分のことについてまとめる。 ワークシートを利用して自分のことを伝えたり、尋ねたりする。
2 学期	14	(知及技) 月日・曜日、家族、動物について英語で理解する。(高1段階ア(ア)㊦) (思判表力) 英語で月日・曜日、家族、動物を使って自分のことについて伝えることができる。 (高1段階イ(ア)(イ)) (学・人) 英語で月日・曜日、家族、動物を使って自分のことについて伝えたり、相手に尋ねたり	(知・技) 英語で月日・曜日、家族、動物を言ったり書いたりしている。 (思・判・表) 英語で月日・曜日、家族、動物を使って自分のことについて伝えている。 (主学) ペアでワークシートを利用してお互いのことについて伝えたり、尋ねたりしている。 ワークシートやパフォ	Unit4: Present Unit5: Family Unit6: Pets	ICTを利用して、イラストを使って英単語の意味をリンクさせる。 ワークシートを利用して自分のことについてまとめる。 ワークシートを利用して自分のことを伝えたり、尋ねたりする。

		<p>することができる。 （高1段階ウ （ア）（イ）（ウ）（エ））</p>	<p>ーマンステスト、振り 返りシートを利用して 評価する。</p>		
3 学 期	8	<p>（知及技） 自分の好きな色、お菓子について英語で理解する。（高1段階ア （ア）㊦）</p> <p>（思判表力） 自分の好きな色やお菓子、また自分の好きな他のことについて伝えることができる。 （高1段階イ（ア） （イ））</p> <p>（学・人） 自分の好みについて伝えたり、相手の好きなことについて尋ねたりすることができる。（高1段階ウ （ア）（イ）（ウ）（エ））</p>	<p>（知・技） 英語で色やお菓子について表現している。</p> <p>（思・判・表） 自分の好きな色やお菓子、好きなことについて伝えようとしている。</p> <p>（主学） 自分の好みについて伝えたり、相手の好きなことについて尋ねようとしている。</p>	<p>Unit7:Colors Unit8:Snacks</p>	<p>ICTを利用して、イラストを使って英単語の意味をリンクさせる。</p> <p>ワークシートを利用して自分のことについてまとめる。</p> <p>ワークシートを利用して自分のことを伝えたり、尋ねたりする。</p>

令和 8 年度 「外国語」 年間指導計画

配当 時数	対象生徒	教科書			
35	3 学年 生徒 10 名	子供のための英語で自己表現ワーク(mpi)			
年間 目標	(知及技)英語の音声を聞いて、日本語との違いに気付き、簡単な語句が何を表すのか理解するか理解することができる。(高1段階) (思判表力)簡単な語句などを用いて自分のことについて伝えることができる。(高1段階) (学・人)簡単な英語であいさつしたり、尋ねたりすることができる。(高1段階)				
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	13	(知及技) 英語の数字を理解する。(高1段階ア(ア)㊦) (思判表力) 英語の数字を使って自分のことについて伝える。(高1段階ア(ア)) (学・人) あいさつをしたり、英語で相手に聞いたり、伝えたりできる。 (高1段階ウ(ア)(イ)(ウ)(エ))	(知・技) 英語で数字を言ったり書いたりしている。 (思・判・表) 自分のことについて書いたり話したりしている。 (主学) 自分のことを伝えたり、相手に聞いたりしている。 ワークシートやパフォーマンステスト、振り返りシートを利用して評価する。	Unit 1: Grades Unit 2: Going to school Unit3: Birthday	ICTを利用して、英語の数字を練習する。 ワークシートを利用して自分のことについてまとめる。 ワークシートを利用して自分のことを伝えたり、尋ねたりする。
2 学期	14	(知及技) 月日・曜日、家族、動物について英語で理解する。(高1段階ア(ア)㊦) (思判表力) 英語で月日・曜日、家族、動物を使って自分のことについて伝えることができる。 (高1段階イ(ア)(イ)) (学・人) 英語で月日・曜日、家族、動物を使って自分のことについて伝えたり、相手に尋ねたり	(知・技) 英語で月日・曜日、家族、動物を言ったり書いたりしている。 (思・判・表) 英語で月日・曜日、家族、動物を使って自分のことについて伝えている。 (主学) ペアでワークシートを利用してお互いのことについて伝えたり、尋ねたりしている。 ワークシートやパフォ	Unit4: Present Unit5: Family Unit6: Pets	ICTを利用して、イラストを使って英単語の意味をリンクさせる。 ワークシートを利用して自分のことについてまとめる。 ワークシートを利用して自分のことを伝えたり、尋ねたりする。

		<p>することができる。 （高1段階ウ （ア）（イ）（ウ）（エ））</p>	<p>ーマンステスト、振り 返りシートを利用して 評価する。</p>		
3 学 期	8	<p>（知及技） 自分の好きな色、お菓 子について英語で理 解する。（高1段階ア （ア）（ア））</p> <p>（思判表力） 自分の好きな色やお 菓子、また自分の好き な他のことについて 伝えることができる。 （高1段階イ（ア） （イ））</p> <p>（学・人） 自分の好みについて 伝えたり、相手の好き なことについて尋ね たりすることができる。 （高1段階ウ （ア）（イ）（ウ）（エ））</p>	<p>（知・技） 英語で色やお菓子につ いて表現している。</p> <p>（思・判・表） 自分の好きな色やお菓 子、好きなことにつ いて伝えようとしてい る。</p> <p>（主学） 自分の好みについて伝 えたり、相手の好きな ことについて尋ねよう としている。</p>	<p>Unit7:Colors Unit8:Snacks</p>	<p>ICTを利用して、イラスト を使って英単語の意味を リンクさせる。</p> <p>ワークシートを利用して 自分のことについてまと める。</p> <p>ワークシートを利用して 自分のことを伝えたり、尋 ねたりする。</p>

令和8年度 「 情報 」 年間指導計画

配当 時数	対象生徒	教科書			
35	1学年 生徒10名	図説 情報I (実教出版)			
年間 目標	<p>(知及技)効果的なコミュニケーションの方法や、身近にあるコンピュータやデータの活用について知り、基礎的な技能を身に付けるとともに、情報社会と人との関わりについて知ることができる。(高1段階)</p> <p>(思判表力)身近な事象を情報とその結びつきとして捉え、問題を知り、問題を解決するために必要な情報と情報技術を活用する力を身につけることができる。(高1段階)</p> <p>(学・人)身近にある情報や情報技術を活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度を身に付けることができる。(高1段階)</p>				
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	<p>(知及技) 身近にある情報やメディアの基本的な特性及びコンピュータ等の情報機器の基本的な用途、操作方法を知り、情報と情報技術を活用して問題を知り、問題を解決する方法を身に付ける。 (1段階ア(ア))</p> <p>(思判表力) 目的や状況に応じて、身近にある情報や情報技術を活用して問題を知り、問題を解決する方法について考えることができる。 (1段階イ(ア))</p> <p>(知及技) 情報に関する身近で基本的な、法規や制度について学ぶ。(1段階ア(イ))</p> <p>(思判表力) 情報に関する身近で基本的な、法規や制度について考えることができる。(1段階イ(イ))</p> <p>(学・人) 自分が使用しているパスワードの安全性</p>	<p>(知・技) 身近にある情報やメディアの基本的な特性及びコンピュータ等の情報機器の基本的な用途、操作方法を理解している。 情報と情報技術を活用して問題を知り、問題を解決する方法を身に付けている。</p> <p>(思・判・表) 目的や状況に応じて、身近にある情報や情報技術を活用して問題を知り、問題を解決する方法について考えようとしている。</p> <p>(知・技) 情報に関する身近で基本的な、法規や制度について理解している。</p> <p>(思・判・表) 情報に関する身近で基本的な、法規や制度について考えようとしている。</p> <p>(主学) 「情報」がもつ意味やはたらきについて考えようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ パソコンの基本的な操作 ・ SNS 利用の注意点 ・ 携帯電話の扱い <p>第1章 情報社会の問題解決</p> <p>1節 1.問題解決の手順</p> <p>2.情報収集と整理</p> <p>3.情報の分析</p> <p>2節 1.情報の管理と保護</p> <p>2.知的財産権と産業財産権</p> <p>3.著作権</p> <p>3節 1.認証とパスワード</p>	<p>パソコンの各部の名称と機能について説明を聞き、実際に基本的な操作を行う。</p> <p>教科書を基に作成した学習プリントに教科書を見ながら取り組み、解答欄に記入する。</p> <p>※SNSトラブルやインターネット上の問題について、身近な具体例を挙げて解説していく。</p> <p>身の回りの問題について、問題解決に向けた話し合いをグループ内で行い、意見をまとめ、全体で発表する。</p> <p>「情報」がもつ意味について考え、正しい意思決定のために必要なことは何かを考え、自分の考えを学習プリントに記入する。</p>

		や管理方法について改めて見直し、考えることができる。 (学・人) 「情報」がもつ意味やはたらきについて考えることができる。	評価方法 ・学習プリント ・振り返りシート ・活動の姿 ・ペーパーテスト	2.情報の暗号化 ○問題解決のためにアイデアを出してみよう	
2 学 期	17	(知及技) 情報に関する情報セキュリティの重要性、情報社会における個人の責任及び情報モラルについて学ぶ。 (1段階ア(イ)) (思判表力) 情報に関する情報セキュリティの重要性、情報社会における個人の責任及び情報モラルについて考えることができる。(1段階イ(イ)) (学・人) 自分が使用しているパスワードの安全性や管理方法について改めて見直し、考えることができる。 (知及技) 身近にある情報技術が人や社会に果たす役割と及ぼす影響について学ぶ。 (1段階ア(ウ)) (思判表力) 身近にある情報や情報技術の活用について考えることができる。(1段階イ(ウ)) (学・人) インターネット上のトラブルについて主体的に対応することができる。	(知・技) 情報に関する情報セキュリティの重要性、情報社会における個人の責任及び情報モラルについて理解している。 (思・判・表) 情報に関する情報セキュリティの重要性、情報社会における個人の責任及び情報モラルについて考えようとしている。 (主学) 自分が使用しているパスワードの安全性や管理方法について改めて見直し、考えようとしている。 (知・技) 身近にある情報技術が人や社会に果たす役割と及ぼす影響について理解している。 (思・判・表) 身近にある情報や情報技術の活用について考えようとしている。 (主学) インターネット上のトラブルについて主体的に対応しようとしている。 評価方法 ・学習プリント ・振り返りシート ・活動の姿 ・ペーパーテスト	第1章情報社会の問題解決 3節 3.コンピュータウイルスと対策 ○アンケートを作成しよう 第2章コミュニケーションと情報デザイン 1節 1.メディアと機能と特性 2.メディアリテラシー 2節 1.効果的なコミュニケーション 2.インターネット上のコミュニケーション 3節 1.情報デザインの考え方 2.表現の工夫 4節 1.コンテンツ設計 2.スライド制作と発表 ○スライド資料を作成しよう	教科書を基に作成した学習プリントに教科書を見ながら取り組み、解答欄に記入する。 ※個人情報とプライバシーの取り扱いの重要性について具体例をあげて解説していく。 身近な著作権の侵害についての例題を理解し、具体的になどのような被害を与えるか影響について考える。 自分の考えを基にペアで話し合い、意見をまとめる。 ユーザー認証やパスワードの重要性について理解し、望ましいパスワードの決め方について見直す。

3 学 期	6	<p>(知及技) 身近にある情報技術について学ぶ。 (1段階ア(ウ)) (思判表力) 身近にある情報や情報技術の活用について考えることができる。(1段階イ(ウ)) (学・人) インターネット上のトラブルについて主体的に対応することができる。</p>	<p>(知・技) 身近にある情報技術について理解している。 (思・判・表) 身近にある情報や情報技術の活用について考えようとしている。 (主学) インターネット上のトラブルについて主体的に対応しようとしている。 評価方法 ・学習プリント ・振り返りシート ・活動の姿 ・ペーパーテスト</p>	<p>○スライド発表 ・まとめ ・編末問題</p>	<p>情報化の進展により社会はどのように変化したか、その利点と問題点について理解し、学習プリントに記入する。 教科書を基に作成した学習プリントに教科書を見ながら取り組み、解答欄に記入する。 SNSの「炎上」や「ネットいじめ」などの具体例を提示し、情報社会を正しく生きる態度を身につける。</p>
-------------	---	--	--	--	---

令和8年度 「 情報 」 年間指導計画

配当 時数	対象生徒	教科書			
35	2学年 生徒10名	図説 情報 I (実教出版)			
年間 目標	<p>【知及技】効果的なコミュニケーションの方法や、身近にあるコンピュータやデータの活用について理解し、基礎的な技能を身に付けるとともに、情報社会と人との関わりについて理解することができる。(高2段階)</p> <p>【思判表力】身近な事象を情報とその結びつきとして捉え、問題を知り、問題を解決するために必要な情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養うことができる。(高2段階)</p> <p>【学・人】身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に参画しようとする態度を身に付けることができる。(高2段階)</p>				
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	14	<p>【知及技】</p> <ul style="list-style-type: none"> 身近なメディアの基本的な特性とコミュニケーション手段の基本的な特徴について、その変遷を踏まえて知る。 <p>(1段階Bア(ア))</p> <p>【学・人】</p> <ul style="list-style-type: none"> 身近にある情報や情報技術を活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度を養う。 	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> 身近なメディアの基本的な特性とコミュニケーション手段の基本的な特徴について、その変遷を踏まえて知っている。 <p>【主学】</p> <ul style="list-style-type: none"> 身近にある情報や情報技術を活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度が養われている。 	<p>第2編コミュニケーションと情報デザイン</p> <p>第1章情報のデジタル表現</p> <p>17 デジタル情報の特徴</p> <p>18 デジタル情報の表し方 (1)</p> <p>19 デジタル情報の表し方 (2)</p> <p>20 デジタル表現 (1)</p>	<ul style="list-style-type: none"> デジタル化すると、情報が失われにくくなること、加工・処理ができるようになることを強調しておきたい。 数のデジタル表現、音と画像のデジタル表現、画像処理、動画の作成など、できるだけ多くの実習を行い、生徒にデジタル化の原理を実感させたい。
2 学期	15	<p>【知及技】</p> <ul style="list-style-type: none"> 身近なメディアの基本的な特性とコミュニケーション手段の基本的な特徴について、その変遷を踏まえて知る。 <p>(1段階Bア(ア))</p> <p>【知及技】</p> <ul style="list-style-type: none"> 身近にある情報デザインが人や社会に果たしている役割を知ること。 <p>(1段階Bア(イ))</p> <p>【思判表力】</p> <ul style="list-style-type: none"> 身近なメディア 	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> 身近なメディアの基本的な特性とコミュニケーション手段の基本的な特徴について、その変遷を踏まえて知っている。 <p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> 身近にある情報デザインが人や社会に果たしている役割を知っている。 <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> 身近なメディアとコ 	<p>第2編コミュニケーションと情報デザイン</p> <p>第1章情報のデジタル表現</p> <p>21 デジタル表現 (2)</p> <p>22 デジタル表現 (3)</p> <p>23 データの圧縮</p> <p>第2章コミュニケーション手段の発展と特徴</p> <p>24 コミュニケーション手段の発達</p> <p>25 情報の発信とメディアの性質</p>	<ul style="list-style-type: none"> 数のデジタル表現、音と画像のデジタル表現、画像処理、動画の作成など、できるだけ多くの実習を行い、生徒にデジタル化の原理を実感させたい。 身近なコミュニケーション手段を取り上げ、情報通信技術の進展がコミュニケーション手段を変化させてきたことを理解させる。

	<p>とコミュニケーション手段の関係を考えること。</p> <p>(1段階 Bイ(ア))</p> <p>【知・技】</p> <p>身近にある情報デザインから、効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの基本的な考え方や方法を知り、表現する基礎的な技能を身に付けること。</p> <p>(1段階 Bア(ウ))</p> <p>【学・人】</p> <p>・身近にある情報や情報技術を活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度を養う。</p>	<p>コミュニケーション手段の関係を考えている。</p> <p>【知・技】</p> <p>身近にある情報デザインから、効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの基本的な考え方や方法を知り、表現する基礎的な技能が身に付いている。</p> <p>【主学】</p> <p>・身近にある情報や情報技術を活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度が養われている。</p>			
3 学 期	6	<p>【思判表力】</p> <p>・コミュニケーションの目的に合わせて、必要な情報が伝わるような情報デザインを考えること。</p> <p>(1段階 Bイ(イ))</p> <p>【思判表力】</p> <p>効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの基本的な考え方や方法に基づいて、表現の仕方を工夫すること。</p> <p>(1段階 Bイ(ウ))</p> <p>【学・人】</p> <p>・身近にある情報や情報技術を活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度を養う。</p>	<p>【思・判・表】</p> <p>・コミュニケーションの目的に合わせて、必要な情報が伝わるような情報デザインを考えている。</p> <p>【思・判・表】</p> <p>効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの基本的な考え方や方法に基づいて、表現の仕方を工夫している。</p> <p>【主学】</p> <p>・身近にある情報や情報技術を活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度が養われている。</p>	<p>第2編コミュニケーションと情報デザイン 第3章情報デザイン 26 情報を表現する方法 27 効果的な情報デザイン 第3章プレゼンテーション 28 プレゼンテーションの流れ 29 プレゼンテーションの注意点</p>	<p>・ユーザビリティ、アクセシビリティの意味を理解させ、どのようにすればコンピュータやインターネットが使いやすくなるかを考えさせる。</p> <p>・情報デザインが人や社会に果たしている役割を考えさせる活動を取り入れる。</p> <p>・テーマや課題を設定して、効果的な情報デザインを考えさせる。</p> <p>・情報デザインの考え方や方法を取り入れてプレゼンテーション用のスライドを作成する実習を行い、情報の表現と伝達の実践力を向上させたい。</p> <p>・プレゼンテーションソフトウェアの操作にあたっては、適宜巻末資料を参照させる。</p> <p>・プレゼンテーションの実習では、生徒どうしで相互評価させる場面も取り入れる。</p>

令和7年度 「 情報 」 年間指導計画

配当 時数	対象生徒	教科書			
35	3学年 生徒 9名	情報 I・Next 数研出版			
年間 目標	<p>(知 及 技) 効果的なコミュニケーションの方法や、身近にあるコンピュータやデータの活用について理解し、基礎的な技能を身に付けるとともに、情報社会と人との関わりについて知ることができる。(高2段階)</p> <p>(思判表力) 身近な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題を知り、問題を解決するために必要な情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養うことができる。(高2段階)</p> <p>(学・人) 身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に参画しようとする態度を養うことができる。(高2段階)</p>				
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規 準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	14	<p>(知及技) データを表現、蓄積するための基本的な表し方と、データを収集、整理、分析する基本的な方法について理解し、基礎的な技術を身につけさせる。(2段階Cア(ウ))</p> <p>(思判表力) データの収集、整理、分析及び結果の表現の基本的な方法を適切に選択し、実行し、振り返り、表現を見直すことができる。(2段階Cイ(ウ))</p> <p>(学・人) 問題解決するための必要手段について様々な視点で考えることができる。</p>	<p>(知・技) データを表現、蓄積するための基本的な表し方と、データを収集、整理、分析する基本的な方法について理解し、基礎的な技術が身につけている。</p> <p>(思・判・表) データの収集、整理、分析及び結果の表現の基本的な方法を適切に選択し、実行し、振り返り、表現を見直すことができる。</p> <p>(主学) 問題解決について関心を持っている。</p>	<p>コンピュータを使いこなそう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文書を作成してみよう 	<p>Wordを活用して、ビジネス文書作成の基礎と操作方法を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書式設定 ・フォントの配置 ・フォントサイズの変更 ・表の挿入 ・図の挿入 ・ビジネス文書基本定型 <p>教師の解説を聞きながら、一緒にソフトを操作し、操作手順とツールを理解し、基本的なビジネス文書が作成できるように促す。</p>

2 学 期	15 (知及技) データを表現、蓄積するための基本的な表し方と、データを収集、整理、分析する基本的な方法について理解し、基礎的な技術を身につけさせる。(2段階Cア(ウ)) (思判表力) データの収集、整理、分析及び結果の表現の基本的な方法を適切に選択し、実行し、振り返り、表現を見直すことができる。(2段階Cイ(ウ)) (学・人) 問題解決するための必要手段について様々な視点で考えることができる。	(知・技) データを表現、蓄積するための基本的な表し方と、データを収集、整理、分析する基本的な方法について理解し、基礎的な技術が身につけている。 (思・判・表) データの収集、整理、分析及び結果の表現の基本的な方法を適切に選択し、実行し、振り返り、表現を見直すことができる。 (主学) 問題解決について関心を持っている。	情報を整理して伝えよう ・データを分析してみよう	Excelを活用し基本の操作方法を理解する。 ・書式設定 ・データの入力 ・罫線 ・四則演算 ・計算式のコピー ・グラフの作成 ・データの並べ替え 教師の解説を聞きながら、一緒にソフトを操作し、操作手順とツールを理解し、基本的なデータ入力と操作ができるように促す。
3 学 期	6 (知及技) データを表現、蓄積するための基本的な表し方と、データを収集、整理、分析する基本的な方法について理解し、基礎的な技術を身につけさせる。(2段階Cア(ウ)) (思判表力) データの収集、整理、分析及び結果の表現の基本的な方法を適切に選択し、実行し、振り返り、表現を見直すことができる。(2段階Cイ(ウ)) (学・人) 問題解決するための必要手段について様々な視点で考えることができる。	(知・技) データを表現、蓄積するための基本的な表し方と、データを収集、整理、分析する基本的な方法について理解し、基礎的な技術が身につけている。 (思・判・表) データの収集、整理、分析及び結果の表現の基本的な方法を適切に選択し、実行し、振り返り、表現を見直すことができる。 (主学) 問題解決について関心を持っている。	情報を整理して伝えよう ・情報をわかりやすく伝えよう	PowerPointを活用し基本の操作方法を理解する。 ・書式設定 ・スライドの入力、追加 ・レイアウトの選択 ・テキストの編集 ・アニメーションの設定 ・スライドショーの実行 教師の解説を聞きながら、一緒にソフトを操作し、操作手順とツールを理解し、基本的なデータ入力と操作ができるように促す。

令和8年度 「農園芸」 年間指導計画

配当 時数	対象生徒	教科書
105	1学年 生徒10名	なし

年間 目標	<p>(知及技) 農業に関することについて理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 (思判表力) 農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観をふまえ課題を解決する力を養う。 (学・人) 職業人として必要な豊かな人間性を育み、社会的・職業的自立に向けた資質・能力を身に付けていける。</p>				
----------	---	--	--	--	--

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	26	<p>(知及技) 刈払機を使って除草作業ができる。 耕運機を使って耕運ができる。 (思判表力) 販売学習時、その場にふさわしい接客ができる。 (学・人) 指示を理解し主体的に考えて行動できる。</p>	<p>(知・技) 刈払機を使って除草作業ができています。 耕運機を使うことができます。 (思・判・表) その場や役割に応じた立ち振る舞いができている。 (学・人) 指示を理解し主体的に考え、行動ができています。</p>	<p>農業機械 野菜 草花</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・校内の除草作業 ・種まき ・苗作り ・定植前の耕運、施肥 ・定植 ・農場管理（灌水作業、追肥、誘引、摘花、摘葉、収穫作業） ・施設見学 ・販売学習 ・校外学習(施設棟見学)
2 学期	30	<p>(知及技) 発芽条件や生育条件について知ることができる。 (思判表力) 1時間程度、刈払機を使うことができる。 (学・人) 台風対策を主体的に考えて作業ができる。</p>	<p>(知・技) 発芽条件や生育条件について理解している。 (思・判・表) 適宜休憩を取りながら作業を続けることができます。 (主学) 台風情報で風の予測を立て作業ができています。</p>	<p>野菜 草花 沖縄の栽培暦 農業機械 台風について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・校内の除草作業 ・種まき ・苗作り ・定植前の耕運、施肥 ・定植 ・農場管理（灌水作業、追肥、誘引、摘花、摘葉、収穫作業） ・販売学習 ・校外学習(施設等見学)
3 学期	14	<p>(知及技) 栽培暦から季節の野菜や草花を知ることができる。 (思判表力) 販売学習時に相手に分かりやすく説明できる。 (学・人) 栽培暦を見て1年を振り返り、次に育てる植物を決めることができる。</p>	<p>(知・技) 季節の野菜や草花を知ることができる。 (思・判・表) 接客時に相手に分かりやすいように説明できている。 (主学) 振り返りし見通しを立てることができている。</p>	<p>野菜 草花 沖縄の栽培暦 農業機械</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・校内の除草作業 ・定植前の耕運、施肥 ・定植 ・農場管理（灌水作業、追肥、誘引、摘花、摘葉、収穫作業） ・販売学習 ・校外学習(施設棟見学)

令和8年度 「農園芸」 年間指導計画

配当 時数	対象生徒	教科書			
2年 210 3年 210	2・3学年 生徒 10名	なし			
年間 目標	<p>(知及技) 農業に関することについて理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。</p> <p>(思判表力) 農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観をふまえ課題を解決する力を養う。</p> <p>(学・人) 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい者気合いの構造を目指して自ら学び、社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。</p>				
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	65	<p>(知及技) 刈払機を使って除草作業ができる。 耕運機を使って耕運ができる。</p> <p>(思判表力) 販売学習時、その場にふさわしい接客ができる。</p> <p>(学・人) 指示を理解し主体的に考えて行動できる。</p>	<p>(知・技) 刈払機を使って除草作業ができている。 耕運機を使うことができている。</p> <p>(思・判・表) その場や役割に応じた立ち振る舞いができている。</p> <p>(学・人) 指示を理解し主体的に考え、行動できている。</p>	<p>農業機械</p> <p>野菜</p> <p>草花</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・校内の除草作業 ・種まき ・苗作り ・定植前の耕運、施肥 ・定植 ・農場管理（灌水作業、追肥、誘引、摘花、摘葉、収穫作業） ・販売学習 ・校外学習(施設棟見学)
2 学期	75	<p>(知及技) 発芽条件や生育条件について知ることができる。</p> <p>(思判表力) 1時間程度、刈払機を使うことができる。</p> <p>(学・人) 台風対策を主体的に考えて作業ができる。</p>	<p>(知・技) 発芽条件や生育条件について理解している。</p> <p>(思・判・表) 適宜休憩を取りながら作業を続けることができている。</p> <p>(主学) 台風情報で風の予測を立て作業ができている</p>	<p>野菜</p> <p>草花</p> <p>沖縄の栽培暦</p> <p>農業機械</p> <p>台風について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・校内の除草作業 ・種まき ・苗作り ・定植前の耕運、施肥 ・定植 ・農場管理（灌水作業、追肥、誘引、摘花、摘葉、収穫作業） ・販売学習 ・校外学習(施設棟見学)
3 学期	35	<p>(知及技) 栽培暦から季節の野菜や草花を知ることができる。</p> <p>(思判表力) 販売学習時に相手に分かりやすく説明できる。</p> <p>(学・人) 栽培暦を見て1年を振り返り次の植物を決めることができる。</p>	<p>(知・技) 季節の野菜や草花を知ることができる。</p> <p>(思・判・表) 接客時に相手に分かりやすいように説明できている。</p> <p>(主学) 振り返りし見通しを立てることができている。</p>	<p>野菜</p> <p>草花</p> <p>沖縄の栽培暦</p> <p>農業機械</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・校内の除草作業 ・定植前の耕運、施肥 ・定植 ・農場管理（灌水作業、追肥、誘引、摘花、摘葉、収穫作業） ・販売学習 ・校外学習(施設棟見学)

令和8年度 「食品加工」 年間指導計画

配当 時数	対象生徒	教科書			
105	1 学年 生徒 10 名	なし			
年間 目標		<p>(知及技) 食品加工および食品衛生についての基本的な知識や技術を身につけることができる。</p> <p>(思判表力) 働くために必要な力や課題を発見し、課題解決の方法を考えることができる。</p> <p>(学・人) 積極的にコミュニケーションを取り、互いの良さを生かして協働することができる。</p>			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価基準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	36	(知及技) 食品加工および食品衛生についての基本的な知識や技術を身につけることができる。	(知・技) マフィンやスコーン等を手順通りに製造することができる (思・判・表) 授業毎の目標を設定し、授業に臨むことができる (主学) 報告、質問、連絡を意識して活動することができる。	オリエンテーション 焼き菓子の製造 マフィン スコーン スノーボールクッキー パンの製造 丸パン メロンパン	食品衛生について 身だしなみについて 実習室、器具や機材の使い方について 清掃と収納の仕方 焼き菓子等の製造工程 包装、食品表示について
2 学期	45	(思判表力) 働くために必要な力や自己の課題を発見し、課題解決の方法を考えることができる。 (学・人) 積極的にコミュニケーションを取り、お互いの良さを生かして協働することができる。	(知・技) パン、惣菜等の製造の手順を理解し、取り組むことができる。 (思・判・表) 自己の課題を意識して授業に臨むことができる。 (主学) コミュニケーションを取り、協働ができる。	焼き菓子の製造 マフィン スコーン パンの製造 調理パン 菓子パン 商品の包装、表示について 生産物販売	食品衛生について 焼き菓子の原材料、調理器具について 焼き菓子、パンの製造工程 包装、食品表示について 製造から販売までの行程
3 学期	24	(学・人) 積極的にコミュニケーションを取り、お互いの良さを生かして協働することができる。	(知・技) 焼き菓子、パンの原材料、製造工程について知ることができる。 (思・判・表) 振り返りを行い、自身の成果と課題を確認することができる。 (主学) お互いの良い点を知り、主体的にコミュニケーションを取ることができる。	新商品開発 焼き菓子 惣菜 パン 生産物販売 1 年間の学習の振り返り	原材料、調理方法の振り返り 製造から販売までの行程 新商品のイメージを膨らませる 試作、材料、製造行程の見直し、調整 原価計算 一年間の振り返り

令和8年度 「コース・食品加工」 年間指導計画

配当 時数		対象生徒	教科書		
2年(210) 3年(210)		2・3学年 生徒10名	なし		
年間 目標		<p>(知及技)食品加工および食品衛生についての基本的な知識や技術を身につけることができる。</p> <p>(思判表力)働くために必要な力や課題を発見し、課題解決の方法を考えることができる。</p> <p>(学・人)積極的にコミュニケーションを取り、互いの良さを生かして協働することができる。</p>			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価基準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	78	(知及技)食品加工および食品衛生についての基本的な知識や技術を身につけることができる。	(知・技) マフィンやスコーン等を手順通りに製造することができる (思・判・表)授業毎の目標を設定し、授業に臨むことができる (主学) 報告、質問、連絡を意識して活動することができる。	オリエンテーション 焼き菓子の製造 マフィン スコーン スノーボールクッキー パンの製造 丸パン メロンパン	食品衛生について 身だしなみについて 実習室、器具や機材の使い方について 清掃と収納の仕方 焼き菓子等の製造工程 包装、食品表示について
2 学期	90	(思判表力)働くために必要な力や自己の課題を発見し、課題解決の方法を考えることができる。 (学・人)積極的にコミュニケーションを取り、お互いの良さを生かして協働することができる。	(知・技)パン、惣菜等の製造の手順を理解し、取り組むことができる。 (思・判・表)自己の課題を意識して授業に臨むことができる。 (主学) コミュニケーションを取り、協働ができる。	焼き菓子の製造 マフィン スコーン パンの製造 調理パン 菓子パン 商品の包装、表示について 生産物販売	食品衛生について 焼き菓子の原材料、調理器具について 焼き菓子、パンの製造工程 包装、食品表示について 製造から販売までの行程
3 学期	42		(知・技)焼き菓子、パンの原材料、製造工程について知ることができる。 (思・判・表)振り返りを行い、自身の成果と課題を確認することができる。 (主学)お互いの良い点を知り、主体的にコミュニケーションを取ることができる。	新商品開発 焼き菓子 惣菜 パン 生産物販売 1年間の学習の振り返り	原材料、調理方法の振り返り 製造から販売までの行程 新商品のイメージを膨らませる 試作、材料、製造行程の見直し、調整 原価計算 一年間の振り返り

令和8年度 「トータルクリーンサービス」 年間指導計画					
配当 時数	対象生徒		教科書		
70	1学年 生徒10名		なし		
年間目標					
<p>(知及技) 清掃に関することについて理解するとともに、関連する技術を身につけることができる。 【流通・サービス1(1)】</p> <p>(思判表力) 清掃に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ課題を解決する力を養うことができる。【流通・サービス1(2)】</p> <p>(学・人) 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養うことができる。【流通・サービス1(3)】</p>					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価基準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	26	<p>(知及技) ・ 勤労の意義を理解することができる。 【職業2段階(2)A ア(ア)】</p> <p>(思判表力) ・ 意欲や見通しを持って取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現することができる。 【職業2段階(2)A ア(イ)】</p> <p>(学・人) ・ 作業や実習等に達成感を得て、計画性を持って主体的に取り組むことができる。 【職業2段階(2)A ア(ウ)】</p>	<p>(知・技) ・ 勤労の意義を理解している。</p> <p>(思・判・表) ・ 意欲や見通しを持って取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現することができる。</p> <p>(主学) ・ 作業や実習等に達成感を得て、計画性を持って主体的に取り組むことができる。</p>	<p>・ トータルクリーンサービスとは</p> <p>・ クリーンクルーの心得</p> <p>・ 校内の美化</p> <p>・ 清掃用具の取り扱い</p>	<p>・ 人としてたいせつな「挨拶」「掃除」「素直」の3点を踏まえ、清掃の意義について確認する</p> <p>・ 働く意義とトータルクリーンサービスとはについて確認する</p> <p>・ モイストチュアリント、スクイジー等清掃用具の使い方について確認する。</p>

2 学 期	30	<p>(知及技) ・使用する道具や機械等の特性や扱い方を理解し、作業課題に応じて正しく扱うことができる。【職業2段階(2)Aイ(ア)㊥】</p> <p>(思判表力) ・作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、改善を図ることができる。【職業2段階(2)Aイ(イ)㊷】</p> <p>(学・人) ・よりよい職業生活の実現に向けて、どのようなことに気をつけたらよいか考えることができる。【職業2段階(2)Aイ(イ)㊸】</p>	<p>(知・技) ・使用する道具や機械等の特性や扱い方を理解し、作業課題に応じて正しく扱うことができている。</p> <p>(思・判・表) ・作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、改善を図ることができる。</p> <p>(主学) ・よりよい職業生活の実現に向けて、どのようなことに気をつけたらよいか考えることができている。</p>	<p>・校内の美化、環境整備</p> <p>・地域貢献活動</p>	<p>・校内の清掃、緑化等に取り組む</p> <p>・老健施設「東風の里」の美化活動に取り組む</p> <p>・技能検定における資格取得にむけて練習に取り組む</p>
3 学 期	14	<p>(知及技) ・使用する道具や機械等の特性や扱い方を理解し、作業課題に応じて正しく扱うことができる。【職業2段階(2)Aイ(ア)㊥】</p> <p>(思判表力) ・作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、改善を図ることができる。【職業2段階(2)Aイ(イ)㊷】</p> <p>(学・人) ・よりよい職業生活の実現に向けて、どのようなことに気をつけたらよいか考えることができる。【職業2段階(2)Aイ(イ)㊸】</p>	<p>(知・技) ・使用する道具や機械等の特性や扱い方を理解し、作業課題に応じて正しく扱うことができている。</p> <p>(思・判・表) ・作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、改善を図ることができる。</p> <p>(主学) ・よりよい職業生活の実現に向けて、どのようなことに気をつけたらよいか考えることができている。</p>	<p>・校内の美化、環境整備</p> <p>・洗車</p> <p>・ベッドメイキングにふれてみよう</p>	<p>・校内の清掃、緑化等に取り組む</p> <p>・職員の洗車に取り組む</p> <p>・技能検定における資格取得にむけて練習に取り組む</p> <p>・ホテル等でのベッドメイキングができるよう練習に取り組む</p>

令和8年度 「トータルクリーンサービス」 年間指導計画					
配当 時数	対象生徒		教科書		
2年 175 3年 175	2・3学年 生徒10名		なし		
年間 目標	<p>(知及技) 清掃に関することについて理解するとともに、関連する技術を身につけることができる。 【流通・サービス1(1)】</p> <p>(思判表力) 清掃に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ課題を解決する力を養うことができる。【流通・サービス1(2)】</p> <p>(学・人) 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養うことができる。【流通・サービス1(3)】</p>				
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価基準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	2 年 65 3 年 65	<p>(知及技) ・ 勤労の意義を理解することができる。 【職業1段階(2)A ア(ア)】</p> <p>(思判表力) ・ 意欲や見通しを持って取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現することができる。 【職業1段階(2)A ア(イ)】</p> <p>(学・人) ・ 作業や実習等に達成感を得て、計画性を持って主体的に取り組むことができる。 【職業1段階(2)A ア(ウ)】</p>	<p>(知・技) ・ 勤労の意義を理解している。</p> <p>(思・判・表) ・ 意欲や見通しを持って取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現することができる。</p> <p>(主学) ・ 作業や実習等に達成感を得て、計画性を持って主体的に取り組むことができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ トータルクリーンサービスとは ・ クリーンクルーの心得 ・ 清掃用具の取り扱い ・ 校内外の美化・環境整備 ・ 洗車をマスターしよう ・ 地域貢献活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人としてたいせつな「挨拶」「掃除」「素直」の3点を踏まえ、清掃の意義について確認する ・ 働く意義とトータルクリーンサービスとはについて確認する ・ モイストチュアリント、スクイジー等清掃用具の使い方について確認する。 ・ 校内外の清掃、緑化等に取り組む ・ 学校車や職員の車の洗車に取り組む ・ 老健施設「東風の里」の美化活動に取り組む

2 学 期	2 年 75	<p>(知及技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使用する道具や機械等の特性や扱い方を理解し、作業課題に応じて正しく扱うことができる。【職業1段階(2)Aイ(ア)㊥】 	<p>(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使用する道具や機械等の特性や扱い方を理解し、作業課題に応じて正しく扱うことができている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校内外の美化、環境整備 ・洗車をマスターしよう ・地域貢献活動 ・技能検定1級を取得しよう ・ベッドメイキングをマスターしよう 	<ul style="list-style-type: none"> ・校内外の清掃、緑化等に取り組む ・学校車や職員の車の洗車に取り組む ・老健施設「東風の里」の美化活動に取り組む ・技能検定における資格取得にむけて練習に取り組む ・ホテル等でのベッドメイキングができるよう練習に取り組む
	3 年 75	<p>(思判表力)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、改善を図ることができる。【職業1段階(2)Aイ(イ)㊷】 <p>(学・人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よりよい職業生活の実現に向けて、どのようなことに気をつけたらよいか考えることができる。【職業1段階(2)Aイ(イ)㊥】 	<p>(思・判・表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、改善を図ることができる。 <p>(主学)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よりよい職業生活の実現に向けて、どのようなことに気をつけたらよいか考えることができている。 		
3 学 期	2 年 35	<p>(知及技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使用する道具や機械等の特性や扱い方を理解し、作業課題に応じて正しく扱うことができる。【職業1段階(2)Aイ(ア)㊥】 	<p>(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使用する道具や機械等の特性や扱い方を理解し、作業課題に応じて正しく扱うことができている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校内の美化、環境整備 ・洗車をマスターしよう ・地域貢献活動 ・技能検定1級を取得しよう ・ベッドメイキングをマスターしよう 	<ul style="list-style-type: none"> ・校内外の清掃、緑化等に取り組む ・学校車や職員の車の洗車に取り組む ・老健施設「東風の里」の美化活動に取り組む ・技能検定における資格取得にむけて練習に取り組む ・ホテル等でのベッドメイキングができるよう練習に取り組む
	3 年 35	<p>(思判表力)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、改善を図ることができる。【職業1段階(2)Aイ(イ)㊷】 <p>(学・人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よりよい職業生活の実現に向けて、どのようなことに気をつけたらよいか考えることができる。【職業1段階(2)Aイ(イ)㊥】 	<p>(思・判・表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、改善を図ることができる。 <p>(主学)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よりよい職業生活の実現に向けて、どのようなことに気をつけたらよいか考えることができている。 		

令和8年度 「流通・サービス（接客・販売）」 年間指導計画					
配当 時数	対象生徒		教科書		
70	1学年 生徒10名		なし		
年間 目標	<p>(知及技) 接客・販売に関することについて理解するとともに、関連する技術を身につけることができる。 【流通・サービス1(1)】</p> <p>(思判表力) 接客・販売に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ課題を解決する力を養うことができる。【流通・サービス1(2)】</p> <p>(学・人) 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養うことができる。【流通・サービス1(3)】</p>				
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	26	<p>(知及技) ・ 勤労の意義を理解することができる。 【職業2段階(2)Aア(ア)】</p> <p>(思判表力) ・ 意欲や見通しを持って取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現することができる。 【職業2段階(2)Aア(イ)】</p> <p>(学・人) ・ 作業や実習等に達成感を得て、計画性を持って主体的に取り組むことができる。 【職業2段階(2)Aア(ウ)】</p>	<p>(知・技) ・ 勤労の意義を理解している。</p> <p>(思・判・表) ・ 意欲や見通しを持って取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現することができる。</p> <p>(主学) ・ 作業や実習等に達成感を得て、計画性を持って主体的に取り組むことができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ オリエンテーション ・ カフェ視察 ・ ドリンク試飲 ・ 接客マナーと実践練習 ・ 販売学習 (校内外販売) ・ デリバリーCAFÉ ・ 施設見学 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 接客・販売でたいせつな「挨拶」「清潔」「身だしなみ」「気遣い」「素直」の5点を踏まえ、サービスの意義について確認する。 ・ 実際に接客サービスを体験して意識を高め、接客を行うイメージを持つ。 ・ 客層を設定しドリンクを作成し、試飲する。 ・ 身だしなみチェック ・ 接客用語の唱和 ・ 笑顔の作り方の練習 ・ 接客の流れのロールプレイ ・ 会場設営 ・ 商品や用具の仕入れ(校外への買い物学習) ・ ドリンク作成 ・ 接客実践・会計 ・ 片付け ・ 工場や商業施設を見学する。

2 学 期	30	<p>(知及技) ・使用する道具や機械等の特性や扱い方を理解し、作業課題に応じて正しく扱うことができる。【職業2段階(2)Aイ(ア)㊥】</p> <p>(思判表力) ・作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、改善を図ることができる。【職業2段階(2)Aイ(イ)㊷】</p> <p>(学・人) ・よりよい職業生活の実現に向けて、どのようなことに気をつけたらよいか考えることができる。【職業2段階(2)Aイ(イ)㊸】</p>	<p>(知・技) ・使用する道具や機械等の特性や扱い方を理解し、作業課題に応じて正しく扱うことができている。</p> <p>(思・判・表) ・作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、改善を図ることができる。</p> <p>(主学) ・よりよい職業生活の実現に向けて、どのようなことに気をつけたらよいか考えることができている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ドリンク試飲 ・接客マナーと実践練習 ・販売学習 (校内外販売) ・デリバリーCAFÉ ・施設見学 	<ul style="list-style-type: none"> ・客層を設定しドリンクを作成し、試飲する。 ・身だしなみチェック ・接客用語の唱和 ・笑顔の作り方の練習 ・接客の流れのロールプレイ ・会場設営 ・商品や用具の仕入れ(校外への買い物学習) ・ドリンク作成 ・接客実践 ・会計 ・片付け ・工場や商業施設を見学する。
3 学 期	14	<p>(知及技) ・使用する道具や機械等の特性や扱い方を理解し、作業課題に応じて正しく扱うことができる。【職業2段階(2)Aイ(ア)㊥】</p> <p>(思判表力) ・作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、改善を図ることができる。【職業2段階(2)Aイ(イ)㊷】</p> <p>(学・人) ・よりよい職業生活の実現に向けて、どのようなことに気をつけたらよいか考えることができる。【職業2段階(2)Aイ(イ)㊸】</p>	<p>(知・技) ・使用する道具や機械等の特性や扱い方を理解し、作業課題に応じて正しく扱うことができている。</p> <p>(思・判・表) ・作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、改善を図ることができる。</p> <p>(主学) ・よりよい職業生活の実現に向けて、どのようなことに気をつけたらよいか考えることができている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ドリンク試飲 ・接客マナーと実践練習 ・販売学習 (校内外販売) ・デリバリーCAFÉ ・施設見学 	<ul style="list-style-type: none"> ・客層を設定しドリンクを作成し、試飲する。 ・身だしなみチェック ・接客用語の唱和 ・笑顔の作り方の練習 ・接客の流れのロールプレイ ・会場設営 ・商品や用具の仕入れ(校外への買い物学習) ・ドリンク作成 ・接客実践 ・会計 ・片付け ・工場や商業施設を見学する。

令和8年度 「流通・サービス（接客・販売）」 年間指導計画					
配当 時数	対象生徒		教科書		
210	2・3 学年生徒 10 名		なし		
<p>年間 目標</p> <p>(知及技) 接客に関することについて理解するとともに、関連する技術を身につけることができる。 【流通・サービス1(1)】</p> <p>(思判表力) 接客に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ課題を解決する力を養うことができる。【流通・サービス1(2)】</p> <p>(学・人) 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養うことができる。【流通・サービス1(3)】</p>					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	78	<p>(知及技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 勤労の意義を理解することができる。 <p>【職業1段階(2)A ア (ア)】</p> <p>(思判表力)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 意欲や見通しを持って取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現することができる。 <p>【職業1段階(2)A ア (イ)】</p> <p>(学・人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 作業や実習等に達成感を得て、計画性を持って主体的に取り組むことができる。 <p>【職業1段階(2)A ア (ウ)】</p>	<p>(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 勤労の意義を理解している。 <p>(思・判・表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 意欲や見通しを持って取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現することができる。 <p>(主学)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 作業や実習等に達成感を得て、計画性を持って主体的に取り組むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ オリエンテーション ・ カフェオープンに向けて ・ メニュー考案 ・ 仕入れ先選定 ・ 店内装飾 ・ レイアウト ・ 用具等準備 ・ 役割分担 ・ 接客マナーと実践練習 ・ 販売実習 (校内外販売) ・ 施設見学 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 接客に大切な「挨拶」「身だしなみ」「立ち振る舞い」等の確認をする。 ・ テーブル配置等のレイアウト、店内装飾。 ・ 用具搬入。 ・ メニューの選定。 ・ メニューや看板等の作成。 ・ 商品仕入れ。 ・ 在庫確認と買い出し。 ・ 流れの確認と実践練習。 ・ 身だしなみを整える。 ・ 接客用語を唱和する。 ・ 接客の流れのロールプレイをする。 ・ 在庫確認と買い出し。 ・ 校内、校外の学校、商業施設等地域社会の中で販売・接客サービスを行なう。 ・ 工場や商業施設を見学する。

2 学 期	90	<p>(知及技) ・使用する道具や機械等の特性や扱い方を理解し、作業課題に応じて正しく扱うことができる。【職業1段階(2)Aイ(ア)㊥】</p> <p>(思判表力) ・作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、改善を図ることができる。【職業1段階(2)Aイ(イ)㊷】</p> <p>(学・人) ・よりよい職業生活の実現に向けて、どのようなことに気をつけたらよいか考えることができる。【職業1段階(2)Aイ(イ)㊸】</p>	<p>(知・技) ・使用する道具や機械等の特性や扱い方を理解し、作業課題に応じて正しく扱うことができている。</p> <p>(思・判・表) ・作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、改善を図ることができる。</p> <p>(主学) ・よりよい職業生活の実現に向けて、どのようなことに気をつけたらよいか考えることができている。</p>	<p>・接客マナーと実践練習</p> <p>・販売実習 (校内外販売)</p> <p>・施設見学</p>	<p>・身だしなみを整える。 ・接客用語を唱和する。 ・笑顔の作り方の練習をする。 ・接客の流れのロールプレイをする。 ・商品仕入れ。 ・在庫確認と買い出し。 ・おもてなしの心をもって、気持の良い接客サービスをする。</p> <p>・校内、校外の学校、商業施設等地域社会の中で販売・接客サービスを行なう。</p> <p>・工場見学や商業施設を見学する。</p>
3 学 期	42	<p>(知及技) ・使用する道具や機械等の特性や扱い方を理解し、作業課題に応じて正しく扱うことができる。【職業1段階(2)Aイ(ア)㊥】</p> <p>(思判表力) ・作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、改善を図ることができる。【職業1段階(2)Aイ(イ)㊷】</p> <p>(学・人) ・よりよい職業生活の実現に向けて、どのようなことに気をつけたらよいか考えることができる。【職業1段階(2)Aイ(イ)㊸】</p>	<p>(知・技) ・使用する道具や機械等の特性や扱い方を理解し、作業課題に応じて正しく扱うことができている。</p> <p>(思・判・表) ・作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、改善を図ることができる。</p> <p>(主学) ・よりよい職業生活の実現に向けて、どのようなことに気をつけたらよいか考えることができている。</p>	<p>・接客マナーと実践練習</p> <p>・販売実習 (校内外販売)</p> <p>・施設見学</p>	<p>・身だしなみを整える。 ・接客用語を唱和する。 ・笑顔の作り方の練習をする。 ・接客の流れのロールプレイをする。 ・商品仕入れ。 ・在庫確認と買い出し。 ・おもてなしの心をもって、気持の良い接客サービスをする。</p> <p>・校内、校外の学校、商業施設等地域社会の中で販売・接客サービスを行なう。</p> <p>・工場見学や商業施設を見学する。</p>

令和8年度 「流通・サービス（課題研究）」 年間指導計画

配当 時数	対象生徒	教科書			
70	1学年 生徒10名	なし			
年間 目標	<p>(知及技)流通やサービスに関することについて理解するとともに、インターンシップに関連する知識や技術を身に付けるようにする。</p> <p>(思判表力)流通業やサービス業に関する課題をインターンシップなどの実習を通して発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ課題を解決する力を養う。</p> <p>(学・人)職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。</p>				
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	26	<p>(知及技) 私たちの生活に身近なビジネスを知り、流通やサービスについて理解するとともに、流通業やサービス業の基礎を学ぶ。</p> <p>(思判表力) 私たちが生活する社会の中で流通やサービスに関わるビジネスを考え、流通業やサービス業の意義や役割についても考えることができる。</p> <p>(学・人) 日本における社会の課題を発見し、ビジネスがどのように解決しているか具体的な活動を考えることができる。</p> <p>(知及技) インターンシップを行うことを踏まえ、その意義や目的、心構えについて学ぶ。</p> <p>(思判表力) 社会人として必要とされるマナーを考えることができる。</p>	<p>(知・技) 身近なビジネスと流通業やサービス業を関連付けて理解している。</p> <p>(思・判・表) 社会の仕組みにおける流通・サービスの意義や役割について理解し、ビジネスにおける重要性について考えることができる。</p> <p>(主学) 日本における社会の課題解決に向けて自身で行動できることを考察し、ビジネスとして解決する方向性を協働的にまとめることができる。</p> <p>(知・技) インターンシップの目的について理解し、自分のこととして捉えることができる。</p> <p>(思・判・表) 社会人としてのビジネスマナーを考えて発表することができる。</p>	<p>流通業やサービス業の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・流通業やサービス業の意義と役割 ・流通業やサービス業の基礎 ・事務機器、機械や道具、コンピュータ等の情報機器の取り扱い <p>インターンシップとは</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップの意義 ・インターンシップの目的 	<p>資料教材を基に作成したワークシートに資料教材を見ながら記入する。 記入した答えを黒板に書いてもらい、それで答え合わせをしていく。</p> <p>解説はICT機器等を使用して視覚的にイメージできるようにし、それを見て学習内容をさらに理解する。</p> <p>グループでの活動を取り入れてお互いの意見を伝え、よりよい考えとしてまとめていく。</p> <p>日本における社会の課題を挙げさせて、それを解決するための方法を全員で考える。</p> <p>インターンシップについてワークシートに記入して確認する。</p> <p>生徒自身の長所・短所を考えさせ、職業の適性を自分なりに考えていけるようにする。</p>

			<p>(主学) インターンシップに向けて必要なビジネスマナーを身に付けようと取り組んでいる。</p> <p>評価方法 ・ワークシート ・授業観察 ・定期テスト</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップの心構え ・よりよいコミュニケーション ・言葉遣いと話し方や聞き方 	<p>コミュニケーションをとるために大切なことは何かを考える。</p> <p>丁寧な言葉遣いをしているか振り返り、そこから話し方や聞き方のマナーを学習する。</p>
2 学 期	30	<p>(知及技) 社会人としてお客さまを迎える際の留意点を学ぶ。</p> <p>(思判表力) 自分がお客さまの立場になって、よりよい来客応対について考えることができる。</p> <p>(学・人) お客さまを迎える立場でお客さまを迎える心構え、接遇の基本的な流れを身に付けることができる。</p> <p>(知及技) インターンシップの重要性を理解し、実習における心構えや基本的マナーについて具体的に学ぶ。</p> <p>(思判表力) 実習における留意点を自分なりに考え、確認する。また、実習後の振り返りを行い、今後の行動について考えることができる。</p> <p>(学・人) 実習におけるマナーや身だしなみ、上司や同僚に対する態度を身に付ける。実習後の</p>	<p>(知・技) お客さまを迎える際の心構えについて理解し、実際の流れと関連付けて考えることができる。</p> <p>(思・判・表) お客さまを迎える際のマナーについて具体的に発表することが出来る。</p> <p>(主学) 来客応対の接遇について実践できるように、技術を身に付けようと取り組んでいる。</p> <p>(知・技) インターンシップを実施するねらいを理解し、実施前に基本的なビジネスマナーや身だしなみについて考える。</p> <p>(思・判・表) 実習における心構えを考え、実習中の行動で良いこと、悪いことを自分のこととして考えることができる。実習後は、実際の行動について振り返り、自己評価することができる。</p> <p>(主学) 実習に向けて必要なビ</p>	<p>来客応対</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お客さまを迎える心構え ・基本的接遇の流れ ・接遇の実践 <p>インターンシップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習の重要性 ・実習での心構え ・マナーと身だしなみ ・接客用語の復唱とお辞儀 ・実習における留意事項 ・上司や同僚への態度やコ 	<p>お客さまの立場で、どのような接客をされると気持ちよく受けることができるか考える。</p> <p>お客さまを迎える際に大切な心構えをワークシートで確認し、実際にそのような接客をされたことがあるか発表する。</p> <p>ペアを組み、接客をする側、受ける側でデモンストレーションし、お互いの受けた感じを伝え合う。そこから、よりよい接遇について全員で考える。</p> <p>接客用語を復唱しながらお辞儀の角度を意識するために練習する。</p> <p>身だしなみについて自分自身で確認するとともに、お互いの身だしなみをチェックする。</p> <p>正しい言葉遣いについて、具体的事例を用いながら確認し、言葉遣いに留意することを学習する。</p> <p>職場でのルールを解説し、上司や同僚に対する態度や接し方についても学習する。</p> <p>実習後には振り返りを行</p>

		<p>振り返りで、次のインターンシップで改善点を見つけることができる。</p>	<p>ビジネスマナーを身に付け、身だしなみや言葉遣いについても習得している。</p> <p>評価方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・授業観察子 ・定期テスト 	<p>コミュニケーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習の振り返り 	<p>い、学習した内容が実践できたか自己評価する。</p> <p>各単元で映像教材を見せ、具体的な行動について視覚的にイメージできるように学習する。</p>
3 学期	14	<p>(知及技) 実習を振り返り、インターンシップの目的を再確認し、その重要性を考える。</p> <p>(思判表力) 実習の自己評価を行い、良かった点や改善点などを具体的に挙げるができる。</p> <p>(学・人) 今後のインターンシップや進路選択に活かすための自分の行動について考え、報告会に向けて取り組むことができる。プレゼンテーションで分かりやすく相手に伝えるためにスライド作成を工夫することができる。</p>	<p>(知・技) 実習を振り返って、その目的や重要性について理解を深めている。</p> <p>(思・判・表) 実習中の自己の言動や態度等について自己評価し、良かった点、反省点、気をつけた点など評価項目について具体的に表現することができる。</p> <p>(主学) 報告会で相手に分かりやすく伝えるために考えて取り組むことができる。自己の適性を踏まえ、進路選択について考えることができる。</p> <p>評価方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・授業観察 ・実習の評価 ・報告内容 	<p>インターンシップ事後学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己評価 ・報告書作成 ・報告会準備 ・報告会 ・次回のインターンシップに向けて ・進路選択を考える ・1年間のまとめ 	<p>実習中の日誌を見ながら、実習における自己の行動について振り返り、ワークシートにまとめ、報告書を作成する。</p> <p>プレゼンテーションソフトを活用し、報告会で相手に分かりやすく発表できるようにレイアウトを考えながら作成する。</p> <p>発表の練習を行い、言葉の使い方や話すスピードにも留意しながら本番に向けて準備する。</p> <p>報告会でお互いの発表について感じたことを出し合い、次回の報告会に向けてどのようなプレゼンテーションがよいのか考える。</p> <p>進路について自己の適性を踏まえて考え、具体的な職種についても考える。</p>

令和 8 年度 「道徳」 年間指導計画

配当時数： 35

対象生徒： 1 学年 生徒 10 名

学期	時数	内容項目	題材名	目標	学習内容
1 学期	13	C：よりよい学校生活、集団生活の充実	道徳オリエンテーション 時を守り・場を清め・礼を正す	道徳の時間の学習内容や目標について理解することができる。 生徒心得の中にある「時を守り・場を清め・礼を正す」の3つの言葉に通じるのは「相手を思いやる・相手を大切にす気持ち」であることを理解することができる。	道徳の時間の学習内容や目標について確認する。 「時を守り・場を清め・礼を正す」の大切さを確認し、学校生活や日常生活で自分ができる例を考える。
		A：相互理解・寛容	いいところさがし	自分や友だちのよさに気づき、互いを認め合うことの大切さを理解できるようにする。	自他のよいところを考え、伝え合う活動を通して、友だちを理解し大切にす心育てる。
2 学期	14	B：親切、思いやり	親切って？ 思いやりって？	誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にすることの大切さを理解することができる。	親切や思いやりは相手の立場になり、相手のことを思っていることであり、親切や思いやりは自身の喜びや自己成長にもつながることに気づく。
		C：よりよい学校生活、集団生活の充実	より良い学校って？	先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力し合っ楽しい学級や学校を作ることの大切さを理解することができる。	よりよい学校や行きたい学校、イヤな学校や行きたくない学校の例を挙げて、よりよい学校や行きたい学校にするために自分ができることやクラスでできることについて考える。
		C：よりよい学校生活、集団生活の充実	役割って何？	さまざまな集団の中での自分の役割を自覚して集団生活の充実に努めることの大切さを理解することができる。	日直、学級委員、清掃当番などの仕事内容を確認し、学校生活の中で、それぞれが担っている役割がみんなのためになっていることに気づく。
3 学期	8	C：規則の尊重	きまりやルールについて	約束や社会のきまりの意義を理解し、それらを守ることの大切さを理解することができる。	学校や社会の中にあるきまりやルールをあげ、そのきまりやルールがどうしてあるのかを考え、きまりやルールを守ることは、自分もみんなも気持ちよく過ごすことにつながることに気づく。
		D：生命の尊さ	命って？	生命が多く生命のつながりの中にあるかけがえのないものであることを理解し、生命を尊重することの大切さを理解することができる。	命はなくなってしまうたら戻ることのできないかけがえのないものであることを確認し、生命の尊さについて理解する。また、私たちは生きていくために、他の動物や植物の命をいただいて、食材や衣服等に行っていることを確認し、他の生命の恩恵を受けていることに気づく。

令和8年度 「道徳」 年間指導計画

配当時数：35

対象生徒：2学年 生徒10名

学期	時数	内容項目	題材名	目標	学習内容
1 学期	13	A：正直、 誠実	正直って？ 誠実って？	うそをついたりごまかしをしたりしないで、過ちは素直に改め、誠実に明るい心で生活することの大切さを理解することができる。	うそをついたりごまかしたりした時の心の状態を想像し、正直・誠実に生活することが明るい心で楽しく生活できることに気づく。
		A：節度、 節制	わがまま って楽しい？	身の回りを整え、わがままをしないで、規則正しい生活することの大切さを理解することができる。	時間を守らなかったり、整理整頓をせずに散らかしている場合の例を通し、わがままはまわりの人を困らせてしまうことに気づく。
		B：感謝	「ありがとう」の大切さ	日々の生活が家族や過去からの多くの人々の支え合いや助け合いで成り立っていることに感謝し、それに応えることのできる大切さを理解することができる。	自分の家族、地域の人たちやお店で働いている人たちなど（過去に働いて社会を支えていた高齢者も含む）、たくさんの人に支えられて、今の自分がいることに気づき、まわりの人に対して感謝の気持ちを持つ。
2 学期	14	B：礼儀	気持ちのよい挨拶	気持ちのよい挨拶、言葉遣い、動作などに心掛けて、明るく接することの大切さを理解することができる。	挨拶はする方もされる方も気持ちよく、コミュニケーションの基本であり、気持ちのよい挨拶が良好な人間関係にもつながることに気づく。
		C：勤労、 公共の精神	働くって何？	働くことのできる大切さを知り、進んでみんなのために働くことのできる大切さを理解することができる。	身の回りにある職業とその仕事内容をあげて、その職業や仕事が社会でどのように役立っているかを確認し、世の中の職業や仕事が多岐にわたっていることに気づく。
		C：勤労、 公共の精神	社会の成り立ち	働くことや社会に奉仕することの意義を理解し、公共のために役に立つことのできる大切さを理解することができる。	ふだんの暮らしが、社会で多くの人たちが働いているおかげで送れていることを確認し、社会は多くの働く人たちの支え合いによって成り立っていることに気づく。
3 学期	8	C：家族愛、 家庭生活の充実	家族って何？	父母、祖父母を敬愛し、家族みんなで協力し合って楽しい家庭を作ることの大切さを理解することができる。	家族に関するうれしいことやよいこと（家族でやった楽しいことやうれしいこと、家族にしてもらっていることなど）をあげる過程を通し、家族の大切さを確認し、自分も家族を作っている一員であることに気づく。
		D：自然愛 護	自然を守る	自然の偉大さを知り、自然環境を大切にすることがあることを理解することができる。	私たちは自然環境と関わり、つながりながら、その恩恵を受けて生きていることを確認し、自然環境を守ることは、私たちの生活を豊かにすることにつながることに気づく。

令和8年度 「道徳」 年間指導計画

配当時数：35

対象生徒：3学年 生徒10名

学期	時数	内容項目	題材名	目標	学習内容
1 学期	13	A：節度、 節制	節度・節制 って何？	自分でできることは自分でやり、安全に気をつけ、よく考えて行動し、節度のある生活をする ことの大切さを理解することができる。	節度を守れなかったり、節制を心掛けられなかった自身の例をあげ、今後、どのようにすれば良いかを考える。
		A：希望 と勇気	努力する ことの大 切さ	自分でやろうと決めた目標に向かって、強い意志を持ち、粘り強くやり抜くことの大切さを理解することができる。	華々しく見える有名な人たち（スポーツ選手、芸能人、芸術家など）も、人知れない苦労や失敗もあるなか努力を重ねており、努力を続けることが未来につながることに気づく。
		B：友情、 信頼	真の友情	友達と互いに理解し、信頼し、助け合うことの大切さを理解することができる。	友達関係では、友達のことをよく理解し、信頼し合うことができる関係性が大切であり、友達だからどんなことも許すのではなく、友達だからこそ、だめなことはだめとはっきり伝えることができるのが真の友情であることに気づく。
2 学期	14	B：相互 理解、寛容	相手を理 解する	自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、相手のことを理解し、自分と異なる意見も大切にする必要があることを理解することができる。	友達であっても自分と全く同じ考えや意見を持っていないことが多いことを確認し、異なる考えや意見から新たな発見につながることに気づく。
		C：公正、 公平	公正、公平 について	誰に対しても分け隔てをせず、公正、公平な態度で接することができる。	公正、公正と平等との違いを確認し、誰に対しても分け隔てをせず、公正、公正な態度で接するためには、相手の立場や相手の目線に立つことが必要であることに気づく。
		C：国や郷 土を愛す る態度	郷土を大 切にする	我が国や郷土の伝統と文化を大切にし、国や郷土を愛する心の大切さを理解することができる。	沖縄の良いところや魅力、誇れるところをあげて、それを守ったり大切にするためにできることや必要なことを考える。
3 学期	8	C：国際理 解	国際理解 について	他国の人々や文化に親しみ、関心を持つことの大切さを理解することができる。	いろいろな国の文化や習慣の違いを確認し、文化や習慣はそれぞれ国の人々の暮らしの長い歴史の中で作られてきたものであり、尊重しなければならないことに気づく。
		D：よりよ く生きる 喜び	大人にな るって何？	よりよく生きようとする人間の強さや気高さを理解し、人間として生きる喜びを感じる ことの大切さを理解することができる。	「どうなったら大人？」「いい大人って？」「かっこいい大人って？」について例を挙げ、そうなるにはどうすればよいかを考え、そのような大人になることは自身の喜びにもつながることに気づく。

年間指導計画 第1学年「LHR活動」 週時数(1時間)

月	時数	題材名	目標	主な内容
4月		学級びらき	① 新しい環境に慣れ、学校のルールや校則を知る ② 学級整備(掲示物作成や係、委員、目標決め等)を通して仲間を意識し、自主的活動ができる学級作りを目指す	○担任、生徒の自己紹介 ○話し合い活動(学級目標の設定) ○個人目標の設定
		将来に向けて見通しをもとう (キャリア・パスポートの活用)	① 高校生活で身につけてほしい4つの力を理解する ② 1年間で伸ばしたい力を確認する	○4つの力の確認 ○この1年特に頑張りたいことの決定と記入
		新入生歓迎球技大会に向けて	① 新入生歓迎球技大会のねらいや意義を知る ② 学級旗制作を通して、仲間意識を育む	○実施方法やルールの確認 ○みんなで協力してクラスシャツや学級旗のデザインを考え、制作する
		野外学習に向けて	① 野外学習のねらいや意義を知る ② 学年レクについて話し合う	○ねらいや日程等の確認 ○レクについての確認
5月	11	生活リズムを見直そう	① 自分の生活習慣を振り返り、規則正しい生活習慣について確認する ② 携帯電話やスマートフォンの適切な使い方について	○生活習慣を見直し、就寝時間や起床時間を決める ○携帯電話やスマートフォンの適切な使用時間について話し合い、ルールを決める
		働くこととは	① 店舗見学を通して働いている人の様子を知る ② 人はどうして働くのかを自分なりに考える	○見たことや聞いたことをワークシートにまとめ、発表する
6月		学級のルールについて	① ルールの意味を知る ② 学級目標達成のために必要なルールを決める	○一人一人が意見を出し合う ○グループ毎に話し合い、まとめる
		平和学習	① 平和について関心をもつ ② テーマに沿って壁新聞を作る	○テーマについて個々で調べる ○調べたことを持ち寄り、記事にまとめる
		インターンシップの心構え	① インターンシップがあることを知り、心得を確認する ② 働く上での自分の課題を知り、目標を立てる	○基本的なマナーの確認(身だしなみ、あいさつ、言葉づかい等) ○評価項目や身につけてほしい力等を元に目標を設定する
7月		1学期の反省と夏休みの過ごし方	① 1学期の学習や生活態度を振り返る ② 2学期に向けての自己の課題について考える	○1学期の個人目標を自己評価する ○夏休みの過ごし方について確認し、計画を立てる
9月		2学期の目標と計画	① 1学期の反省を踏まえて、2学期の目標を立てる	○2学期の目標設定 ○諸行事への取り組み計画
		スポフェスに向けて (キャリア・パスポートの活用)	① スポフェスの趣旨と目的を理解する ② 仲間と協力して行事を成功させることを自覚する ③ キャリア・パスポートで行事の振り返り等を行う	○活動計画や内容、参加の望ましい態度等について確認する ○みんなで協力して準備に取り組む
10月	14	職業と人生	① 自分の身近な職業について仕事内容と働く人々の生活を知る ② 将来の職業生活を考え、自分の適性に合った職業をについて考える	○多くの職業内容やそこで働く人の生活を知る ○仕事内容やそれに伴う生活の違いを知る
		インターンシップの心構え	① 校外実習での心得をしっかり確認する ② 1学期の校内実習を踏まえ、目標を立てる	○基本的なマナーの確認(身だしなみ、あいさつ、言葉づかい等) ○1学期の評価を踏まえ、目標を設定する
11月		防災訓練	① 地震や火災の時の行動について理解を深める。	○避難経路や集合場所の確認を行う。 ○指示に従って実際に避難する。
		特別支援学校体育大会に向けて	① 特別支援学校体育大会の意義を知る	○選手としてのマナーについて考える ○服装、行動、安全等について確認する
12月		やえせマルシェに向けて (キャリア・パスポートの活用)	① やえせマルシェの主旨を理解する ② 仲間と協力して行事を成功させることを自覚する ③ キャリア・パスポートで行事の振り返り等を行う	○活動計画や内容、参加の望ましい態度等について確認する ○みんなで協力して準備に取り組む
		2学期の反省と冬休みの過ごし方	① 2学期の学習や生活態度を振り返る ② 3学期に向けての自己の課題について考える	○2学期の個人目標を自己評価する ○冬休みの過ごし方について確認し、計画を立てる
1月		3学期の目標と計画	① 2学期の反省を踏まえて、3学期の目標を立てる	○3学期の目標設定
2月	10	卒業式に向けて	① 卒業式に向けての活動を知る ② 先輩に対する感謝の気持ちを考える	○卒業式に向けて取り組む
3月		1年の反省と進級に向けての心構え (キャリア・パスポートの活用)	① 1年間を振り返り、自己理解を深める ② 進級する心構えをもつ	○できたことやできるようになったこと、今後の課題を確認する ○2年生になる意義について考える
総時数 35 時間				

年間指導計画 第2学年「LHR活動」 週時数(1時間)

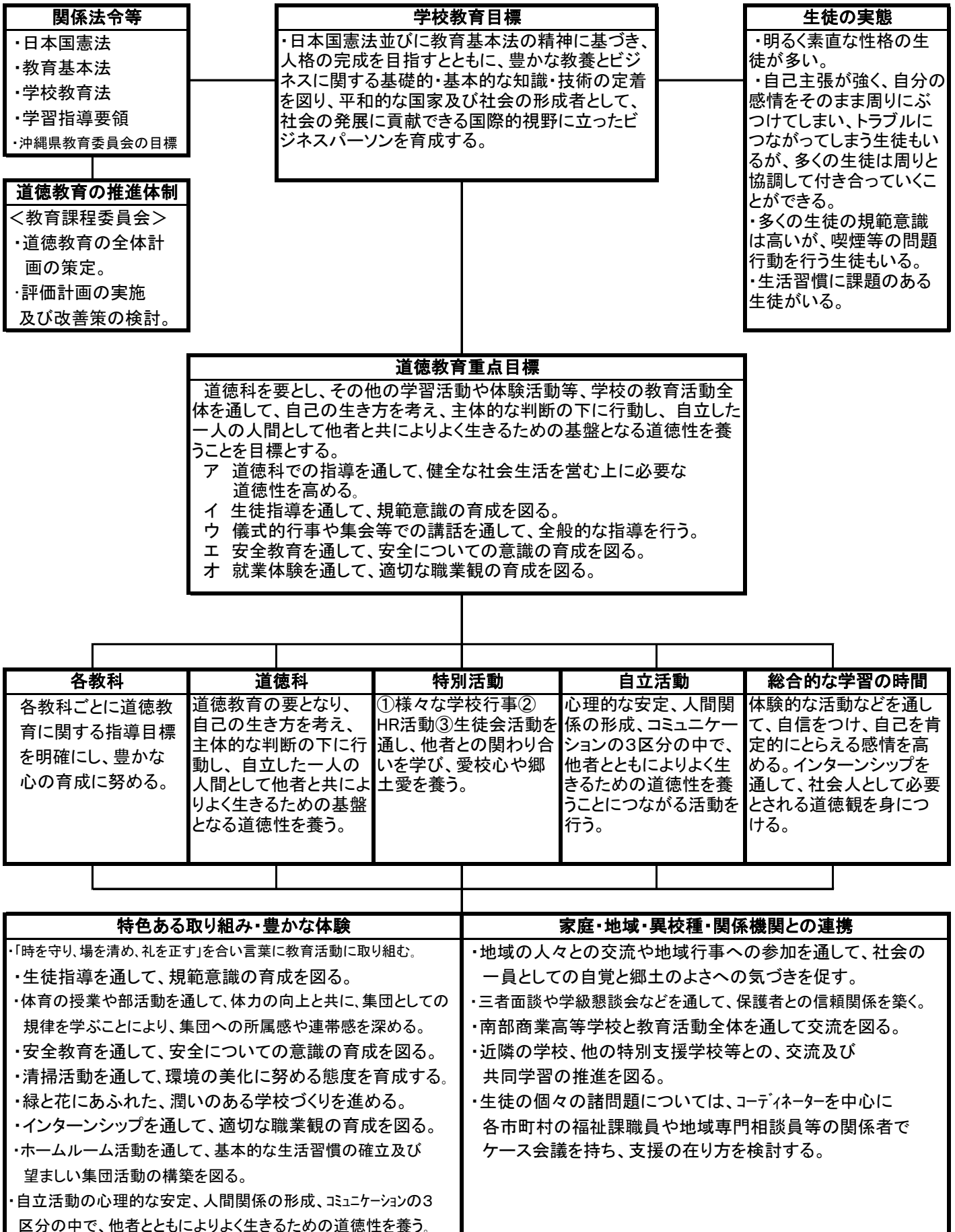
月	時数	題材名	目標	主な内容
4月		学級びらき	① 新しい環境に慣れ、学校のルールや校則を知る ② 学級整備(掲示物作成や係、委員、目標決め等)を通して仲間を意識し、自主的活動ができる学級作りを目指す	○担任、生徒の自己紹介 ○話し合い活動(学級役割の設定) ○個人目標の設定
		1年間の見通しをもとう (キャリアパスポートの活用)	① 高校生活で身につけてほしい4つの力を理解する ② 1年間で伸ばしたい力を確認する	○4つの力の確認 ○この1年特に頑張りたいことの決定と記入
		野外学習に向けて	① 野外学習のねらいや意義を知る ② ねらいに沿って自分たちで計画を立てる	○話し合い活動(学級レク内容を定める) ○公共施設利用の確認 ○交通手段の確認
		新入生歓迎球技大会に向けて	① 新入生歓迎球技大会のねらいや意義を知る ② 3学年の話し合いを通して、仲間意識を育む	○チーム分け ○実施方法やルールの確認
5月	11	生活リズムを見直そう	① 自分の生活習慣を振り返り、規則正しい生活習慣について確認する ② 携帯電話やスマートフォンの適切な使い方について	○生活習慣を見直し、就寝時間や起床時間を決める ○携帯電話やスマートフォンの適切な使用時間について話し合い、ルールを決める
		学級のルールについて	① ルールの意味を知る ② 学級目標達成のために必要なルールを決める	○一人一人が意見を出し合う ○グループ毎に話し合い、まとめる
6月		インターンシップの心構え	① インターンシップがあることを知り、心得を確認する ② 働く上での自分の課題を知り、目標を立てる	○基本的なマナーの確認(身だしなみ、あいさつ、言葉づかい等) ○評価項目や身につけてほしい力等を元に目標を設定する
		平和学習	① 平和について関心をもつ ② テーマに沿って壁新聞を作る	○テーマについて個々で調べる ○調べたことを持ち寄り、記事にまとめる
7月		働くこととは	① 人はどうして働くのかを自分なりに考える	○働くことについて調べたことをワークシートにまとめ、発表する
		1学期の反省と夏休みの過ごし方	① 1学期の学習や生活態度を振り返る ② 2学期に向けての自己の課題について考える	○1学期の個人目標を自己評価する ○夏休みの過ごし方について確認し、計画を立てる
9月		2学期の目標と計画	① 1学期の反省を踏まえて、2学期の目標を立てる	○2学期の目標設定 ○諸行事への取り組み計画
		体験入学に向けて	① 日程等の確認を行う ② 自分の役割について確認する	○日程、活動計画について確認する ○公共の場、交通機関の利用方法について確認する ○集団行動やルールについて話し合いを行う
10月		インターンシップの心構え	① 校外実習での心得をしっかりと確認する ② 1学期の校内実習を踏まえ、目標を立てる	○基本的なマナーの確認(身だしなみ、あいさつ、言葉づかい等) ○1学期の評価を踏まえ、目標を設定する
		学園祭に向けて (キャリアパスポートの活用)	① 学園祭についてねらいや意義を知る ② ねらいに沿って自分たちで計画を立てる	○グループ分け ○提案方法について話し合い
11月	14	職業と人生	① 自分の身近な職業について仕事内容と働く人々の生活を知る ② 将来の職業生活を考え、自分の適性に合った職業をについて考える	○多くの職業内容やそこで働く人の生活を知る ○仕事内容やそれに伴う生活の違いを知る
		特別支援学校体育大会に向けて	① 特別支援学校体育大会の意義を知る	○選手としてのマナーについて考える ○服装、行動、安全等について確認する
12月		自分の適性	① 適性の意味を考える ② 「やりたい仕事」と「できる仕事」について考える	○将来の夢 ○様々な職業の特色
		修学旅行に向けて	① 修学旅行の日程、活動内容を知る ② 公共の場、公共交通機関の使い方を知る ③ 集団行動、公衆、道徳等について考える	○日程、活動計画について確認する ○公共の場、交通機関の利用方法について確認する ○集団行動やルールについて話し合いを行う
		2学期の反省と冬休みの過ごし方	① 2学期の学習や生活態度を振り返る ② 3学期に向けての自己の課題について考える	○2学期の個人目標を自己評価する ○冬休みの過ごし方について確認し、計画を立てる
1月	10	3学期の目標と計画	① 2学期の反省を踏まえて、3学期の目標を立てる	○3学期の目標設定
		修学旅行に向けて	① 修学旅行の日程、活動内容を知る ② 公共の場、公共交通機関の使い方を知る ③ 集団行動、公衆、道徳等について考える	○日程、活動計画について確認する ○公共の場、交通機関の利用方法について確認する ○集団行動やルールについて話し合いを行う
		修学旅行を振り返って	① 修学旅行の日程、活動内容を振り返る	○修学旅行を終えて達成できたことなど自己評価をする
2月		卒業式に向けて	① 卒業式に向けての活動を知る ② 先輩に対する感謝の気持ちを考える	○卒業式に向けて取り組む
3月		1年の反省と進級に向けての心構え (キャリアパスポートの活用)	① 1年間を振り返り、自己理解を深める ② 進級する心構えをもつ	○できたことやできるようになったこと、今後の課題を確認する ○3年生になる意義について考える

年間指導計画 第3学年「LHR活動」 週時数(1時間)

月	時数	題材名	目標	主な内容
4月	11	学級びらき	① 就職に向け、気持ちを引き締める ② 学級整備(掲示物作成や係、委員決め等)を通して仲間を意識し、自主的活動ができる学級作りを目指す	○学校生活における日々のルールや約束事の確認 ○社会人としてのマナーや言動について ○話し合い活動
		キャリアパスポート	①年間を見通す ②卒業を見通す	○挑戦していきたいことの確認 ○年間の取り組み ○インターンシップの振り返りとこれからの取り組み
		野外学習に向けて	① 野外学習のねらいや意義を知る ② ねらいに沿って自分たちで計画を立てる	○話し合い活動(学級レクを決める) ○公共施設利用の確認 ○クラスTシャツのデザイン考案
5月	11	新入生歓迎球技大会に向けて	① 新入生歓迎球技大会のねらいや意義を知る ② 3学年の話し合いを通して、仲間意識を育む	○チーム分け・作戦会議 ○実施方法やルールの確認
		校外学習に向けて	① 校外学習のねらいや意義を知る ② 学年レクについて話し合う	○ねらいや日程等の確認 ○レクについての確認
6月	11	社会人になること①	① 社会人としての身だしなみや基本的なマナーについて確認する ② 社会人としての自分の課題がわかり、目標を立てる	○社会人として必要なことを考え、まとめる ○日々の自分を振り返り、自分の課題に向き合い、目標を設定する
		平和学習	① 平和について関心をもつ ② 沖縄の現状について知り、自分なりの考えや意見をもつ	○図書室での資料展 ○沖縄戦の動画や基地を巡る様々なニュース等から考えたことを発表したり、まとめたりする
		インターンシップの心構え	① 気持ちを引き締め、就職に向けたインターンシップであることを再確認する ② 働く上での自分の課題を知り、目標を立てる	○インターンシップの目的、出勤時間や交通手段、準備物等の確認をする ○過去の評価を下に目標を設定する
7月	11	1学期の反省と夏休みの過ごし方	① 1学期の学習や生活態度を振り返る ② 2学期に向けての課題について考える	○1学期の個人目標を自己評価する ○夏休みの過ごし方について確認し、計画を立てる
9月	14	2学期の目標と計画	① 1学期の反省を踏まえて、2学期の目標を立てる	○2学期の目標設定 ○諸行事への取り組み計画
		キャリアパスポート	①スポフェスについて(学校行事)	○行事の目的 ○目標設定 ○事前準備の確認
		社会人になること②	① 自分の持ち物や身の回りの整理整頓ができる ② 社会人としてふさわしい言動について考える	○ロッカーや机の中の整理整頓 ○社会人としてふさわしい言葉づかいや話し方、立ち居振る舞い等を考える
10月	14	インターンシップの心構え	① 気持ちを引き締め、就職を決めるインターンシップであることを再確認する ② 1学期の評価を踏まえ、働く上での自分の課題を再確認し、目標を立てる	○インターンシップの目的、出勤時間や交通手段、準備物等の再確認をする ○1学期の評価を下に目標を再設定する
		面接練習	① 正しい面接時のマナーがわかり、実践する ② 望ましい態度や話し方で面接に臨む	○面接を受ける会社について調べる ○面接練習をする
		キッズビジネスタウンに向けて	① キッズビジネスタウンの主旨を理解する ② 仲間と協力して行事を成功させることを自覚する	○活動計画や内容、参加の望ましい態度等について確認する ○みんなで協力して準備に取り組む
11月	14	キャリアパスポート	①スポフェスの振り返り(学校行事)	○行事の感想・反省 ○今後の抱負
		特別支援学校体育大会に向けて	① 特別支援学校体育大会の意義を知る	○選手としてのマナーについて考える ○服装、行動、安全等について確認する
12月	14	キャリアパスポート(2時間)	① やえせマルシェについて(学校行事) ② やえせマルシェの振り返り	○行事の目的・目標設定・事前準備の確認 ○行事の感想・反省・今後の抱負
		2学期の反省と冬休みの過ごし方	① 2学期の学習や生活態度を振り返る ② 3学期に向けての自己の課題について考える	○2学期の個人目標を自己評価する ○冬休みの過ごし方について確認し、計画を立てる
1月	10	3学期の目標と計画	① 2学期の反省を踏まえて、3学期の目標を立てる	○3学期の目標設定
		キャリアパスポート	①高校3年生を終える前に(1年を振り返る)	○1年間を振り返る ○自分自身の成長を考える
2月・3月	10	卒業に向けて	① 卒業式に向けての活動を知る ② お世話になった周りの方々に感謝の気持ちを伝える	○卒業式練習 ○18年間お世話になった保護者へ感謝の手紙を書く
総時数 35 時間				

令和8年度 道徳教育の全体計画

やえせ高等支援学校



1年 時間割

時間	校時	月	火	木	金
8:45～ 8:50(5)	S H R				
8:50～ 9:00(10)	職 業				
9:10～10:00(50)	1校時	課題研究	課題研究	自立	国語
10:10～11:00(50)	2校時	トータル	道徳	社会	数学
11:10～12:00(50)	3校時	トータル	理科	体育	音楽/美術
12:10～13:00(50)	4校時	英語	体育	食品加工	音楽/美術
13:00～13:45(45)	昼 食				
13:50～14:40(50)	5校時	カフェ	国語	食品加工	家庭
14:50～15:40(50)	6校時	カフェ	数学	食品加工	家庭
15:40～15:55(15)	職 業				
15:55～16:00(5)	S H R				

時間	校時	水
8:45～ 8:50(5)	S H R	
9:00～ 9:50(50)	1校時	情報
10:00～10:50(50)	2校時	体育
11:00～11:50(50)	3校時	職業
12:00～12:50(50)	4校時	農園芸
12:50～13:35(45)	昼 食	
13:40～14:30(50)	5校時	農園芸
14:40～15:30(50)	6校時	LHR
15:30～15:35(5)	S H R	

※水曜日は特別日課

2年 時間割

時間	校時	月	火	木	金
8:45～ 8:50(5)	S H R				
8:50～ 9:00(10)	職 業				
9:10～10:00(50)	1校時	体育	コース	音楽/美術	職業
10:10～11:00(50)	2校時	英語	コース	音楽/美術	コース
11:10～12:00(50)	3校時	数学	コース	体育	コース
12:10～13:00(50)	4校時	国語	コース	理科	コース
13:00～13:45(45)	昼 食				
13:50～14:40(50)	5校時	情報	コース	国語	コース
14:50～15:40(50)	6校時	社会	コース	数学	コース
15:40～15:55(15)	職 業				
15:55～16:00(5)	S H R				

時間	校時	水
8:45～ 8:50(5)	S H R	
9:00～ 9:50(50)	1校時	自立
10:00～10:50(50)	2校時	体育
11:00～11:50(50)	3校時	家庭
12:00～12:50(50)	4校時	家庭
12:50～13:35(45)	昼 食	
13:40～14:30(50)	5校時	道徳
14:40～15:30(50)	6校時	LHR
15:30～15:35(5)	S H R	

※水曜日は特別日課

3年 時間割

時間	校時	月	火	木	金
8:45～ 8:50(5)	S H R				
8:50～ 9:00(10)	職 業				
9:10～10:00(50)	1校時	美術	コース	英語	職業
10:10～11:00(50)	2校時	美術	コース	国語	コース
11:10～12:00(50)	3校時	家庭	コース	体育	コース
12:10～13:00(50)	4校時	家庭	コース	数学	コース
13:00～13:45(45)	昼 食				
13:50～14:40(50)	5校時	体育	コース	情報	コース
14:50～15:40(50)	6校時	自立	コース	理科	コース
15:40～15:55(15)	職 業				
15:55～16:00(5)	S H R				

時間	校時	水
8:45～ 8:50(5)	S H R	
9:00～ 9:50(50)	1校時	道徳
10:00～10:50(50)	2校時	体育
11:00～11:50(50)	3校時	数学
12:00～12:50(50)	4校時	社会
12:50～13:35(45)	昼 食	
13:40～14:30(50)	5校時	国語
14:40～15:30(50)	6校時	LHR
15:30～15:35(5)	S H R	

※水曜日は特別日課